

高岡市橋梁定期点検ガイドライン
(令和8年度版)

令和8年6月

高岡市 都市創造部 土木維持課

まえがき

我が国の橋梁定期点検に関する基準類には、「マニュアル」や「要領」など様々な呼称が存在するが、本市では、明確な意図をもって本書を「ガイドライン」と位置付けた。ガイドラインは、点検業務を適切な方向へ導くための指針であり、記載内容に厳密に従って作業を行うことを目的とするマニュアルとは、その役割が異なることに留意されたい。

近年、自治体が担う道路橋の維持管理は、老朽化の進行、災害の激甚化、担い手不足、財源制約など、多様かつ深刻な課題に直面している。これらの状況を踏まえ、全国的に橋梁マネジメントの不断の改善が求められており、本市においても、持続的に改善を重ねる体制の構築が不可欠である。

本ガイドラインでは、橋梁の要求性能を合理的に確保するとともに、点検に携わる技術者が専門性を発揮し、さらに技術力・判断力を向上させていくことができる維持管理システムの構築を基本理念として掲げている。その理念を点検業務において実践するための考え方を整理し、指針として示した。

また、理念のみを示すだけでは実務担当者の理解が困難となることを踏まえ、ガイドラインに示した考え方を実際の点検作業において具現化するための手順等を、解説及び付録として取りまとめた。

本ガイドラインは完成形ではない。基本理念は不変であるものの、維持管理技術の進展、財源・人材状況の変化、橋梁群の変状傾向、社会情勢の変化等に応じて、点検および維持管理の仕組みは継続的に改善していく必要がある。補修・補強手法についても、再劣化を生じさせないための現場検証を重ね、その成果を適宜ガイドラインへ反映していくことが望まれる。

本ガイドラインに示した理念と考え方が、高岡市のみならず、全国の自治体、さらには海外における橋梁維持管理の高度化にも寄与することを期待する。

本ガイドラインは本文および付録から構成される。ガイドラインとしての性格上、本文では考え方を中心に整理し、遵守すべき原則を枠囲いにより明示している。付録では、本文の内容を補足し、枠囲いで示した考え方に適合する実務的かつ具体的な方法を提示している。

目 次

1 背景	1
1.1 はじめに	1
1.2 橋の現状	2
1.2.1 橋長、上部構造形式、健全性別の橋数	2
1.2.2 変状の概要	4
2 適用の範囲	8
3 用語の定義	9
4 本ガイドラインの基本的考え方	10
4.1 定期点検の目的	10
4.2 点検の内容	10
4.3 診断	11
4.4 道路橋定期点検要領（技術的助言の解説・運用標準）の遵守内容	13
5 定期点検の頻度	19
6 点検作業の流れ	20
7 点検体制	22
8 点検の内容	23
8.1 点検対象部材および重要変状	23
8.1.1 RC中実床版橋（グループ1）	23
8.1.2 カルバート（グループ2）	27
8.1.3 PC床版橋（グループ6）	28
8.2 重要変状の状態把握方法	35
8.2.1 RC中実床版橋（グループ1）	35
8.2.2 カルバート（グループ2）	37
8.2.3 PC床版橋（グループ6）	40
9 診断	42

9.1 一般.....	42
9.2 R C中実床版橋（グループ1）の床版のIV	43
9.3 P C床版橋（グループ6）の床版のIV	48
10 点検結果の記録.....	50
10.1 点検結果の記録方法.....	50
10.2 現地撮影方法.....	57
10.3 データ作成・格納方法.....	59
10.4 点検結果の保管方法.....	63
11 本ガイドラインの更新.....	64
12 参考技術基準.....	65
13 付録.....	66
13.1 橋梁のグループ一覧表.....	66
13.1.1 グループ別橋数.....	66
13.1.2 橋梁グループ一覧表.....	72
13.2 画像取得方法.....	89
13.3 適合例.....	93

1 背景

1.1 はじめに

高岡市が管理する道路橋は、令和7年3月現在で約1,160橋（橋長2m以上）ある。その多くが高度経済成長期（1955年から1973年）前後に建設された橋であり、今後、更なる老朽化の進行が予想される。定期点検は、富山県橋梁点検マニュアル（以下、「県要領」という）に準拠して平成26年より実施してきた。県要領は県管理橋を対象としたもので、全部材に対して近接目視を行い、多数の調書作成を基本とするものである。この定期点検費用が固定費となり、限られた予算の中において老朽化した橋の修繕に十分な予算を回せていない状況である。必要な修繕を加速させるために、定期点検費用の削減に取り組む必要がある。そこで、橋の要求性能を確保できるように健全性（老朽化の程度）判定の品質を担保したうえで、近接目視を実施する部材を限定する橋を選定したり、あるいは近接目視に代わる新技術の適用等を検討し、横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院 細田教授、横浜国立大学総合学術高等研究院 松永客員教授の監修の下、本市独自の道路橋定期点検ガイドラインを作成することとした。

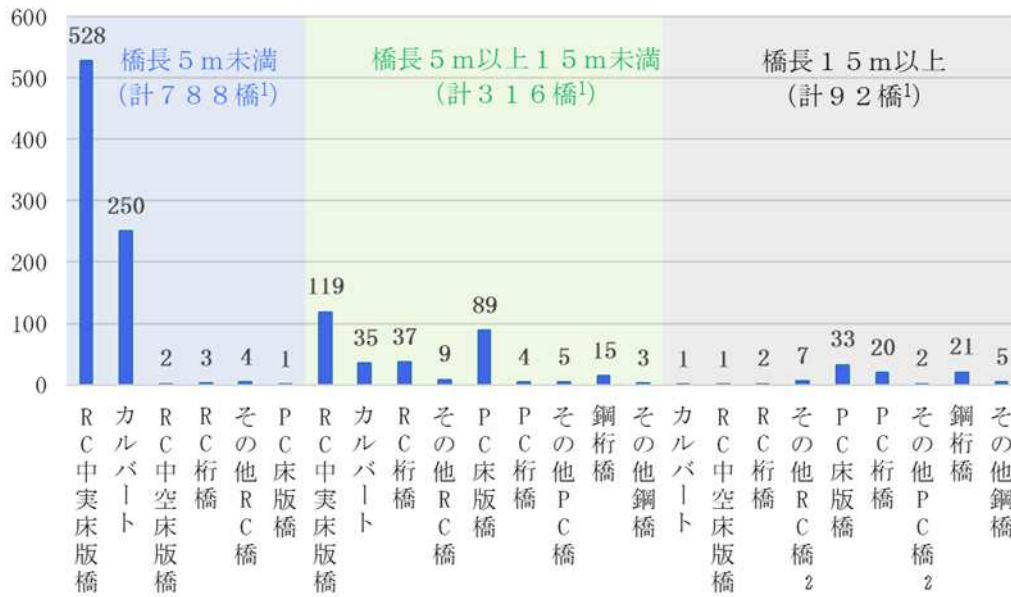
本ガイドラインの考え方の主な特徴は以下のとおりである。

- (1) 市の橋を上部構造形式によりグループ分けし、グループごとに点検方法を示した。
- (2) 過年度の点検結果に基づいて変状を分析し、変状のうち橋の耐荷性、使用性が要求性能の近くまで低下している、または要求性能を下回っている可能性を示す変状を「重要変状」と定義し、この重要変状を点検において発見すべき変状とした。
- (3) グループごとに重要変状を設定し、その状態を把握する方法、記録方法、健全性の診断の考え方を示した。状態を把握する方法は健全性の診断に必要最低限な情報を得る視点から、また、記録方法は将来の維持管理に不可欠な情報を得る視点から設定した。
- (4) 本ガイドラインの橋梁点検への適用による効果の早期発現および本ガイドラインの課題の早期発見を目的として、検討が終了したグループから順次、暫定版として発行する。
- (5) 令和8年度版は、適用の範囲にプレテンションPC桁を使用した床版橋を追加し、第2版として発行する。令和8年度版では、錆汁を伴わないASRによるひびわれは、「重要変状」に該当しないことを示した。

1.2 橋の現状

1.2.1 橋長、上部構造形式、健全性別の橋数

高岡市の管理橋梁一覧（令和7年3月時点）に基づき、道路橋の橋長、上部構造形式の分布を図1.1に示す。分割橋（幅員方向で上部構造形式が異なる橋）を構造形式単位で1橋とする。2分割橋は24橋、3分割橋は4橋であり、道路橋の総数は1,196橋である。橋長5m未満の橋が788橋（総数の約66%）である。RC中実床版橋（単純橋）、カルバート（ボックス構造で周長方向に継手がない）という簡単な構造の橋が計932橋と総数の約78%を占める。また、これらに次いで多い構造形式はPC床版橋であり、その数は123橋と総数の約10%を占める。このPC床版橋は、プレテンションPC桁を使用した床版橋を分類している。



- 1) 幅員方向で構造が異なる分割橋梁は各形式で1橋とした。
- 2) その他RC橋、その他PC橋のうち、径間によって構造形式が異なる橋は4橋である。

図 1.1 高岡市の道路橋の橋長、上部構造形式分布

全橋の健全性の分布を図1.2に示す。I（健全）が68.0%、II（予防保全段階）が26.6%、III（早期措置段階）が5.0%である。

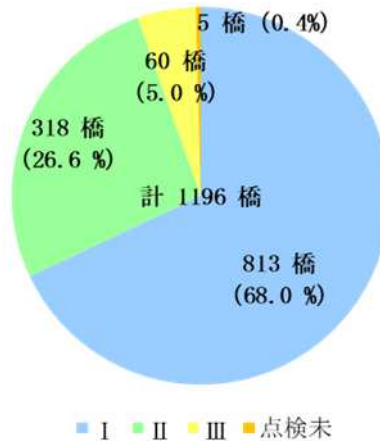


図 1.2 全橋の健全性の分布

次にRC中実床版橋およびカルバートの健全性の分布を図 1.3 に示す。RC中実床版橋は、I が 67.4%であり、全橋の I の割合より若干小さい。これに対しカルバートは、I が 89.9%であり、全橋の I の割合より大幅に大きい。

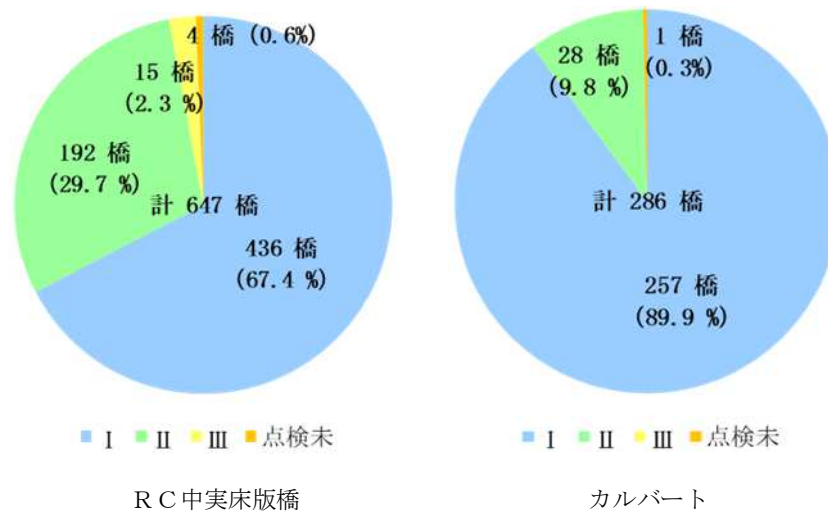


図 1.3 RC中実床版橋およびカルバートの健全性の分布

次にPC床版橋の健全性の分布を図 1.4 に示す。PC床版橋は、I が 64.2%であり、全橋の I の割合より若干小さい。

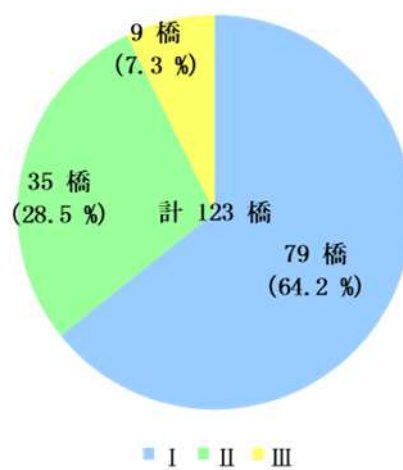


図 1.4 PC床版橋の健全性の分布

1.2.2 変状の概要

(1) 変状の種類

道路橋定期点検要領（平成 26 年）¹⁾の別紙 3 点検表記録様式のデータ（令和 5 年 3 月時点）に基づき変状の種類を整理した。なお、1つの橋で2つ以上の変状がある場合は、ダブルカウントしている。

1) R C 中実床版橋およびカルバート

R C 中実床版橋について、健全性Ⅱの部材の変状を表 1.1 に示す。剥離・鉄筋露出、ひびわれ、変形・欠損の順で多く発生している。次に、健全性Ⅲの部材の変状を詳細に把握した結果を表 1.2 に示す。剥離・鉄筋露出（減肉を伴う局所的でない鉄筋露出）、ひびわれ（A S R が原因と推定される）の順で多く発生している。

カルバートについて、健全性Ⅱの部材の変状を表 1.3 に示す。ひびわれ、剥離・鉄筋露出の順で多く発生している。次に、1橋のみの健全性Ⅲの橋の変状を詳細に把握した結果を表 1.4 に示す。

2) P C 床版橋

P C 床版橋について、健全性Ⅱの部材の変状を表 1.5 に示す。ひびわれおよび漏水・遊離石灰、剥離・鉄筋露出の順で多く発生している。次に、健全性Ⅲの部材の変状を詳細に把握した結果を表 1.6 に示す。主桁に発生している変状のすべてが、ひびわれ（A S R が原因と推定される）である。

¹⁾ 国土交通省 道路局：道路橋定期点検要領，平成 26 年 6 月

表 1.1 RC中実床版橋 健全性Ⅱの部材の変状一覧表

部材	変状名	橋梁数	備考
主桁	剥離・鉄筋露出	132	局所的な変状
	ひびわれ	37	軽微な変状
	漏水・遊離石灰	4	〃
下部構造	ひびわれ	53	〃
	剥離・鉄筋露出	7	局所的な変状
	変形・欠損	3	摩耗による欠損
	その他	1	橋台背面の変状
支承部	漏水・滞水	26	エラストイトへの漏水
	支承の機能障害	9	エラストイトの変状
	変色・劣化	8	〃
	変形・欠損	1	〃
その他	変形・欠損	44	地覆や防護柵の変状
	腐食	12	鋼製防護柵の変状
	剥離・鉄筋露出	9	コンクリート防護柵や地覆の変状
	路面の凹凸	9	舗装の剥がれ
	ひびわれ	8	コンクリート防護柵や地覆の変状
	舗装の異常	5	舗装の変状
	その他	5	植生の繁茂や橋台背面の変状
	破断	4	鋼製防護柵の変状
ゆるみ・脱落	1	〃	
計		378	変状単位で計上した橋の総数

表 1.2 RC中実床版橋 健全性Ⅲの部材の変状一覧表

部材	変状名	橋梁数	備考
床版	剥離・鉄筋露出	20	減肉を伴う広範囲の鉄筋露出
	ひびわれ	7	ASRが原因と推定される
橋台	ひびわれ	3	ASRが原因と推定される
地覆	変形・欠損	1	防護柵支柱根入れ部が広範囲に欠損
計		31	変状単位で計上した橋の総数

表 1.3 カルバート 健全性Ⅱの部材の変状一覧表

部材	変状名	橋梁数	備考
本体	ひびわれ	33	軽微な変状
	剥離・鉄筋露出	16	局所的な変状
翼壁	ひびわれ	3	軽微な変状
	うき	1	局所的な変状
継手	—	0	—
その他	変形・欠損	4	地覆や防護柵の変状
	舗装の異常	6	舗装の変状
計		63	変状単位で計上した橋の総数

表 1.4 カルバート 健全性Ⅲの部材の変状一覧表

部材	変状名	橋梁数	備考
本体	ひびわれ	1	少数のひびわれ
	剥離・鉄筋露出	1	鉄筋1本の局部的露出
計		2	変状単位で計上した橋の総数

表 1.5 PC床版橋 健全性Ⅱの部材の変状一覧表

部材	変状名	橋梁数	備考
主桁	剥離・鉄筋露出	4	局部的な変状
	ひびわれ	11	A S Rが原因と推定される
	漏水・遊離石灰	11	間詰部の変状
下部構造	ひびわれ	8	軽微な変状、一部はA S Rが原因と推定される
	剥離・鉄筋露出	1	局部的な変状
支承部	漏水・滞水	3	エラストイトへの漏水、伸縮部の変状
	変色・劣化	1	エラストイトの変状
その他	変形・欠損	2	防護柵の変状
	腐食	6	鋼製防護柵の変状
	路面の凹凸	2	舗装の剥がれ
	舗装の異常	9	舗装の変状
	破断	1	鋼製防護柵の変状
計		59	変状単位で計上した橋の総数

表 1.6 PC床版橋 健全性Ⅲの部材の変状一覧表

部材	変状名	橋梁数	備考
主桁	ひびわれ	8	A S Rが原因と推定される
下部構造	ひびわれ	2	コールドジョイントが原因と推定される
その他	変形・欠損	1	防護柵の広範囲に変形・欠損が生じている
計		11	

(2) 変状の地域特性

富山県の地域特性として、アルカリシリカ反応（ASR）を原因とする変状が多い。富山県の川砂、川砂利は、火山岩系（安山岩、流紋岩）の反応性骨材を含有しており、とくに安山岩粒子の含有率が大きい河川水系の骨材を使用した構造物にてASRが多く発生している。県内全域の主要な幹線道路（高速道路、国道、県道、市町村道（スーパー農道を含む））にある橋梁、跨線橋および跨道橋の下部構造におけるASR発生分布が図 1.5 である²⁾。

高岡市の道路橋においてASRが多く発生していることがわかる。ASRは下部構造だけでなく、上部構造においても発生している（写真 1.1）。

石川および富山の両県内には、石川県七尾市のPC工場で製作された桁が主に流通していた。その工場では、主に富山県の河川産骨材が使用されており、1970年代頃に製作された桁にASRによるひびわれが確認されている³⁾。



図 1.5 富山県内のASR劣化橋梁分布状況²⁾



下部構造



上部構造

写真 1.1 高岡市におけるASRによる変状例

²⁾ 大代武志ほか：論文 富山県の反応性骨材とASR劣化構造物の特徴，コンクリート工学年次論文集，29巻1号，pp. 1251-1256，2007.

³⁾ 湊 俊彦，鳥居和之：論文 北陸地方におけるASRが発生したPC橋の詳細調査，コンクリート工学年次論文集，33巻1号，pp. 1001-1006，2011.

2 適用の範囲

本ガイドライン（令和8年度版）は、高岡市が管理する橋長2m以上の橋梁のうち、次に示す橋梁の定期点検業務（道路法施行規則第4条の5の6の規定に基づく点検）に適用する。

【令和8年度版の適用対象橋梁（13.1.2 参照）】

- ・ R C 中実床版橋（単純橋）
- ・ カルバート
- ・ P C 床版橋

なお、上記を除く橋梁は、従前どおり、「富山県橋梁定期点検マニュアル」に準拠して点検する。

【解説】

令和6年度初版は、橋梁総数の約8割を占めるR C 中実床版橋（グループ1）とカルバート（グループ2）を適用対象とした。

令和8年度版は、橋梁総数の約1割を占めるP C 床版橋（グループ6）を適用対象に追加した。

3 用語の定義

本ガイドラインでは、次のように用語を定義する。	
耐荷性	橋としての荷重を支持する性能
使用性	通常の使用時に想定される作用の下で、橋が正常に使用できるための性能
耐久性	橋が予定供用期間にわたり耐荷性、使用性を保持する性能
要求性能	目的および機能に応じて橋に求められる性能
維持管理	橋の供用期間において、橋の性能を要求性能以上に保持するためのすべての行為
措置	道路管理者が道路橋の性能の維持や回復を目的に実施する行為 具体的には、定期的あるいは常時の監視、補修、補強、撤去、通行規制・通行止めなどが例として挙げられる
監視	あらかじめ決めた箇所の挙動等を追跡的に把握すること
予定供用期間	橋を供用する予定の期間
変状	橋に何らかの原因で発生している本来あるべき姿でない状態（初期欠陥、損傷、劣化等）のうち、橋の耐荷性、使用性、耐久性を低下させているもの
初期欠陥	施工時に生じた変状のうち、有害となる可能性のあるひびわれや豆板、コールドジョイント、砂すじなどの変状、かぶり不足やP Cグラウト充填不足などを含む
損傷	変状の一つの種類であり、地震や衝突等によるひびわれや剥離のように短時間のうちに発生し、その後は時間の経過によっても進行しないもの
劣化	時間の経過に伴って進行する変状
重要変状	変状のなかで、耐荷性、使用性が要求性能の近くまで低下している、または要求性能を下回っている可能性を示す変状
部材等	橋を構成する各部材、その接合部、周辺地盤の総称
作用	橋の部材等に働く応力や変形の増減、材料特性に経時変化をもたらすすべての働き
荷重	部材等に働く作用を力に変換したもの
健全性	橋の性能の評価に用いる指標であり、トンネル等の健全性の診断結果の分類に関する告示（平成二十六年国土交通省告示第四百二十六号）に準拠して4区分に分類される
診断	点検結果、劣化予測、橋の使用される環境等を考慮して、橋の健全性を4区分に分類すること
近接目視	外観性状を把握できる距離まで近接し、目視すること。その距離は、部材等の形状、変状の種類等により異なり、点検者が判断する必要がある
点検	橋の現状を把握する行為の総称
第三者被害	橋の部材の一部（コンクリート片等）が落下し第三者の生命や財産を脅かすこと
グループ	上部構造形式による橋の分類。同一グループ内の橋では重要変状、その状態の把握方法、記録方法が統一される

4 本ガイドラインの基本的考え方

4.1 定期点検の目的

橋の耐荷性、使用性、耐久性が要求性能を満たす状態を経済的に保つためには、適切な措置（補修、補強、監視等）を早期に講ずる必要がある。そのために、橋の部材等における変状の有無、程度を定期的に把握することを目的として定期点検を行う。

4.2 点検の内容

本ガイドラインによる点検では、重要変状のみを対象とし、その有無、程度を把握（以下、「状態把握」という）する。そして、上部構造形式による分類である各グループ（表 4.1）において、重要変状、その状態把握方法、記録方法を統一する。

表 4.1 グループ

番号	上部構造形式	備考
1	RC中実床版橋	単純橋
2	カルバート	ボックス構造で周長方向に継手がない
3	RC中空床版橋	
4	RC桁橋	
5	その他RC橋	1~4以外のRC橋
6	PC床版橋	プレテンションPC桁を使用した床版橋
7	PC桁橋	箱桁含む
8	その他PC橋	6,7以外のPC橋
9	鋼桁橋	箱桁含む
10	その他鋼橋	9以外の鋼橋

【解説】

橋が作用を受けて、本来あるべき姿でない状態（初期欠陥、損傷、劣化等）が生じている場合のうち、橋の耐荷性、使用性、耐久性が低下している状況を本ガイドラインでは変状という。

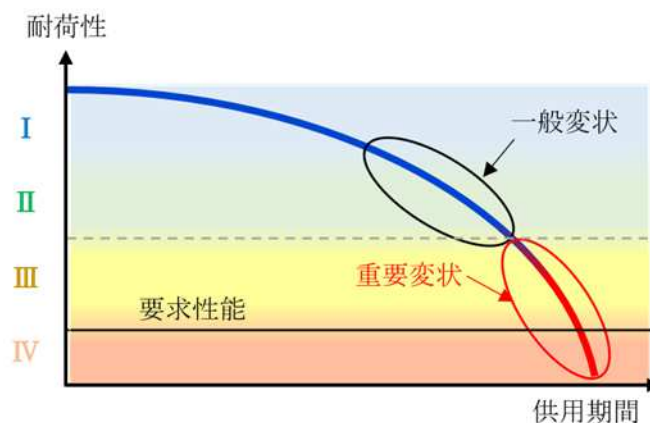


図 4.1 重要変状と耐荷性のイメージ

その変状のなかで、耐荷性、使用性が要求性能の近くまで低下している、または要求性能を下回っている可能性を示す変状を重要変状という（図 4.1）。この重要変状は、高岡市の橋の変状を分析した結果と、橋の耐荷性や使用性が損なわれる機構に基づいて選定した。

従来の実務で変状として扱われてきたもので本ガイドラインでは変状として扱わないものもある。例えば、RCのひびわれについては、幅 0.1mm 未満のものは変状としない。

コンクリート標準示方書【設計編】（参考技術基準）において、「鋼材腐食に対するひびわれ幅の限界値は、鉄筋コンクリートの場合、 $0.005c$ （ c はかぶり）としてよい。ただし、0.5mm を上限とする。」とある。床版の最小かぶりは、鋼道路橋設計示方書（昭和 31 年）⁴は 25mm、道路橋示方書（平成 29 年）⁵は 30mm より、 c を小さい方の 25mm と設定すると限界値は 0.12mm である。

そこで、RCにおいて、幅 0.1mm 未満のひびわれは、耐久性の観点での鋼材腐食の発生可能性も小さく、耐荷性上も問題がないと判断したため、変状としない。

4.3 診断

健全性は橋の性能の評価に用いる指標であり、トンネル等の健全性の診断結果の分類に関する告示（平成二十六年国土交通省告示第四百二十六号，下表）に示されている区分に分類する。

区分		状態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

健全性の診断は、道路橋定期点検要領（技術的助言の解説・運用標準）（参考技術基準参照）に準拠して、次の手順で行う。

(1) 構造部分ごとに想定する状況に対する状態推定

構造部分は、以下が基本である。

- ・ 上部構造：道路そのものとして自動車等の通行荷重を載荷させる部分を提供する役割
- ・ 下部構造：上部構造を支える役割をもつ上下部接続部を適切な位置に提供する役割
- ・ 上下部接続部：上部構造の支点となりその影響を下部構造に伝達する役割

⁴ 社団法人 日本道路協会：鋼道路橋設計示方書 鋼道路橋製作示方書 解説，pp. 32，昭和 31 年 5 月

⁵ 公益社団法人 日本道路協会：道路橋示方書・同解説 III コンクリート橋・コンクリート部材編，pp. 71，平成 29 年 11 月

この基本に、その他（フェールセーフ）、その他（伸縮装置）を加えるのが一般的である。各構造部分にどの部材が含まれるかは、グループにより異なる。それを 8.1 に示す。想定する状況は、活荷重、地震、豪雨・出水を基本とし、必要に応じてその他の状況を加える。これらの状況に対して、どのような状態となる可能性があるのかを以下に区分する。

A：何らかの変状が生じる可能性は低い

B：致命的な状態となる可能性は低いものの何らかの変状が生じる可能性がある

C：致命的な状態となる可能性がある

この区分の考え方を表 4.2 に示す。重要変状がある場合は、BまたはCとなる。

表 4.2 橋の健全性および構造部分の想定する状況に対する状態

橋の健全性区分		性能の水準	構造部分の状態	変状
I	健全	耐荷性、使用性が竣工時より低下していない	A	変状なし
II	予防保全段階	常時湿潤など耐久性維持が困難な環境で耐荷性、使用性の低下初期にある	A	5年程度で重要変状に発達する変状がある
III	早期措置段階	耐荷性、使用性が5年程度の間要求性能を下回ると予想される	B	重要変状がある
IV	緊急措置段階	耐荷性、使用性が要求性能を下回る	C	重要変状がある

(2) 橋の健全性の診断

1) 想定する状況に対する状態からの橋の健全性

上部構造、下部構造、上下部接続部、その他（伸縮装置）についての想定する状況に対する状態の最も悪い状態とする。重要変状がある場合は、9.2 以降に示す各グループの重要変状ごとに示されたIVの目安を参考に、IIIまたはIVとする。

2) 橋の健全性の総合的決定

上記1)に加え、次の点を考慮して橋の健全性を決定する。

- ・ 第三者被害の評価：防護柵、舗装等の構造部材以外も対象とし、コンクリート片の落下、走行車両の橋外への転落等の評価
- ・ 予防保全の便益／費用を評価（例えば、水切りは優れる）

4.4 道路橋定期点検要領（技術的助言の解説・運用標準）の遵守内容

道路橋定期点検要領（技術的助言の解説・運用標準）（参考技術基準参照）において、道路法施行規則第4条の5の6の規定に基づいて行う定期点検について、道路管理者が最低限実施することが望ましいと考えられる事項（枠囲い部分）が記されている。

本ガイドラインは、道路管理者が最低限実施することが望ましいと考えられる事項を表 4-3 に示すように遵守している。「4. 状態の把握」に関して以下に補足する（4.2 参照）。

4. 状態の把握

定期点検では、健全性の診断の区分の決定を適切に行うために必要と考えられる道路橋の点検時点での状態に関する情報を適切な方法で入手すること。このとき、定期点検時点における耐荷性能、耐久性能、その他の使用目的との適合性の充足に関する評価に必要と考えられる情報を、近接目視、または近接目視による場合と同等の評価が行える他の方法により収集すること。

【解説】

定期点検では、道路橋の現在の状態について、必要な知識と技能を有する者が近接目視を基本として把握を行った上で、その他の様々な情報や条件を考慮し、最終的に告示に定義される「健全性の診断の区分」のいずれに該当するのかを決定する形で行うことが求められている。

このとき、「健全性の診断の区分」の決定において、最も基礎的な根拠情報の一つである状態に関する情報は、必要な知識と技能を有する者が自ら近接目視を行うことによって把握されることが基本とされているが、他の手段による状態に関する情報の把握によっても、最終的に「健全性の診断の区分」の決定が同等の信頼性で行えることが明らかな場合には、必ずしも全ての部材に知識と技能を有する者が近接目視による状態の把握を行わなくてもよい場合もあると考えられ、法令はこれを妨げるものではない。

本ガイドラインでは、状態の把握対象の変状を、重要変状（部材等の耐荷性、使用性が要求性能の近くまで低下している、または要求性能を下回っている可能性を示す変状であり、上部構造形式による分類であるグループごとに設定）、他の変状の2つに区分する。そして、変状の把握方法を以下とする。

1) 重要変状

近接目視を基本とし、狭隘な桁下など近接が容易でない場合は、次の方法を使用する。

①変状の判読が近接目視と同等に行える方法、例えばポールカメラ（ポール先端にカメラ）などを使用する。

②前回点検結果で健全性Ⅰの橋については、グループごとに高岡市の橋での重要変状発生状況を建設年や架橋状況、交通量等に基づき確認し、その発生可能性が極めて小さな場合に限り、遠望目視などの方法を使用する。

2) 他の変状

重要変状を把握する過程で、他の変状の状態を把握する。

以上のように、近接目視によらない場合も、耐荷性能、耐久性能、使用性能を近接目視による場合と同等に評価できる。

表 4-3 道路橋定期点検要領の規定の遵守内容

道路橋定期点検要領の規定 (枠囲い)	本ガイドラインの規定 (枠囲い)
<p>1. 適用範囲 本要領は、道路法 (昭和 27 年法律第 180 号) 第 2 条第 1 項に規定する道路における橋長 2.0 m 以上の橋、高架の道路等 (以下「道路橋」という) の定期点検に適用する。</p>	<p>2 適用の範囲 本ガイドライン (令和 6 年度初版) は、高岡市が管理する橋長 2 m 以上の橋梁のうち、次に示す橋梁の定期点検業務 (道路法施行規則第 4 条の 5 の 6 の規定に基づく点検) に適用する。 【令和 6 年度初版の適用対象橋梁】 ・ R C 中実床版橋 (単純橋) ・ カルバート</p>
<p>2. 定期点検の頻度 定期点検は、5 年に 1 回の頻度で実施することを基本とする。なお、必要に応じて 5 年より短い間隔で行うことも検討すること。</p>	<p>5 定期点検の頻度 定期点検は、図 5.1 に従い、5 年に 1 回の頻度で実施することを基本とし、例外的に指定した橋について 5 年より短い間隔で実施する。</p>
<p>3. 定期点検の体制 定期点検は、健全性の診断の区分を適切に行うために必要な知識と技能を有する者による体制で行うこと。</p>	<p>7 点検体制 定期点検は、橋梁点検員 1 名、点検補助員 1 ～ 2 名、橋梁診断員 1 名の人員構成で行う。橋梁点検員は点検の品質および作業の安全に、橋梁診断員は診断の品質に責任を負う者であり、十分な知識と実務経験を有する必要がある。橋梁点検員と橋梁診断員は、知識を有していることを示す技術者資格を有する必要がある。</p>
<p>4. 状態の把握 定期点検では、健全性の診断の区分の決定を適切に行うために必要と考えられる道路橋の点検時点での状態に関する情報を適切な方法で入手すること。このとき、定期点検時点における耐荷性能、耐久性、その他の使用目的との適合性の充足に関する評価に必要と考えられる情報を、近接目視、または近接目視による場合と同等の評価が行える他の方法により収集すること。</p>	<p>8 点検の内容 8.2 重要変状の状態把握方法 8.2.1 R C 中実床版橋 (グループ 1) (1) 状態把握方法 1) 重要変状の状態把握方法は、床版および橋台は表 8.3 による。路面は近接目視による。これらによりがたい場合は、調査職員と協議するものとする。 8.2.2 カルバート (グループ 2) (1) 状態把握方法 1) 重要変状の状態把握方法は、頂版、側壁、底版、継手は表 8.5 に、翼壁は表 8.6 による。これらによりがたい場合は、調査職員と協議するものとする。</p>

5. 健全性の診断の区分の決定
 (1) 法定点検を行った場合、「トンネル等の健全性の診断結果の分類に関する告示」の定義に従って、表-5.1に掲げる「健全性の診断の区分」のいずれかに該当させるのかを決定しなければならぬ。

表-5.1 健全性の診断の区分

区分	定義	
	I 健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態。
II 予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。	
III 早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。	
IV 緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。	

(2) 健全性の診断の区分の決定にあたっては、道路橋を取り巻く状況も勘案して、道路橋が次回点検までに遭遇する状況を想定し、どのような状態となる可能性があるのかを推定するとともに、その場合に想定される道路機能への支障や第三者被害の恐れなども踏まえて、効率的な維持や修繕の観点から、次回定期点検までに行うことが望ましいと考えられる措置の内容を検討すること。

(3) 健全性の診断の区分の決定には、定期的あるいは常時の監視、維持や補修・補強などの修繕、撤去、通行規制、通行止めなどの措置の内容を反映すること。

9 診断

9.1 一般

健全性の分類は次の手順で行う。

(1) 部材（上部構造、下部構造、支承部、その他）の健全性の分類構造部分は、以下が基本である。

- ・ 上部構造：道路そのものとして自動車等の通行荷重を転載させる役割を提供する役割
 - ・ 下部構造：上部構造を支える役割をもつ上下部接続部を適切な位置に提供する役割
 - ・ 上下部接続部：上部構造の支点となりその影響を下部構造に伝達する役割
- この基本に、その他（フェールセーフ）、その他（伸縮装置）を加えるのが一般的である。各構造部分にどの部材が含まれるかは、グループにより異なる。それを8.1に示す。想定する状況は、活荷重、地震、豪雨・出水を基本とし、必要に応じてその他の状況を加える。これらの状況に対して、どのような状態となる可能性があるのかを以下に区分する。

- A：何らかの変状が生じる可能性は低い
- B：致命的な状態となる可能性は低いもの何らかの変状が生じる可能性がある
- C：致命的な状態となる可能性がある

この区分の考え方を表 9.1 に示す。重要変状が有る場合は、BまたはCとなる。

表 9.1 橋の健全性および構造部分の想定する状況に対する状態

橋の健全性区分	性能の水準	構造部分の状態	変状
I 健全	耐荷性、使用性が竣工時より低下していない	A	変状無し
II 予防保全段階	常時湿潤など耐久性能維持が困難な環境で耐荷性、使用性の低下初期にある	A	5年程度で重要変状に発達する変状が有る
III 早期措置段階	耐荷性、使用性が5年程度で要求性能を低下すると予想される	B	重要変状が有る
IV 緊急措置段階	耐荷性、使用性が要求性能を大幅に低下する	C	重要変状が有る

<p>(4) 定期点検では、施設単位毎に健全性の診断の区分を決定するものとする。このとき、「橋、高架の道路等の技術基準(道路橋示方書 H29 年)」に規定する、上部構造、下部構造及び上下部接続部のそれぞれについて、想定する状況に対してどのような状態となる可能性があると推定されるかを検討した結果も考慮することが望ましい。</p>	<p>(2) 橋の健全性の分類</p> <p>1) 想定する状況に対する状態からの橋の健全性 上部構造、下部構造、上下部接続部、その他(伸縮装置)についての想定する状況に対する状態の最も悪い状態とする。重要変状がある場合は、9.2以降に示す各グループの重要変状ごとに示されたIVの目安を参考に、IIIもしくはIVとする。</p> <p>2) 橋の健全性の総合的決定 上記1)に加え、次の点を考慮して橋の健全性を決定する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第三者被害の評価：防護柵、舗装等の構造部材以外も対象とし、コンクリート片の落下、走行車両の橋外への転落等を評価 ・予防保全の便益/費用を評価(例えば、水切りは優れる)
--	---

<p>6. 記録</p> <p>(1) 定期点検の結果は、併用中の被災時の対応を含む適切な維持管理を行う上で必要と考えられる以下の情報を基本として、活用可能な形で記録しておくこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 橋梁名 ・ 路線名 ・ 所在地 ・ 設置位置 (緯度経度) ・ 施設ID ・ 管理者名 ・ 路下条件 ・ 代替路の有無 ・ 道路の種類 (自動車専用道路か一般道かの別) ・ 緊急輸送道路 ・ 占用物件 ・ 橋梁諸元 (架設年度、橋梁、幅員、橋梁形式) ・ 告示に基づく健全性の診断の区分 ・ 定期点検実施年月日 (状態把握を行った末日) ・ 定期点検者 (定期点検を行う知識と技能を有する者) <p>(2) 想定する状態に対する上部構造、下部構造及び上下部接続部などの構造安全性、予防保全の必要性、第三者被害の発生の可能性などを含む5. で検討した措置に関する内容について技術的観点からの見解を記録しておくことが望ましい。</p>	<p>10 点検結果の記録</p> <p>10.1 点検結果の記録方法</p> <p>(1) 点検結果記録様式</p> <p>点検結果を記録する様式は、以下の3つとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道路橋定期点検要領 (技術的助言の解説・運用基準) (参考技術基準) の様式1、様式2、様式3 ・ 画像撮影位置図 (画像撮影位置・重要変状の位置等の記録) : 記録様式1 <p>10.4 点検結果の保管方法</p> <p>点検結果は電子データとして記録媒体に保存し、市が管理することを基本とする。また、クロスロードとの連携など、国機関システムとの連携が想定されるため、クラウドサービスの利用などは、適宜検討する。保管する電子データは、点検結果の他、補修履歴や設計図書 (竣工図等も含む) なども橋梁単位で保管する。</p>
--	---

5 定期点検の頻度

定期点検は、図 5.1 に従い、5 年に 1 回の頻度で実施することを基本とし、例外的に指定した橋について 5 年より短い間隔で実施する。

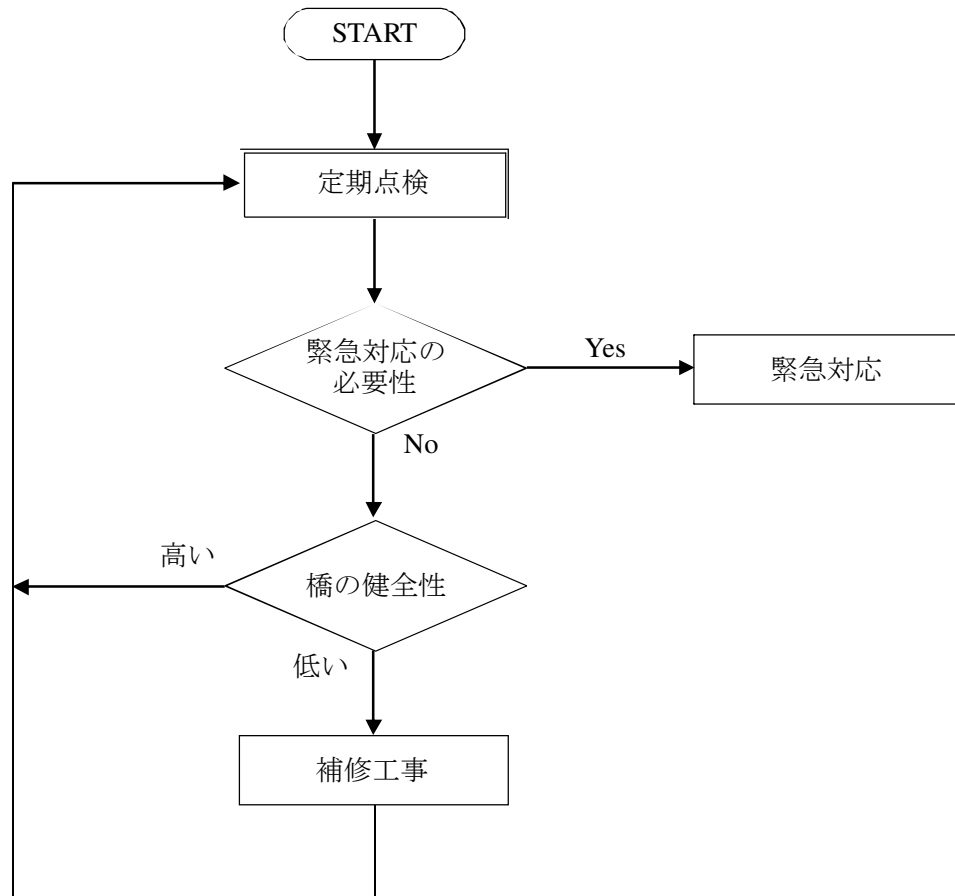


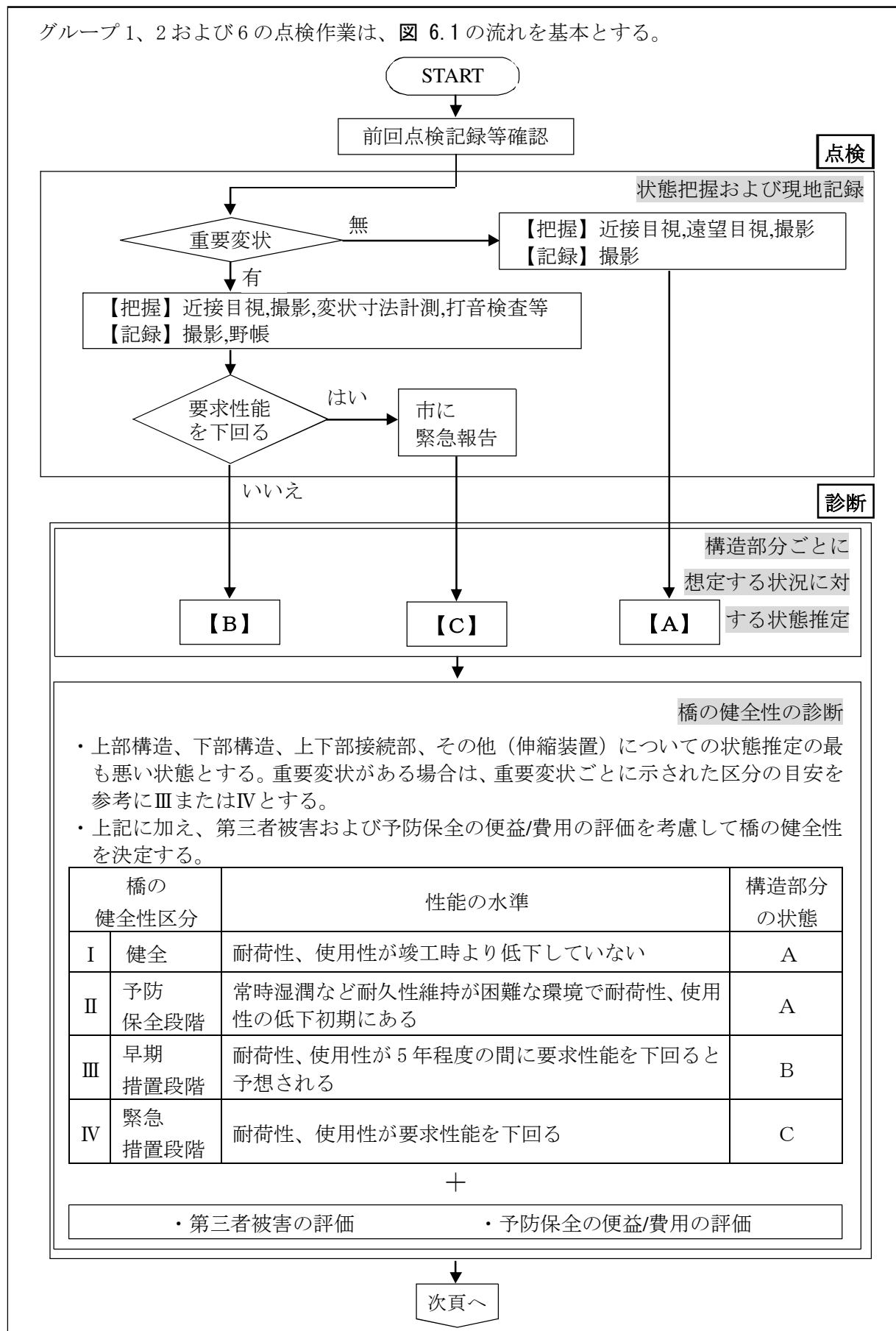
図 5.1 維持管理の流れ

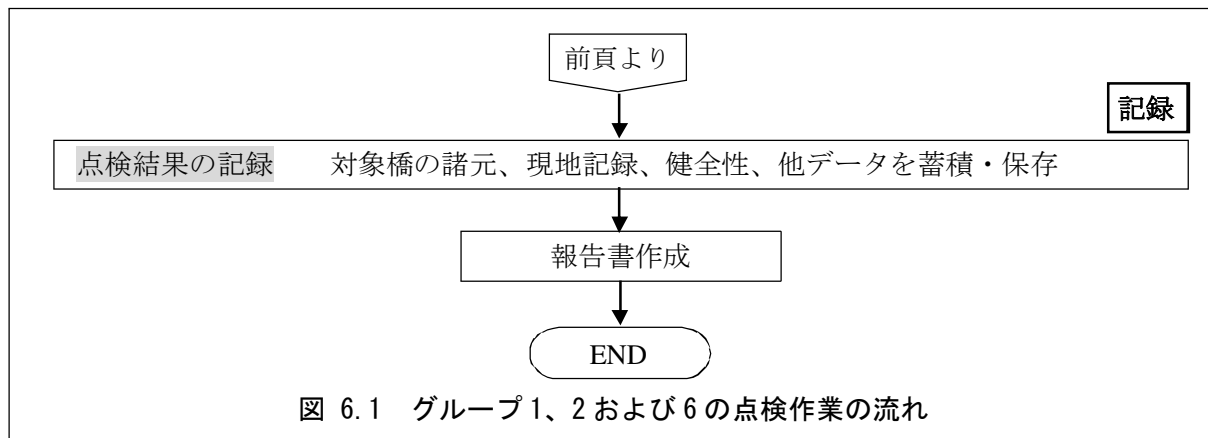
【解説】

- (1) 定期点検は、図 5.1 の流れによることを基本としているが、変状の状況に応じて、その頻度の見直しを行うことが重要である。
- (2) 定期点検実施の優先順位や頻度の計画にあたっては、変状の状況、橋梁規模、架設後の経過年数、橋梁の重要度等を総合的に判断して決定する必要がある。
- (3) 緊急対応の必要性については、「9 診断」を参照のこと。

6 点検作業の流れ

グループ 1、2 および 6 の点検作業は、図 6.1 の流れを基本とする。





【解説】

点検における現地記録は、8.2 および 10 に基づき行う。最初に、数橋の撮影画像の適否について調査職員の確認を得ること。

7 点検体制

定期点検は、橋梁点検員 1 名、点検補助員 1～2 名、橋梁診断員 1 名の人員構成で行う。橋梁点検員は点検の品質および作業の安全に、橋梁診断員は診断の品質に責任を負う者であり、十分な知識と実務経験を有する必要がある。橋梁点検員と橋梁診断員は、知識を有していることを示す技術者資格を有する必要がある。また、橋梁診断員は、橋梁点検員を兼務できる。

【解説】

橋梁点検員および橋梁診断員は、本ガイドラインの考え方をよく理解して点検、診断を行う必要があり、各々、以下の技術者資格を有する者とする。

- (1) 橋梁点検員は、次のいずれかの資格を有すること
 - ・建設部門（鋼構造及びコンクリート）の技術士の資格
 - ・「公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に関する技術者資格登録規定（平成 26 年国土交通省告示第 1107 号）」に基づく技術者資格登録簿（最新版）に登録された資格（施設分野：橋梁（鋼橋）及び橋梁（コンクリート橋）、業務：点検に関するもの）を有する者
- (2) 橋梁診断員は、次のいずれかの資格を有すること
 - ・建設部門（鋼構造及びコンクリート）の技術士の資格
 - ・「公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に関する技術者資格登録規定（平成 26 年国土交通省告示第 1107 号）」に基づく技術者資格登録簿（最新版）に登録された資格（施設分野：橋梁（鋼橋）及び橋梁（コンクリート橋）、業務：診断に関するもの）を有する者
- (3) 市職員が点検・診断する場合
 - ・国土交通省北陸地方整備局が実施する道路構造物管理実務者研修の「橋梁初級 I 研修」を受講し、達成度試験（学科・実技）に合格した者

8 点検の内容

8.1 点検対象部材および重要変状

8.1.1 R C中実床版橋（グループ1）

点検対象部材および重要変状は、表 8.1による。

表 8.1 R C中実床版橋の点検対象部材および重要変状

構造部分	部材	重要変状	性能の状態	備考
上部構造	床版 (主桁)	幅 0.2mm 以上の曲げ ひびわれ（支間中央 の橋軸直角方向）	曲げ耐力が低下	地覆下除く
		減肉を伴う局部的で ない鉄筋露出	曲げ耐力が低下	同 上
下部構造	橋台	局部的でない変形・ 欠損	曲げ, せん断耐力が低 下	
上下部接 続部	支承部	支承部直下の橋台に 変形・欠損	支承機能の喪失	
その他 (伸縮装 置)	伸縮装置	20mm 以上の段差	使用性（走行の安全 性）が低下	伸縮装置がある場 合のみ

- ・その他（フェールセーフ）は該当なし
- ・管理橋梁で第三者被害予防措置対象橋はない

【解説】

(1) 令和4年度以前の点検において、R C中実床版橋 643 橋のうち健全性Ⅲは 28 橋である。Ⅲの決定要因となった変状を解表 8.1 に示す。

解表 8.1 健全性Ⅲの決定要因の変状

部材	変状名	橋梁数	備考
床版	剥離・鉄筋露出	20	減肉を伴う広範囲の鉄筋露出
	ひびわれ	7	A S R が原因と推定される
橋台	ひびわれ	3	A S R が原因と推定される
地覆	変形・欠損	1	防護柵支柱根入れ部が広範囲に欠損
計		31	変状単位で計上した橋の総数



減肉を伴う局部的でない鉄筋露出



A S R が原因と推定されるひびわれ

減肉を伴う局部的でない鉄筋露出が見られた事例では、かぶりが剥落して鉄筋の断面減少や、鉄筋の破断も見られた（解表 8.1 の写真参照）。解表 8.1 に示したひびわれ、漏水・遊離石灰については、単に A S R が原因と推定されるということでⅢと判定されており、本ガイドラインの考え方では重要変状に該当しないため除外した。

解表 8.1 に示される変状の他に、各部材において耐荷性や使用性を明確に低下させる変状を追加して表 8.1 とした。曲げひびわれについては、①点検時点で鉄筋応力が降伏点に近い状態（9.2 参照）に加えて、②ひびわれから侵入する腐食因子により将来、鉄筋腐食が進行し①に至る状態を想定する必要がある。下表⁶⁾で、ひびわれ幅 w (mm) が $0.2 < w \leq 0.3$ で塩分環境下において部材性能への影響が中（20年耐久性）となっていることより、幅 0.2mm 以上の曲げひびわれを重要変状とした。

表-4.2.1 鋼材腐食の観点からのひび割れの部材性能への影響

環境条件		塩分環境下	水掛かりあり	水掛かりなし
ひび割れ幅： w (mm)	$0.5 < w$	大 (20年耐久性)	大 (20年耐久性)	大 (20年耐久性)
	$0.4 < w \leq 0.5$	大 (20年耐久性)	大 (20年耐久性)	中 (20年耐久性)
	$0.3 < w \leq 0.4$	大 (20年耐久性)	中 (20年耐久性)	小 (20年耐久性)
	$0.2 < w \leq 0.3$	中 (20年耐久性)	小 (20年耐久性)	小 (20年耐久性)
	$w \leq 0.2$	小 (20年耐久性)	小 (20年耐久性)	小 (20年耐久性)

※評価結果「小」、「中」、「大」の意味は下記のとおりである。

小：ひび割れが性能低下の原因となっておらず、部材が要求性能を満たしている。

中：ひび割れが性能低下の原因となるが、軽微（簡易）な対策により要求性能を満たすことが可能である。

大：ひび割れによる性能低下が顕著であり、部材が要求性能を満たさない。

※※カッコ内の数値は鋼材腐食に対する耐久性の評価結果を保証できる期間の目安としての年数を示しており、（20年耐久性）はひび割れの評価時点から 15～25 年後程度を保証できる期間の目安として設定したものであり、15～25 年の平均をとって示している。

⁶ 公益社団法人 日本コンクリート工学会：コンクリートのひび割れ，補修・補強指針 2022，pp. 85-86，2022.

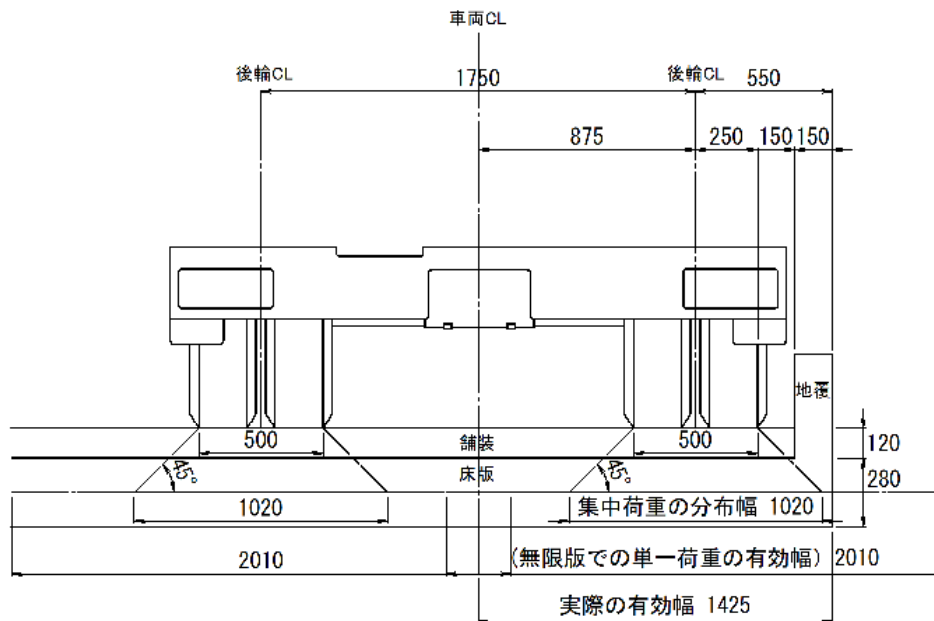
減肉を伴う局部的でない鉄筋露出の「局部的でない」の考え方の例を以下に示す。

高度経済成長期の床版橋の多くが鋼道路橋設計示方書（昭和 31 年）の T 荷重載荷時の床版の曲げモーメントを梁として計算したと考えられる。当時の設計基準の一つであるコンクリート標準示方書⁷⁾では梁の有効幅を次のように定めている。

141 条 一方向スラブ
 (1) 単純に支持された一方向スラブは、荷重の分布幅に $2.4x\left(1-\frac{x}{l}\right)$ を加えた値を有効幅と考慮して、スラブの単位幅当たりの最大曲げモーメントを求めてよい。
 ここに、 x ：考える断面から最も近い支承までの距離
 l ：スパン

橋長が短いほど有効幅は小さくなる。橋長 2m の宮田町 70 号橋（解表 9.3）での有効幅を解図 8.1 に示す。左右の後輪の有効幅が重複しており、安全側の有効幅は地覆側後輪の 1425mm となる。

鉄筋露出の幅員方向の幅がこれより大きい場合に「減肉を伴う局部的でない鉄筋露出」の参考とすることができる。



解図 8.1 梁計算の有効幅（橋長 2m）

⁷⁾ 土木学会：コンクリート標準示方書 昭和 42 年版，pp. 106，昭和 42 年 5 月

(2) コンクリートを現場で練っていた時代には、コンクリート中の粗骨材より大きな石（粗石）を配置し、その周囲にコンクリートを打ち、締め固めるという粗石コンクリートもあった⁸⁾。粗石コンクリート橋台の変状例を**写真 8.1** に示す。粗石周囲のコンクリートが消失して広範囲に変形・欠損が発生している。粗石コンクリート橋台は、高岡市だけでなく県内他市においてもあり、同様の変状が発生している。また、粗石コンクリートは、およそ昭和 30 年以前に施工された砂防施設に多用されている。しばしばコンクリートの不足や手作業によって充填が不十分なケース、特に打設層下部や粗石周囲で空隙、あるいは多孔質・脆弱となっているケースがみられるという⁹⁾。



写真 8.1 粗石コンクリート橋台の変状例

(3) RC 中実床版橋では、伸縮装置がないものが大多数だが、ある場合（エラストイト含む）は橋の使用性（走行の安全性）の確保の観点から、タイヤがバーストする危険性が高くなる段差が 20mm を超える場合を重要変状とする。また、落橋防止システムは管理橋梁にはないため、該当なしとした。

⁸ 土木学会：コンクリート標準示方書 解説 昭和 33 年版，pp. 79-80，昭和 33 年 12 月

⁹ 尾関信幸，西本晴男：粗石コンクリート構造の砂防施設の内部特性と健全性評価，平成 28 年度砂防学会研究発表会概要集 B，pp. 230-231，平成 28 年 5 月

8.1.2 カルバート（グループ2）

点検対象部材および重要変状は、表 8.2 による。

表 8.2 カルバートの点検対象部材および重要変状

構造部分	部材	重要変状	性能の状態	備考
上部構造	頂版	頂版の幅 0.2mm 以上の曲げひびわれ（支間中央の橋軸直角方向）	曲げ耐力が低下	
		減肉を伴う局所的でない鉄筋露出	曲げ耐力が低下	
下部構造	側壁および底版	頂版に同じ	頂版に同じ	
	翼壁	減肉を伴う局所的でない鉄筋露出	曲げ耐力が低下	
	継手	土砂を伴う大量の漏水	利用者被害の予防能力が低下	背面土流出

- ・上下部接続部、その他（伸縮装置）、その他（フェールセーフ）は該当なし
- ・管理橋梁で第三者被害予防措置対象橋はない

【解説】

- (1) 令和4年度以前の点検において、カルバート 285 橋のうち健全性Ⅲは1橋である。Ⅲの決定要因となった変状は剥離・鉄筋露出であるが、RC中実床版橋の解表 8.1 に示す剥離・鉄筋露出に比べて軽微なものである（表 1.4）。しかし、各部材において、耐荷性や使用性を明確に低下させる変状でカルバートに発生する可能性のあるものを、中実床版橋を参考に追加して表 8.2 とした。
- (2) 上下部接続部として、頂版と側壁の隅角部が考えられるが、重要変状に該当する変状は発生していないため、隅角部は該当なしとした。また、伸縮装置、落橋防止システムは管理橋梁にはないため、該当なしとした。

8.1.3 PC床版橋（グループ6）

点検対象部材および重要変状は、表 8.3 による。

表 8.3 PC床版橋の点検対象部材および重要変状

構造部分	部材	重要変状	性能の状態	備考
上部構造	床版 (主桁)	曲げひびわれ（支間中央の橋軸直角方向）	曲げ耐力が低下	地覆下除く
		横締め鋼材の破断・突出	荷重分配機能の低下	
		桁下面の錆汁を伴うひびわれ	曲げ耐力低下の可能性	
		横締め定着部周辺の錆汁を伴うひびわれ	荷重分配機能低下の可能性	
		間詰め部からの錆汁の発生	荷重分配機能低下の可能性	
下部構造	橋台	局部的でない変形・欠損	曲げ，せん断耐力が低下	
	橋脚	橋台に同じ	橋台に同じ	
上下部接続部	支承部	支承部直下の橋台に変形・欠損	支承機能の喪失	
その他（伸縮装置）	伸縮装置	20mm 以上の段差	使用性（走行の安全性）が低下	伸縮装置がある場合のみ

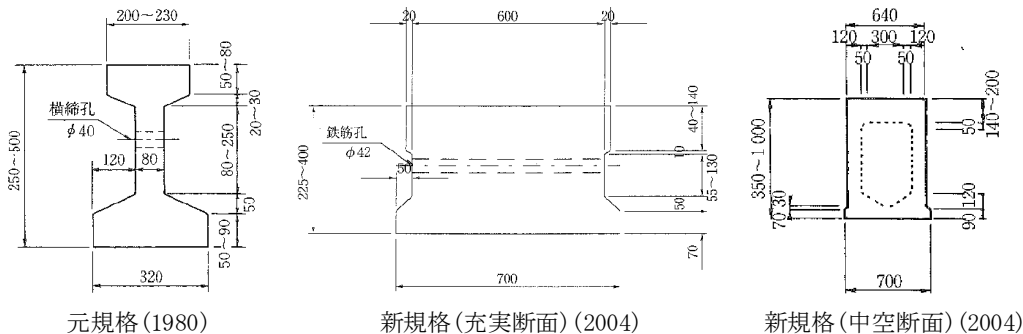
・その他（フェールセーフ）は該当なし
 ・管理橋梁で第三者被害予防措置対象橋はない

【解説】

(1) 上部構造の変状

1) PC床版橋の構造概要

プレストレストコンクリート（PC）構造物は、圧縮応力（プレストレス）を与えることで、引張強度が小さいというコンクリートの欠点を補った構造物である。令和8年度版では、そのうちのPC床版橋を適用対象に追加しており、これはプレテンションPC桁（大多数がJIS桁，解図 8.2）を使用し、PC鋼材による横締めがある構造を分類している。

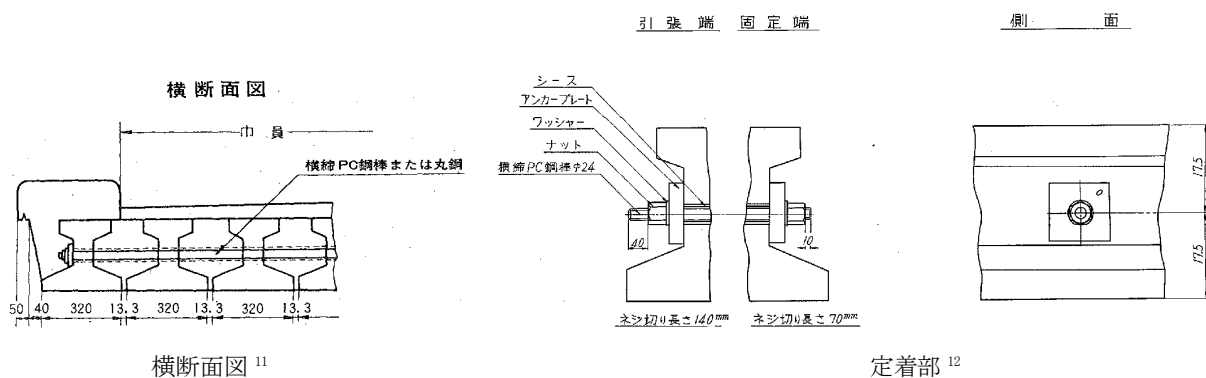


解図 8.2 JIS桁の例¹⁰⁾

¹⁰⁾ (社)プレストレスト・コンクリート建設業協会：道路橋用橋げた 設計・製造便覧 JIS A 5373-2004，平成 16 年 6 月

横締めとは、桁を横方向（橋軸直角方向）に一体化させるため、桁の側面からプレストレスを与えることである。横締めでは、桁にシース管を取り付け、その中にPC鋼材を挿入し、ジャッキにてPC鋼材の緊張を行う。その後、シース管内部をグラウトで充填し、定着具を取り付けた上でジャッキを開放することで、プレストレスを与える。横締め鋼材には、PC鋼棒や丸鋼が使用されている（解図 8.3^{11),12)}）。

桁では、荷重の載荷による引張応力が、プレストレスを超えてコンクリートの曲げ引張強度に到達した時点で、ひびわれが発生する。また、桁の圧縮縁が終局ひずみ（0.0025¹³⁾）に到達した時点で、破壊に至る。高岡市のPC床版橋が整備された当時のJIS A 5313-1959において、2点載荷試験によるひびわれ荷重および破壊荷重が規定されている（解表 8.2）。破壊試験荷重はひびわれ試験荷重に比べて、2倍以上大きな値となっている。



解図 8.3 横締め概念図

解表 8.2 JIS A 5313-1959 の曲げ強さ¹⁴⁾

呼び名	ひびわれ試験荷重(t)	破壊試験荷重(t)
S205	3.7	8.5
S206	3.7	9.3
S207	4.1	9.6
S208	4.2	10.4
S209	4.4	11.0
S210	5.1	12.6
S211	5.4	14.3
S212	5.8	14.8
S213	6.3	16.4

¹¹ ピー・エス・コンクリート（株）：PC道路橋用橋ゲタ総合カタログ

¹² （社）日本道路協会：道路橋設計図集 第1〔設計図2〕，1959

¹³ （社）土木学会：プレストレストコンクリート設計施工指針，昭和30年4月

¹⁴ プレストレスト・コンクリート工業協会編：スラブ橋用プレストレスト コンクリート橋ゲタ JIS A 5313-1959

解表 8.3 健全性Ⅲの決定要因の変状

部材	変状名	橋梁数	備考
主桁	ひびわれ	8	A S Rが原因と推定される
下部構造	ひびわれ	2	コールドジョイントが原因と推定される
その他	変形・欠損	1	防護柵の広範囲に変形・欠損が生じている
計		11	



A S Rが原因と推定されるひびわれ

令和7年度3月以前の点検において、PC床版橋123橋のうち健全性Ⅲは9橋である。Ⅲの決定要因となった変状を解表 8.3 に示す。

2) A S Rによるひびわれ

解表 8.3 に示したひびわれについては、単にA S Rが原因と推定されるということでⅢと判定されている。A S Rによるひびわれを重要変状とすべきか判断するため、解表 8.4 に示すⅢ判定のPC床版橋で載荷試験を行った。載荷試験では、設計活荷重と同程度の荷重を載荷した際に、曲げひびわれの発生有無を確認することで、耐荷性を評価した。また、曲げひびわれ発生時の曲げモーメントの計算値と、載荷試験時の曲げモーメントを比較し、耐荷性の劣化程度を評価した。

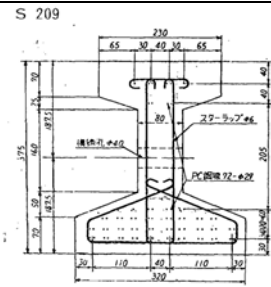
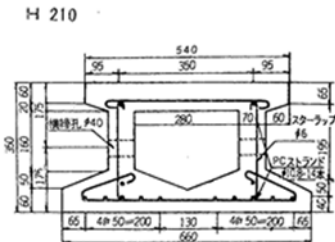
PC床版橋は架設年が古く完成図が保存されていないため、耐荷性の評価に当たり、桁の内部構造を把握する必要があった。このため、形状寸法調査や舗装厚調査、電磁波レーダーによる鋼材調査結果を基に、J I S桁や当時流通していたメーカー規格製品（ピー・エス・コンクリート（株）等）のうち、どの規格が使用されているかを推定した。曲げモーメントを算出するに当たり、横締め間隔や断面係数等の諸定数は規格値¹⁵⁾から設定した。また、コンクリート（桁）の曲げ引張強度やひびわれに対する安全度は、標準設計の解説¹⁵⁾から設定した。なお、以降の値は当時の基準書と統一しMKS重力単位系で示す。

載荷試験では、橋梁点検車BT200を荷重とした。BT200のアウトリガ最大反力は、最大張り出し時における前輪側の4.78t¹⁶⁾であり、T-14の後輪荷重5.6tの9割程度である。また、最大反力の載荷位置は、支間中央における下流側の地覆直近とした。

¹⁵⁾ (社) 日本道路協会：道路橋標準設計解説〔1〕〔2.〕PCスラブ橋標準設計，1959

¹⁶⁾ (株) タダノ：BT-200，製品カタログ

解表 8.4 載荷試験実施橋梁の構造諸元

項目		構造諸元																																																	
対象橋梁		下島橋	戸出町五丁目 707 号橋																																																
架設年		1964 年	1971 年																																																
設計基準		鋼道路橋設計示方書, 昭和 31 年 5 月																																																	
橋の等級		二等橋 (T-14)																																																	
支間長		8.35m (2 径間)	9.45m																																																
総幅員		6.95m	7.70m																																																
舗装厚		最小 55mm (横断勾配 2%)	45mm																																																
桁規格		JIS A 5313-1959(S209)	H210 (メーカー規格製品)																																																
桁断面図 ¹¹⁾																																																			
桁本数		20 本	11 本																																																
横締め間隔 (支間中央部) ¹¹⁾		0.60m	2.0m																																																
コンクリートの設計基準強度 ¹¹⁾	桁	500kgf/cm ²																																																	
	場所打ち	200kgf/cm ²																																																	
コンクリート (桁) の曲げ引張強度 ¹⁵⁾		60kgf/cm ²																																																	
ひびわれに対する安全度 ¹⁵⁾		1.50																																																	
		<p style="text-align: center;">附表-3 安全度</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>支間 (m)</th> <th>5</th> <th>7</th> <th>9</th> <th>11</th> <th>13</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幅員 (m)</td> <td>⑥, 7, 8, 10, 12</td> <td>⑥, 7, 8, 10, 12</td> <td>⑥, 7, 8, 10, 12</td> <td>⑥, 7, 8, 10, 12</td> <td>⑥, 7, 8, 10, 12</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">一等橋</td> <td>f_1</td> <td>1.74</td> <td>1.79</td> <td>1.95</td> <td>2.04</td> <td>2.30</td> </tr> <tr> <td>f_2</td> <td>1.55</td> <td>1.52</td> <td>1.51</td> <td>1.49</td> <td>1.52</td> </tr> <tr> <td>f_3</td> <td>2.96</td> <td>2.92</td> <td>2.97</td> <td>3.01</td> <td>3.04</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">二等橋</td> <td>f_1</td> <td>1.89</td> <td>2.06</td> <td>2.07</td> <td>2.19</td> <td>2.51</td> </tr> <tr> <td>f_2</td> <td>1.62</td> <td>1.57</td> <td>1.50</td> <td>1.48</td> <td>1.51</td> </tr> <tr> <td>f_3</td> <td>2.93</td> <td>2.93</td> <td>2.96</td> <td>2.99</td> <td>3.06</td> </tr> </tbody> </table> <p>f_1: 活荷重のひびわれに対する安全度 f_2: 設計荷重のひびわれに対する安全度 f_3: 設計荷重の破壊に対する安全度 上表中安全度は幅員の欄で○印で囲んだ場合が一番小さくなるのでこの場合について計算した値である。</p>		支間 (m)	5	7	9	11	13	幅員 (m)	⑥, 7, 8, 10, 12	⑥, 7, 8, 10, 12	⑥, 7, 8, 10, 12	⑥, 7, 8, 10, 12	⑥, 7, 8, 10, 12	一等橋	f_1	1.74	1.79	1.95	2.04	2.30	f_2	1.55	1.52	1.51	1.49	1.52	f_3	2.96	2.92	2.97	3.01	3.04	二等橋	f_1	1.89	2.06	2.07	2.19	2.51	f_2	1.62	1.57	1.50	1.48	1.51	f_3	2.93	2.93	2.96
支間 (m)	5	7	9	11	13																																														
幅員 (m)	⑥, 7, 8, 10, 12	⑥, 7, 8, 10, 12	⑥, 7, 8, 10, 12	⑥, 7, 8, 10, 12	⑥, 7, 8, 10, 12																																														
一等橋	f_1	1.74	1.79	1.95	2.04	2.30																																													
	f_2	1.55	1.52	1.51	1.49	1.52																																													
	f_3	2.96	2.92	2.97	3.01	3.04																																													
二等橋	f_1	1.89	2.06	2.07	2.19	2.51																																													
	f_2	1.62	1.57	1.50	1.48	1.51																																													
	f_3	2.93	2.93	2.96	2.99	3.06																																													



下島橋



戸出町五丁目 707 号橋

写真 8.1 載荷試験状況

解表 8.5 対象橋梁の各曲げモーメント

対象橋梁		下島橋	戸出町五丁目 707 号橋
曲げモーメント (計算値)	曲げひびわれ発生時	3032kgf・m	6693kgf・m
	載荷試験時	937kgf・m	1873kgf・m

載荷試験時に桁下面を近接目視した結果、曲げひびわれは確認されなかった。また、PC 橋の計算例^{17), 18)}や標準設計の解説¹⁵⁾を参考に復元計算を行った結果、曲げひびわれ発生時の曲げモーメントの計算値は、載荷試験時に発生した最外縁の主桁の曲げモーメント(最大値)に対して、約 3 倍であることが確認された(解表 8.5)。

このため、ASRによるひびわれが発生したPC床版橋では、設計荷重と同程度の荷重で曲げひびわれを生じるほど(曲げひびわれ発生時の曲げモーメントが約 1/3 となるほど)耐荷性は低下していないことが確認された。これは、ASRによる膨張が一定の範囲内では、PC梁部材の耐荷性能はそれほど低下しないという、既往調査¹⁸⁾に符合する。この理由は、ASR膨張により導入されるケミカルプレストレスの積極的な影響と、膨張により材料特性が低下する消極的な影響が、相反するためである¹⁹⁾。

以上より、錆汁を伴わないASRによるひびわれは、重要変状から除外する。

3) 耐荷性、使用性が要求性能を下回っている可能性を示す変状

上部構造において、耐荷性や使用性が要求性能を下回っている可能性を示す変状を表 8.3 に示した。

JIS A 5313-1959 では、許容曲げ引張応力度を $0\text{kgf}/\text{cm}^2$ と設定しているため¹¹⁾、死荷重状態でプレストレス導入方向と直行するひびわれ(曲げひびわれ)を生じることは、耐荷性が要求性能を下回っていることを示す。このため、曲げひびわれを重要変状とした。

¹⁷⁾ (社)プレストレスト・コンクリート建設業協会：やさしいPC橋の設計，2002年7月

¹⁸⁾ (社)プレストレスト・コンクリート建設業協会：やさしいPC橋の設計，2021年7月

¹⁹⁾ 上田尚史・中村 光・国枝 稔・前野裕文・森下宣明・浅井 洋：コンクリート構造物におけるASR損傷と損傷後の構造性能の評価：土木学会論文集 E2 (材料・コンクリート構造)，Vol.67, No.1, pp.28-47, 2011



横締め鋼材の破断・突出



応急対策工（H形鋼の架設）

写真 8.2 大間川橋の事例¹⁹



桁下面の錆汁を伴うひびわれ

写真 8.3 耐荷性や使用性が要求性能を下回っている可能性を示す変状(1)

PC床版橋は、横締めにより桁を一体化することで、橋軸直角方向の荷重分配を行うものとしている。横締め鋼材の破断・突出は、荷重分配機能の低下を明確に示す変状であり、石川県七尾市の大間川橋の事例（写真 8.2）では、直ちに通行止め・応急対策工を実施している²⁰。このため、横締め鋼材の破断・突出を重要変状とした。

4) 耐荷性、使用性が要求性能の近くまで低下している可能性を示す変状

上部構造において、耐荷性や使用性が要求性能の近くまで低下している可能性を示す変状を表 8.3 に示した。

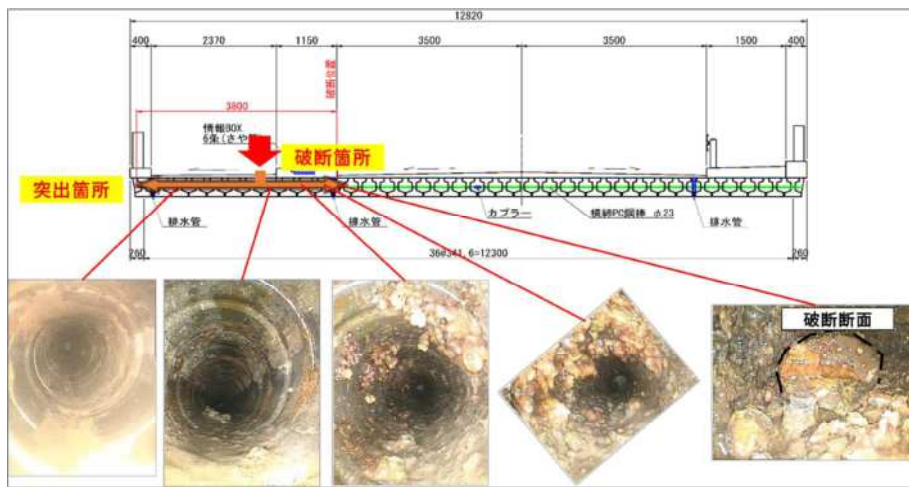
錆汁を伴うひびわれが桁下面で確認された場合、PC鋼線またはスターラップが腐食している可能性が高い。腐食が進行しPC鋼線の破断に至った場合は、桁製作時に導入されたプレストレスが解放されるため、曲げ耐力が低下する。このため、PC鋼線の破断の可能性を示す、桁下面の錆汁を伴うひびわれを重要変状とした。PC鋼線が破断に至る前の腐食段階では、非破壊調査による損傷程度の確認が困難である。このため、錆汁を伴うひびわれが複数確認される等、PC鋼線が破断している可能性が高いと判断される場合は、漏洩磁束法等の非破壊調査により別途詳細調査を行った上で、補修・補強の検討を行うことが望ましい。

²⁰ 飯田和宏・橋 翼・市原寛之：国道 160 号大間川橋における横締め PC 鋼棒の突出事象への対応について



横締め定着部周辺の錆汁を伴うひびわれ 間詰め部からの錆汁の発生

写真 8.4 耐荷性や使用性が要求性能を下回っている可能性を示す変状(2)



解図 8.4 シース内の観察結果²⁰

錆汁を伴うひびわれが横締め定着部周辺で確認された場合、または間詰め部から錆汁の発生が確認された場合、横締め鋼材が腐食している可能性が高い。通常、横締め鋼材はシース内でグラウトに保護されており、橋面などから水の浸入がある場合でも腐食しにくい環境にある。しかし、大間川橋の事例のように、グラウトの充填不良が生じている場合は、横締め鋼材が腐食し破断に至る可能性がある（解図 8.4）²⁰。横締め鋼材の破断・突出が生じた場合は、直ちに応急対策が必要となる。このため、横締め鋼材の破断の可能性を示す、横締め定着部周辺の錆汁を伴うひびわれと、間詰め部からの錆汁の発生を重要変状とした。錆汁の発生が複数確認される等、横締め鋼材が破断している可能性が高いと判断される場合は、インパクトエコー法等の非破壊調査により別途詳細調査を行った上で、補修・補強の検討を行うことが望ましい。

(2) 上部構造以外の変状

上部構造以外の構造部分において、耐荷性や使用性を明確に低下させる変状は、RC中実床版橋とPC床版橋で同等と判断し、中実床版橋を参考に追加して表 8.3 とした。

8.2 重要変状の状態把握方法

8.2.1 RC中実床版橋（グループ1）

(1) 状態把握方法

- 1) 重要変状の状態把握方法は、床版および橋台は表 8.4 による。路面は近接目視による。これらによりがたい場合は、調査職員と協議するものとする。
- 2) ポールカメラ【近接】は、ポール先端に取付けたカメラで撮影した画像において、変状の判読が近接目視と同等に行えるものである。表 8.4 に示す適用条件に加えて、近接目視が困難な狭隘部（橋台の前面に護岸がある橋の桁端部等）に適用する。13.3 にその適合例を示す。
- 3) ポールカメラ【遠望】は、撮影した画像において、変状の判読が部材から 2m 程度離れた目視と同等に行えるものである。13.3 にその適合例を示す。
- 4) 他撮影技術は、近接目視およびポールカメラ【近接】が行えない場合に使用する撮影技術の総称である。画像において、変状の判読が近接目視と同等に行える技術とし、13.3 にその例を示す。

表 8.4 床版および橋台の重要変状の状態把握方法

桁下	水深	余裕	状態把握方法	
			前回健全性Ⅱ, Ⅲ	前回健全性Ⅰ
7.0m ～ 4.0m	0.5m 未満	—	②ポールカメラ【近接】（鉛直）	③ポールカメラ【遠望】（鉛直）
	0.5m 以上	0.5m 以上	①近接目視（ボート）＋ ②ポールカメラ【近接】（鉛直）	③ポールカメラ【遠望】（側方から差込）
0.5m 未満		②ポールカメラ【近接】（側方から差込）／④他撮影技術	③ポールカメラ【遠望】（側方から差込）	
4.0m ～ 0.8m	0.5m 未満	0.5m 以上	①近接目視（徒歩, 脚立, 梯子）	①近接目視（徒歩, 脚立, 梯子）
		0.5m 未満	②ポールカメラ【近接】（側方から差込）／④他撮影技術	③ポールカメラ【遠望】（側方から差込）
	0.5m 以上	0.5m 以上	①近接目視（ボート）＋ ②ポールカメラ【近接】（鉛直）	③ポールカメラ【遠望】（側方から差込）
		0.5m 未満	②ポールカメラ【近接】（側方から差込）／④他撮影技術	③ポールカメラ【遠望】（側方から差込）
0.8m 未満	—	0.5m 以上	①近接目視	③ポールカメラ【遠望】（側方から差込）
		0.5m 未満	②ポールカメラ【近接】（側方から差込）／④他撮影技術	③ポールカメラ【遠望】（側方から差込）

- ・「桁下」とは、地面または河床等からの床版下面の高さ
- ・「水深」とは、河川等の常時水深または短期間低下時（堰等により）水深
- ・「余裕」とは、河川等の常時水位または短期間低下時（堰等により）水位から床版下面の高さ
- ・「A+B」とは、必要な場合、方法Aに方法Bを併用することを示す

(2) 重要変状の現地記録方法

重要変状がある場合には、前回点検の橋梁一般図（富山県橋梁維持管理システム）を活用し、同図に位置を追記して、表 8.5 に示す重要変状の記録を作成する。その様式を 10.1 に示す。これらによりがたい場合は、調査職員と協議するものとする。状態把握の最初に、数橋の撮影画像の適否について調査職員の確認を得ること。

表 8.5 R C中実床版橋の重要変状の記録

部材	重要変状	記録項目
床版 (主桁)	幅 0.2mm 以上の曲げひびわれ	・ ひびわれの詳細写真（錆汁有無含む） ・ ひびわれの幅、長さ、間隔
	減肉を伴う局部的でない鉄筋露出	・ 鉄筋露出の詳細写真 ・ 鉄筋露出の幅員および橋軸方向の各寸法、深さ ・ 鉄筋径（腐食部、健全部） ・ 減肉程度が大小の 2 箇所鉄筋断面減少割合（健全部の鉄筋断面積に対する減少）
橋台	局部的でない変形・欠損	・ 変形・欠損の詳細写真 ・ 変形・欠損の幅、長さ、深さ
支承部	支承部直下の橋台に変形・欠損	同 上
伸縮装置	20mm 以上の段差	・ 段差の詳細写真 ・ 段差の幅、長さ、深さ

【解説】

(1) 状態把握方法

床版および橋台の重要変状の状態把握方法は、前回健全性Ⅰの橋については、近接目視が容易に行える場合を除き、ポールカメラ【遠望】とした。この理由は、前回健全性Ⅰの橋は重要変状を含め変状がなかったため、建設時にある程度以上の品質が確保された橋であると思われ、点検間隔 5 年の間に重要変状が発生する可能性は極めて小さいと考えられることによる。

ポールカメラ【遠望】により見逃す可能性がある重要変状は、幅が小さい、長さの短い曲げひびわれである。重要変状を見逃すリスクへの対策として、近接目視による点検により曲げひびわれが発生していた場合は、直ちに発生原因の分析を行い、その原因を他の橋も有する場合には、年度途中においても、状態把握方法を前回健全性Ⅱ、Ⅲの方法に変更する。

なお、減肉を伴う局部的でない鉄筋露出および局部的でない変形・欠損は、ポールカメラ【遠望】により識別可能である。

8.2.2 カルバート（グループ2）

(1) 状態把握方法

- 1) 重要変状の状態把握方法は、頂版、側壁、底版、継手は表 8.6 に、翼壁は表 8.7 による。これらによりがたい場合は、調査職員と協議するものとする。
- 2) ポールカメラ【遠望】は、撮影した画像において、変状の判読が部材から 2m 程度離れたの目視と同等に行えるものである。13.3 にその画像例を示す。

表 8.6 頂版、側壁、底版、継手の重要変状の状態把握方法

内空高	水深	余裕	状態把握方法（前回健全性Ⅰ，Ⅱ，Ⅲともに）
7.0m～ 4.0m	0.5m 未満	—	③ポールカメラ【遠望】（鉛直）
	0.5m 以上	—	③ポールカメラ【遠望】（側方から差込）
4.0m～ 0.8m	0.5m 未満	0.5m 以上	①近接目視（徒歩, 脚立, 梯子）
		0.5m 未満	③ポールカメラ【遠望】（側方から差込）
	0.5m 以上	—	③ポールカメラ【遠望】（側方から差込）
0.8m 未満	—	—	③ポールカメラ【遠望】（側方から差込）

- ・「内空高」とは、底版からの頂版下面の高さ
- ・「水深」とは、河川等の常時水深または短期間低下時（堰等により）水深
- ・「余裕」とは、河川等の常時水位または短期間低下時（堰等により）水位から頂版下面の高さ

表 8.7 翼壁の重要変状の状態把握方法

全高	状態把握方法（前回健全性Ⅰ，Ⅱ，Ⅲともに）
4.0m 以上	③ポールカメラ【遠望】（鉛直）
4.0m 未満	①近接目視（徒歩, 脚立, 梯子）

- ・「全高」とは、地面からの翼壁上面の高さ

(2) 重要変状の現地記録方法

重要変状がある場合には、前回点検の橋梁一般図（富山県橋梁維持管理システム）を活用し、これに位置を追記して、表 8.8 に示す重要変状の記録を作成する。その様式を 10.1 に示す。これらによりがたい場合は、調査職員と協議するものとする。状態把握の最初に、数橋の撮影画像の適否について調査職員の確認を得ること。

表 8.8 カルバートの重要変状の記録

部材	重要変状	記録項目
頂版、側壁、底版	幅 0.2mm 以上の曲げひびわれ	<ul style="list-style-type: none"> ひびわれの詳細写真（錆汁有無含む） ひびわれの幅、長さ、間隔
	減肉を伴う局部的でない鉄筋露出	<ul style="list-style-type: none"> 鉄筋露出の詳細写真 鉄筋露出の幅員および橋軸方向の各寸法、深さ 鉄筋径（腐食部、健全部） 減肉程度が大小の 2 箇所鉄筋断面減少割合（健全部の鉄筋断面積に対する減少）
翼壁	減肉を伴う局部的でない鉄筋露出	<ul style="list-style-type: none"> 鉄筋露出の詳細写真 鉄筋露出の幅、長さ、深さ 鉄筋径（腐食部、健全部(可能な場合)）
継手	土砂を伴う大量の漏水	<ul style="list-style-type: none"> 漏水部の継手の詳細写真 継手の遊間、漏水部の高さ

【解説】

(1) 状態把握方法

- 1) 頂版、側壁、底版、翼壁、継手の重要変状の状態把握方法は、近接目視が容易に行える場合を除き、ポールカメラ【遠望】とした。この理由は、以下のイ)～ハ) に示されているように、カルバートはRC中実床版橋に比べて劣化の進行が遅く、点検間隔 5 年の間に重要変状が発生する可能性は前回健全性Ⅱの橋においても極めて小さいと考えられることによる。なお、前回健全性Ⅲは 1 橋のみであり、補修済みである。

イ) 高岡市におけるカルバートの健全性の分布

カルバートは、健全性Ⅱ、Ⅲの割合がRC中実床版橋に比べて小さい。これは、劣化の進行が遅いことを示している。

解表 8.6 RC中実床版橋、カルバートの健全性の分布

健全性	全橋に対する割合 (%)	
	RC中実床版橋	カルバート
I	67.4	89.9
II	29.7	9.8
III	2.3	0
点検未	0.6	0.3
計	647 橋	286 橋

※令和 7 年 3 月時点

ロ) 新潟県市区町村管理カルバートの劣化傾向

「**図-13** よりボックスカルバートは経年劣化傾向のばらつきが大きいですが、全体としてはほとんど健全度が下がっておらず、経過年数にかかわらず比較的健全度を高く保ち続けられることがわかる²¹⁾。」

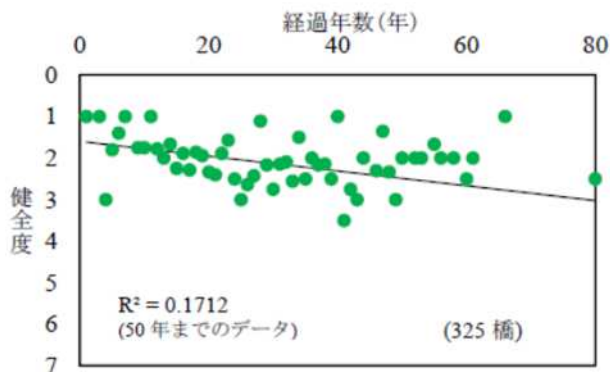


図-13 ボックスカルバートの経年劣化傾向

ハ) 四国地方整備局管内事務所管理のカルバートの劣化傾向

「**図-6** よりわかるように、RC橋やPC橋は鋼橋と比較して経年劣化に強く、ボックスカルバートは更に経年劣化に強い²²⁾。」

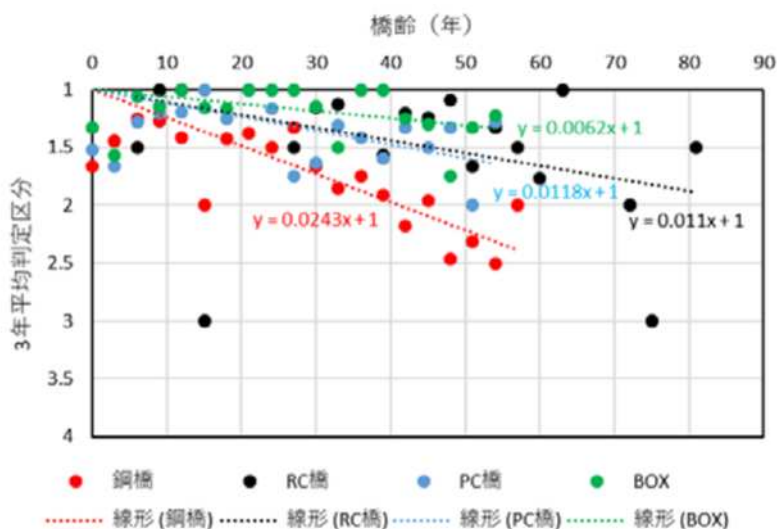


図-6 橋種ごとの3年平均判定区分の経年推移

重要変状が発生していた場合、ポールカメラ【遠望】により見逃す可能性がある重要変状は曲げひびわれである。このリスクへの対策として、近接目視を行う橋で曲げひびわれが発生していた場合には、直ちに発生原因の分析を行い、その原因を他の橋も有する場合には、年度途中においても、状態把握方法を表 8.4 の前回健全性Ⅱ、Ⅲの方法に変更する。

²¹ 小池真登, 長井宏平: 論文 新潟県市区町村における橋梁点検データを用いた経年劣化傾向分析, コンクリート工学年次論文集, Vol. 37, No. 2, 2015

²² 全 邦釘ほか: 橋梁の劣化過程の地域性の解明と地域アセットマネジメント手法の提案, 第55回土木計画学研究発表会・講演集, 2017

8.2.3 PC床版橋（グループ6）

(1) 状態把握方法

- 1) 重要変状の状態把握方法は、床版および橋台、橋脚は表 8.9 による。路面は近接目視による。これらによりがたい場合は、調査職員と協議するものとする。
- 2) ポールカメラ【近接】は、ポール先端に取付けたカメラで撮影した画像において、変状の判読が近接目視と同等に行えるものである。表 8.9 に示す適用条件に加えて、近接目視が困難な狭隘部（橋台の前面に護岸がある橋の桁端部等）に適用する。13.3 にその適合例を示す。
- 3) ポールカメラ【遠望】は、撮影した画像において、変状の判読が部材から 2m 程度離れた目視と同等に行えるものである。13.3 にその適合例を示す。
- 4) 他撮影技術は、近接目視およびポールカメラ【近接】が行えない場合に使用する撮影技術の総称である。画像において、変状の判読が近接目視と同等に行える技術とし、13.3 にその例を示す。

表 8.9 床版および橋台、橋脚の重要変状の状態把握方法

桁下	水深	余裕	状態把握方法	
			前回健全性Ⅱ, Ⅲ	前回健全性Ⅰ
7.0m ～ 4.0m	0.5m 未満	—	②ポールカメラ【近接】（鉛直）	③ポールカメラ【遠望】（鉛直）
	0.5m 以上	0.5m 以上	①近接目視（ボート）＋ ②ポールカメラ【近接】（鉛直）	③ポールカメラ【遠望】（側方から差込）
0.5m 未満		②ポールカメラ【近接】（側方から差込）／④他撮影技術	③ポールカメラ【遠望】（側方から差込）	
4.0m ～ 0.8m	0.5m 未満	0.5m 以上	①近接目視（徒歩, 脚立, 梯子）	①近接目視（徒歩, 脚立, 梯子）
		0.5m 未満	②ポールカメラ【近接】（側方から差込）／④他撮影技術	③ポールカメラ【遠望】（側方から差込）
	0.5m 以上	0.5m 以上	①近接目視（ボート）＋ ②ポールカメラ【近接】（鉛直）	③ポールカメラ【遠望】（側方から差込）
		0.5m 未満	②ポールカメラ【近接】（側方から差込）／④他撮影技術	③ポールカメラ【遠望】（側方から差込）
0.8m 未満	—	0.5m 以上	①近接目視	③ポールカメラ【遠望】（側方から差込）
		0.5m 未満	②ポールカメラ【近接】（側方から差込）／④他撮影技術	③ポールカメラ【遠望】（側方から差込）

- ・「桁下」とは、地面または河床等からの床版下面の高さ
- ・「水深」とは、河川等の常時水深または短期間低下時（堰等により）水深
- ・「余裕」とは、河川等の常時水位または短期間低下時（堰等により）水位から床版下面の高さ
- ・「A + B」とは、必要な場合、方法Aに方法Bを併用することを示す

(2) 重要変状の現地記録方法

重要変状がある場合には、前回点検の橋梁一般図（富山県橋梁維持管理システム）を活用し、同図に位置を追記して、表 8.10 に示す重要変状の記録を作成する。その様式を 10.1 に示す。これらによりがたい場合は、調査職員と協議するものとする。状態把握の最初に、数橋の撮影画像の適否について調査職員の確認を得ること。

表 8.10 PC床版橋の重要変状の記録

部材	重要変状	記録項目
床版 (主桁)	曲げひびわれ	・ひびわれの詳細写真（錆汁有無含む） ・ひびわれの幅、長さ、間隔
	横締め鋼材の破断・突出	・破断・突出の詳細写真 ・鋼材の種類、径
	桁下面の 錆汁を伴うひびわれ	・ひびわれの詳細写真（錆汁有無含む） ・ひびわれの幅、長さ、間隔
	横締め定着部周辺の 錆汁を伴うひびわれ	・ひびわれの詳細写真（錆汁有無含む） ・ひびわれの幅、長さ、間隔
	間詰め部からの 錆汁の発生	・錆汁の詳細写真 ・錆汁の幅、長さ
橋台、橋脚	局部的でない変形・欠損	・変形・欠損の詳細写真 ・変形・欠損の幅、長さ、深さ
支承部	支承部直下の橋台、橋脚に 変形・欠損	同 上
伸縮装置	20mm 以上の段差	・段差の詳細写真 ・段差の幅、長さ、深さ

【解説】

(1) 状態把握方法

床版および橋台、橋脚の重要変状の状態把握方法は、前回健全性Ⅰの橋については、近接目視が容易に行える場合を除き、ポールカメラ【遠望】とした。この理由は、前回健全性Ⅰの橋は重要変状がなかったため、内部鋼材の腐食は進展していないと思われ、点検間隔5年の間に重要変状が発生する可能性は極めて小さいと考えられることによる。

ポールカメラ【遠望】により見逃す可能性がある重要変状は、幅が小さい、長さの短い曲げひびわれや錆汁を伴うひびわれである。重要変状を見逃すリスクへの対策として、近接目視による点検により曲げひびわれや錆汁を伴うひびわれが発生していた場合は、直ちに発生原因の分析を行い、その原因を他の橋も有する場合には、年度途中においても、状態把握方法を前回健全性Ⅱ、Ⅲの方法に変更する。

なお、横締め鋼材の破断・突出および局部的でない変形・欠損は、ポールカメラ【遠望】により識別可能である。

9 診断

9.1 一般

健全性の診断は次の手順で行う。

(1) 部材（上部構造、下部構造、支承部、その他）の健全性の分類

構造部分は、以下が基本である。

- ・ 上部構造：道路そのものとして自動車等の通行荷重を載荷させる部分を提供する役割
- ・ 下部構造：上部構造を支える役割をもつ上下部接続部を適切な位置に提供する役割
- ・ 上下部接続部：上部構造の支点となりその影響を下部構造に伝達する役割

この基本に、その他（フェールセーフ）、その他（伸縮装置）を加えるのが一般的である。

各構造部分にどの部材が含まれるかは、グループにより異なる。それを 8.1 に示す。

想定する状況は、活荷重、地震、豪雨・出水を基本とし、必要に応じてその他の状況を加える。これらの状況に対して、どのような状態となる可能性があるのかを以下に区分する。

A：何らかの変状が生じる可能性は低い

B：致命的な状態となる可能性は低いものの何らかの変状が生じる可能性がある

C：致命的な状態となる可能性がある

この区分の考え方を表 9.1 に示す。重要変状がある場合は、BまたはCとなる。

表 9.1 橋の健全性および構造部分の想定する状況に対する状態

橋の健全性区分		性能の水準	構造部分の状態	変状
I	健全	耐荷性、使用性が竣工時より低下していない	A	変状なし
II	予防保全段階	常時湿潤など耐久性維持が困難な環境で耐荷性、使用性の低下初期にある	A	5年程度で重要変状に発達する変状がある
III	早期措置段階	耐荷性、使用性が5年程度で要求性能を下回ると予想される	B	重要変状がある
IV	緊急措置段階	耐荷性、使用性が要求性能を下回る	C	重要変状がある

(2) 橋の健全性の分類

1) 想定する状況に対する状態からの橋の健全性

上部構造、下部構造、上下部接続部、その他（伸縮装置）についての想定する状況に対する状態の最も悪い状態とする。重要変状がある場合は、9.2 以降に示す各グループの重要変状ごとに示されたIVの目安を参考に、IIIまたはIVとする。

2) 橋の健全性の総合的決定

上記1)に加え、次の点を考慮して橋の健全性を決定する。

- ・ 第三者被害の評価：防護柵、舗装等の構造部材以外も対象とし、コンクリート片の落下、走行車両の橋外への転落等の評価
- ・ 予防保全の便益／費用を評価（例えば、水切りは優れる）

9.2 RC中実床版橋（グループ1）の床版のIV

上部構造（床版）の健全性は、表 9.2 を参考に重要変状がIVまたはIIIのどちらに該当するか判断する。

表 9.2 RC中実床版橋 床版の重要変状ごとのIVの目安

重要変状	IVに分類する性能の水準/その目安となる変状の状態
曲げひびわれ	曲げ耐力：主鉄筋の応力が降伏点に達する/ 幅 0.3mm 以上の曲げひびわれ
減肉を伴う局部的でない鉄筋露出	曲げ耐力：主鉄筋の応力が降伏点に達する/ 橋長 7m 未満かつ床版厚 28cm 以上の場合 最も断面減少している幅 100cm (幅員方向) の平均で鉄筋断面減少*30%
20mm 以上の段差	使用性（走行の安全性）：一般車両の安全な通行が困難となる/ 150mm 以上の段差がある場合

*鉄筋断面減少量の設計鉄筋断面に対する割合

【解説】

(1) 基本検討条件

市の橋梁の過半が架設年次不明であるが、1950年代から大量架設が始まっている。RC中実床版橋に適用可能な最初の道路橋示方書が鉄筋コンクリート道路橋設計示方書解説²³⁾である。本基準に準拠して検討した。検討条件を解表 9.1 に示す。

橋の等級は、鋼道路橋設計示方書解説⁴⁾に基づき、主要地方道に架かる橋ではないことより二等橋（自動車荷重 14t）とした。

解表 9.1 基本検討条件

項目	条件
準拠基準	鉄筋コンクリート道路橋設計示方書解説
橋の等級	二等橋（自動車荷重 14t）
活荷重	T 荷重（支間長が 10m 以下より）
鉄筋	異形鉄筋 SSD49 降伏点 3000kgf/cm ² 以上
	許容応力度 1800kgf/cm ²
コンクリート	$\sigma_{28} = 240 \text{ kgf/cm}^2$
	許容応力度 80kgf/cm ² （曲げ圧縮）
かぶり	25mm

²³⁾ 日本道路協会：鉄筋コンクリート道路橋設計示方書解説，p. 1-15，昭和 39 年 6 月

(2) 曲げひびわれ

点検時に計測される曲げひびわれ幅は、死荷重によるひびわれ幅となる。

死荷重および活荷重による主鉄筋応力に占める死荷重の割合は、橋長 5m 程度の橋で約 7 割である。そこで、降伏点 3000kgf/cm² の 7 割である 2100kgf/cm² の応力に対する曲げひびわれ幅を、コンクリート標準示方書【設計編】(参考技術基準) の式 (2.3.3) である次式で算定(解表 9.2) すると、ひびわれ幅 w が 0.24mm となる。

$$w = 1.1k_1k_2k_3 \{4c + 0.7(c_s - \phi)\} \left[\frac{\sigma_{se}}{E_s} \left(\text{または} \frac{\sigma_{pe}}{E_p} \right) + \epsilon'_{csd} \right]$$

そこで、曲げ耐力が IV に分類される曲げひびわれ幅を 0.3mm とした。

解表 9.2 曲げひびわれ検討条件

項目	条件
鉄筋種別	異形鉄筋
コンクリートの圧縮強度 $f'c$ (N/mm ²)	24
引張鉄筋の段数	1
かぶり (mm)	25
鉄筋の中心間隔 (mm)	125
鉄筋径 (mm)	16
収縮およびクリープ等によるひびわれ幅の増加を考慮する数値	200×10^{-6}
鉄筋応力度の増加量 (N/mm ²)	210

(3) 減肉を伴う局部的でない鉄筋露出

橋長 2m、3m、5m、7m の 4 ケースにつき検討した。

1) 復元設計検討条件

全厚(床版厚+舗装厚)寸法を参考とする橋を解表 9.3 に示す。

床版厚は最小のもので 280mm と板桁橋の床版厚に比べて大きい。1950 年代から大量架設時には、鉄筋が現在に比べ高価であったため、床版厚を大きくとり鉄筋量を少なくしたと推察する。

解表 9.1、解表 9.3 の条件により復元設計を行った。鉄筋径の最小は 10mm とし、鉄筋の引張応力度が許容引張応力度の 9 割程度となるよう試算した。

解表 9.3 仮定断面寸法

管理者	橋名	橋長 (m)	幅員 (m)	舗装厚* (mm)	床版厚 (mm)	架設年	備考
高岡市	宮田町 70 号橋	2.0	6.7	120	280	1964	
	江尻 219 号橋	3.0	7.3	120	330	1967	
	波岡 65 号橋	4.9	6.9	120	330	1967	
	北島 81 号橋	7.3	8.0	120	330	不明	
他自治体	A 橋	4.5	6.5	120	310	1969	日大型車交通量 990 台

*床版厚を小さく設定し安全側に設計を行うため、日大型車交通量が比較的多く、舗装厚が厚い富山県内他自治体の A 橋の舗装厚(砕石層含む) 120mm と設定した。

2) IV変状検討条件

解表 9.1、解表 9.4 の条件により、健全性IVとみなす鉄筋断面減少割合を試算した。活荷重は、自動車荷重 20t（一等橋）が走行することを想定した。

解表 9.4 IV変状検討荷重条件

項目	条件
橋の等級	一等橋（自動車荷重 20t）
主鉄筋の降伏点	降伏点 3000kgf/cm ² の 95%に達した時点で降伏と判断する
コンクリート圧縮応力	鉄筋比が 0.5%程度と小さく、鉄筋降伏後も圧縮縁のコンクリート応力が小さいため、検討を省略する
コンクリートせん断応力	検討を省略する ²³⁾

3) 検討結果

復元設計結果を解表 9.5 に示す。

解表 9.5 復元計算結果

橋名	鉄筋径	鉄筋ピッチ (mm)	引張応力度 (N/mm ²)	許容引張応力度 (N/mm ²)
宮田町 70 号橋	D10	250	121	180
江尻 219 号橋	D10	190	162	180
波岡 65 号橋	D13	160	165	180
北島 81 号橋	D16	120	167	180

鉄筋断面減少割合の計算結果を解表 9.6 に示す。

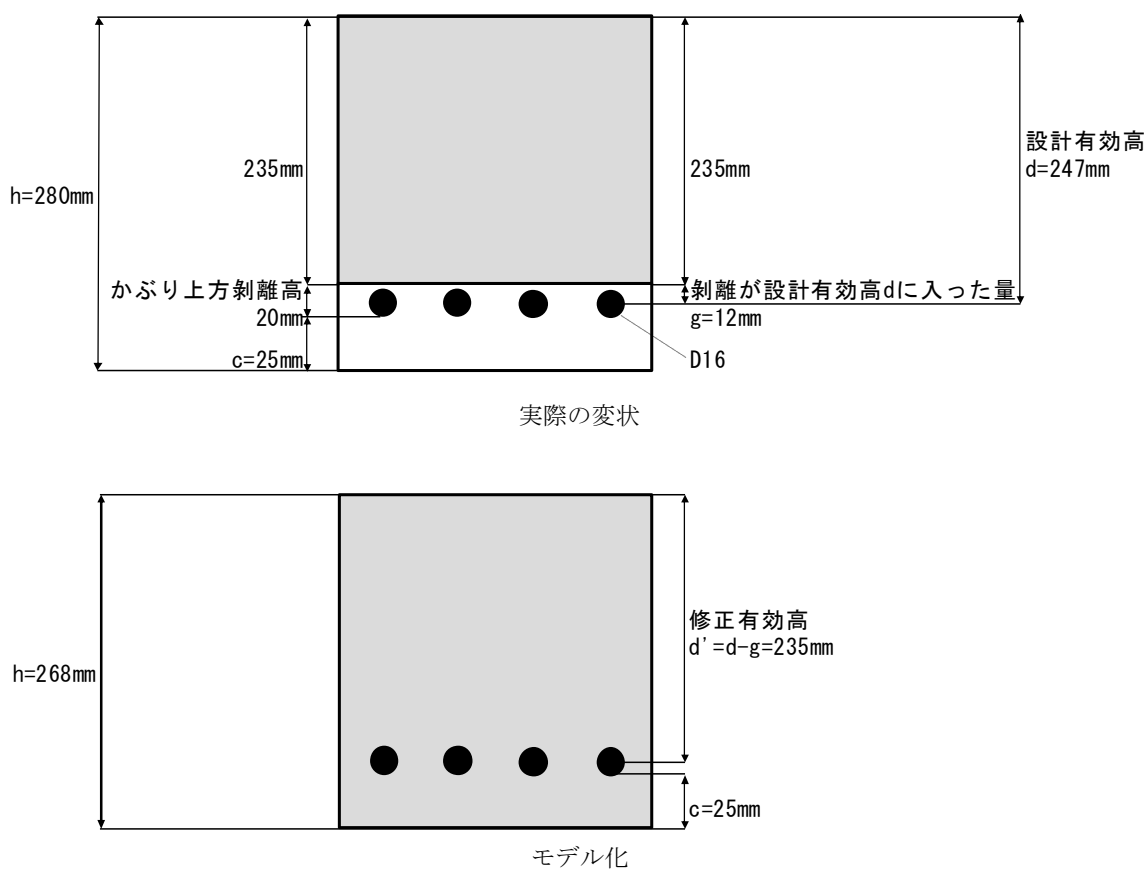
解表 9.6 鉄筋断面減少計算結果

橋名	鉄筋断面減少割合 (%)	引張応力度 (N/mm ²)	降伏点 (N/mm ²)
宮田町 70 号橋	48	287	300
江尻 219 号橋	34	285	300
波岡 65 号橋	36	288	300
北島 81 号橋	38	285	300

鉄筋断面減少が30%程度を超えると鉄筋周面が広く露出している状態（解表 8.1）である。断面保持の仮定が成立せず、コンクリートと鉄筋の重ね梁に近い状態といえる。

鉄筋断面減少 30%に合わせて、コンクリートがかぶりを越えて上方まで剥離した場合に鉄筋応力が降伏点に達する剥離高を解図 9.1 に示し、モデルで簡略に計算した結果を解表 9.7 に示す。橋長 3m、5m、7m では、かぶり上方剥離高は 17mm～32mm と鉄筋上面から僅かに剥離が進行した状態である。

簡略に計算していることによる誤差を考慮して、鉄筋断面減少 30%時に鉄筋応力が降伏点に達するとみなす。なお、上記は単位幅（100cm）で計算している。



解図 9.1 かぶり上方剥離の計算モデル

解表 9.7 かぶり上方剥離計算結果*

橋名	かぶり上方剥離高 (mm)	引張応力度 (N/mm ²)	降伏点 (N/mm ²)
宮田町 70 号橋	62	285	300
江尻 219 号橋	17	285	300
波岡 65 号橋	22	286	300
北島 81 号橋	32	285	300

* 鉄筋断面減少 30%の条件

(4) 20mm 以上の段差

道路橋の震災時緊急点検・応急調査の手引き(案)²⁴より、150mm 程度の段差があると、一般車両の安全な通行が困難となり、20mm 以上の段差でタイヤがバーストする危険性が大きくなることから、使用性（走行の安全性）がIVに分類される段差の大きさは 150mm 以上とした。

²⁴ 東北地方整備局道路部・国土技術政策総合研究所道路構造物管理研究室：道路橋の震災時緊急点検・応急調査の手引き(案) Ver1.0, pp. 54, 平成 24 年 2 月

9.3 PC床版橋（グループ6）の床版のIV

上部構造（床版）の健全性は、表 9.3 を参考に重要変状がIVまたはIIIのどちらに該当するか判断する。

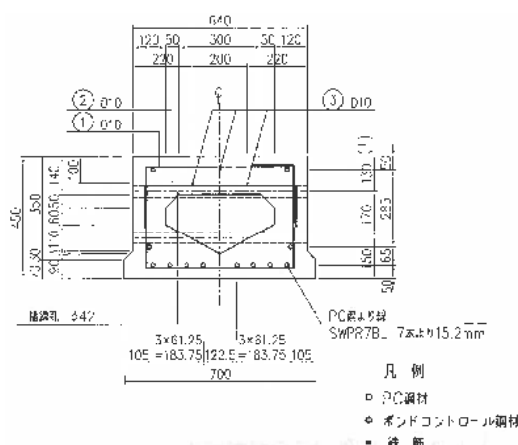
表 9.3 PC床版橋 床版の重要変状ごとのIVの目安

重要変状	IVに分類する性能の水準／その目安となる変状の状態
曲げひびわれ	曲げ耐力：コンクリートの引張応力が引張強度に達する／ 曲げひびわれの発生
横締め鋼材の破断・突出	荷重分配機能：横締めによる荷重伝達機能が喪失する／ 横締め鋼材の破断・突出
20mm以上の段差	使用性（走行の安全性）：一般車両の安全な通行が困難となる／ 150mm以上の段差がある場合

【解説】

(1) 曲げひびわれ

RC中実床版橋では、コンクリート標準示方書【設計編】（参考技術基準）の式(2.3.3)に基づき、降伏点の死荷重相当分の応力度から、曲げひびわれ幅を設定している。しかし、同式からひびわれ幅を算定する場合、軸方向の鋼材としてPC鋼材のみを用いている、または軸方向の鋼材に丸鋼を用いているものは適用外となっている。これは、全く軸方向鉄筋を含まないプレストレストコンクリートや、丸鋼についてのひびわれ幅に関する研究は、ほとんど行われていないためである²⁵⁾。高岡市のPC床版橋が整備された当時の桁は、現在のJIS桁（解図 9.2）と異なり、軸方向鉄筋が含まれていない（解表 8.4）ため、曲げひびわれ幅を算定できない。このため、ひびわれ幅から耐荷性の劣化程度を推定することは困難である。また、耐荷性が要求性能を下回っている（死荷重状態で曲げひびわれが生じている）状態で車両が通行した場合、桁の破壊に至る恐れがあることから、曲げひびわれが確認された時点で、曲げ耐力はIVに分類されるものとした。



解図 9.2 桁断面図 JIS A 5373-2016²⁶⁾

²⁵⁾ 土木学会：2022年制定 コンクリート標準示方書【設計編】，令和5年3月

²⁶⁾ (社)プレストレスト・コンクリート建設業協会：道路橋用プレストレストコンクリート橋桁設計・製造便覧 JIS A 5373-2016，令和2年8月

(2) 横締め鋼材の破断・突出

PC床版橋において、荷重分配を考慮した曲げモーメントは、次式¹⁸⁾で算定される。

$$M = K_{\theta} \times M_m$$

ここに、
 K_{θ} : 曲げ剛性係数 θ およびねじり剛性係数 α の関数として求めた荷重分配係数
 M_m : 橋全体の曲げモーメントを主桁本数で除した平均の曲げモーメント

横締め鋼材の破断・突出が発生した場合を想定し、解表 8.4 の条件で行った復元計算結果を基に、荷重分配が全くない(1本の桁で、すべての載荷荷重を分担する)ケースを計算した。その結果、発生する曲げモーメントは、曲げひびわれ発生時の曲げモーメントよりも大きいことが確認された(解表 9.8)。このため、横締め鋼材の破断・突出が確認された時点で、荷重分配機能はIVに分類されるものとした。

解表 9.8 対象橋梁の各曲げモーメント

対象橋梁		下島橋	戸出町五丁目 707 号橋
曲げモーメント (計算値)	曲げひびわれ発生時	3032kgf・m	6693kgf・m
	載荷試験時	937kgf・m	1873kgf・m
	荷重分配なし*	10923kgf・m	12697kgf・m

*作用する荷重は載荷試験時と同様の荷重を考慮

(3) 20mm以上の段差

使用性がIVに分類される変状は、RC中実床版橋とPC床版橋で同等と判断し、中実床版橋を参考に追加して表 9.3とした。

10 点検結果の記録

10.1 点検結果の記録方法

(1) 点検結果記録様式

点検結果を記録する様式は、以下の3つとする。

- ・道路橋定期点検要領（技術的助言の解説・運用標準）（参考技術基準）の様式1、様式2、様式3：付録 様式集の各様式の記録の手引き参照
- ・画像撮影位置図（画像撮影位置・重要変状の位置等の記録）：記録様式1

○ 様式1 橋梁の諸元と定期点検結果総括（国提出用）

表 10.1 様式1

橋梁名・所在地・管理区分等					
橋梁名	路線名	所在地	区分	種別	新設別
(フリガナ)					
管理区分	橋下条件	代替橋の有無	自費工率(%)	河川状況(河川)	占有物種別(名称)
定期点検の健全性の評価 表示に基づく健全性の評価の区分	定期点検 実施年度	橋長	幅員	橋梁形式	
※定期点検年度が不明の場合は「不明」と記入すること。					
諸元的な検査結果		定期点検実施年月日		定期点検者	
項目(各橋として)	検査年度	検査年度	検査年度	検査年度	検査年度
上部構造	検査年度	検査年度	検査年度	検査年度	検査年度
下部構造	検査年度	検査年度	検査年度	検査年度	検査年度
上下部接続部	検査年度	検査年度	検査年度	検査年度	検査年度
その他(カテゴリー)	検査年度	検査年度	検査年度	検査年度	検査年度
その他(特記事項)	検査年度	検査年度	検査年度	検査年度	検査年度
<small>写真写真(状況照、特記事項)を添付すること。</small>					

○ 様式2 状況写真（国提出用）

表 10.2 様式2

状況写真(様式1に対応する状態の撮影)			
○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。			
橋梁名	路線名	定期点検実施年月日	定期点検者
撮影する状況	構成要素の状態	撮影する状況	構成要素の状態
写真番号 備考	経緯 撮影番号	写真番号 備考	経緯 撮影番号
撮影する状況	構成要素の状態	撮影する状況	構成要素の状態
写真番号 備考	経緯 撮影番号	写真番号 備考	経緯 撮影番号

○ 様式3 特定事象の有無、健全性診断に関する所見（国提出用）

表 10.3 様式3

特定事象の有無、健全性の診断に関する所見							様式3
検査部位	施設ID		生産点検査実施年月日			定期点検者	
	疲労	歪曲	アルカリ 骨付反応	防食被膜 の低下	洗滌	その他	健全性の診断の区分の前提
上部構造							特記事項 (第三者被害の可能性に対する 応急措置の実施の有無等)
下部構造							
上下部接続部							
その他(7a-1a-e-f)							
その他(伸縮装置)							
所見	(適宜、所見を記入)						

○ 記録様式1 画像撮影位置図

表 10.4 記録様式1 (1)

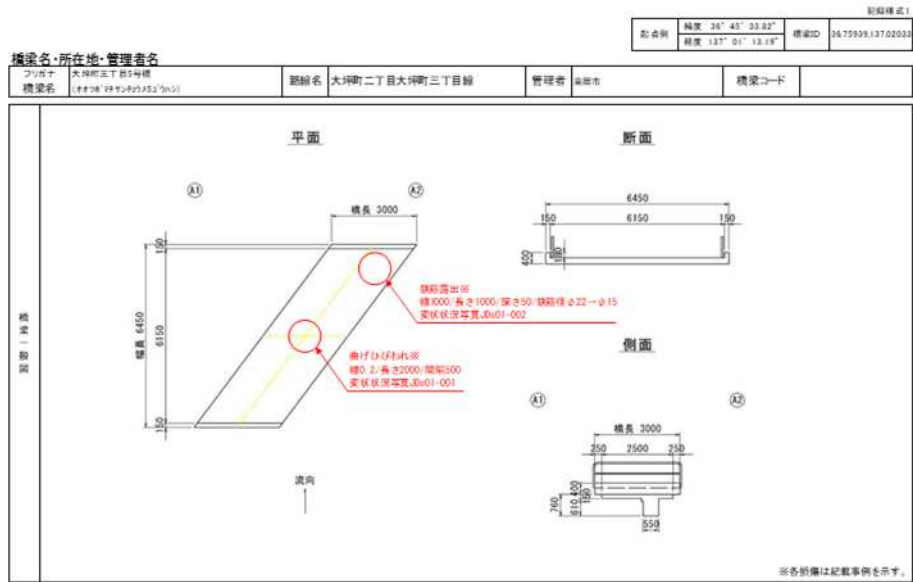
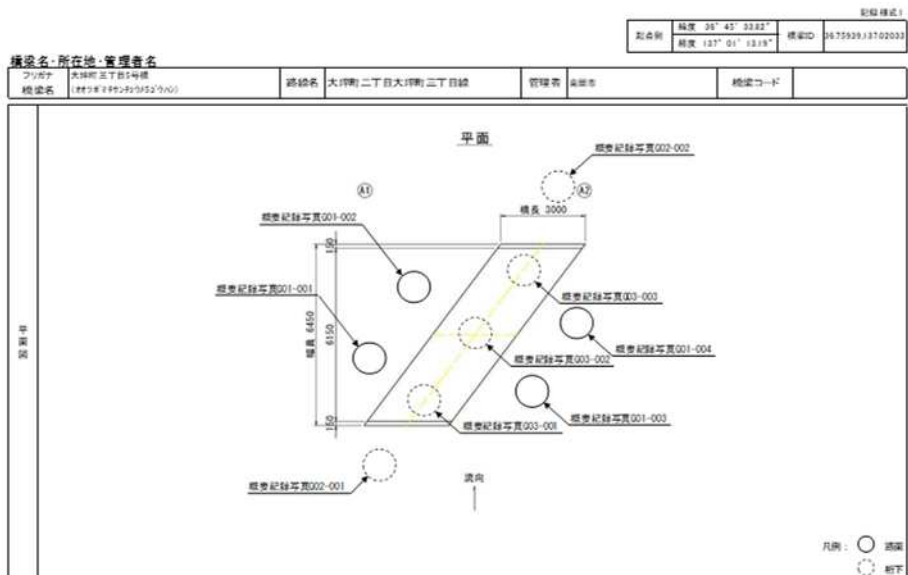


表 10.5 記録様式1 (2)



(2) 点検概要記録

点検結果の概要記録は、360°カメラにより撮影した画像により記録するものとし、表 10.6 に示す記録項目および、重要変状がある場合にはマーキングやポール等で指し示すことにより、その位置を示すものとする。

表 10.6 点検概要の記録項目

撮影位置	記録項目
① 路面	幅員構成、橋長、重要変状位置
② 側面	交差物状況、桁下高、上下部工形状概要、占用物件、重要変状位置
③ 桁下	上下部工形状概要、重要変状位置

なお、撮影位置は路面、側面、桁下の3箇所以上とし、1枚の360°カメラ画像により上記の記録項目の撮影が困難な場合は、複数枚撮影し記録するものとする。また、360°カメラ画像の撮影箇所数・枚数などの撮影条件については、10.2にて後述する。

(3) 重要変状記録

重要変状がある場合には、8.2に示す重要変状の記録項目を変状箇所付近にマーキングし、マーキングとあわせて変状状態を汎用カメラにて撮影する。変状位置は360°画像撮影時にポール等で指し示すことにより記録する。近接目視が困難な狭隘部では、スケールとあわせて変状状態をポールカメラにて撮影するものとし、これらによりがたい場合は、調査職員と協議するものとする。

【解説】

(1) 点検結果記録様式

点検結果の記録は、道路橋定期点検要領（技術的助言の解説・運用標準）の道路橋記録様式の様式1～様式3、画像取得位置等を記録する記録様式1に行うものとする。

従来は、道路橋記録様式に加え、富山県橋梁維持管理システムにより点検調書を作成してきたが、本ガイドラインでは、点検方法等の合理化に加えて、記録に関しても合理化を図ることから、富山県橋梁維持管理システムへの入力を省略するものとする。また、主に画像を中心とした記録とするため、その取得位置を画像の保管と紐づけするための画像撮影位置を記録する記録様式1を規定する。この記録様式1は、従前の一般図を活用し、画像取得位置を記載し、重要変状がある場合にはその位置を示す役割もある。なお、写真番号の命名規則は10.3 に準ずるものとする。

なお、記録様式1に記載される位置において取得した画像については、10.2～10.4において、記録方法および保管方法を規定し、その適合例を13 付録に記載した。次頁から、様式について記載する。

(2) 点検概要記録

点検結果の概要記録は、上下部工の形状概要や、交差物状況、重要変状位置等を360°カメラ画像を撮影することにより記録するものである。また、次回以降の点検実施時に必要となる諸元（交差物状況、桁下高等）も記録する。記録に際し360°カメラ画像から、橋梁区間が分かるようカラーコーンを、橋長、幅員、桁下高が判読可能なようスタッフやテープを設置するのが良い。

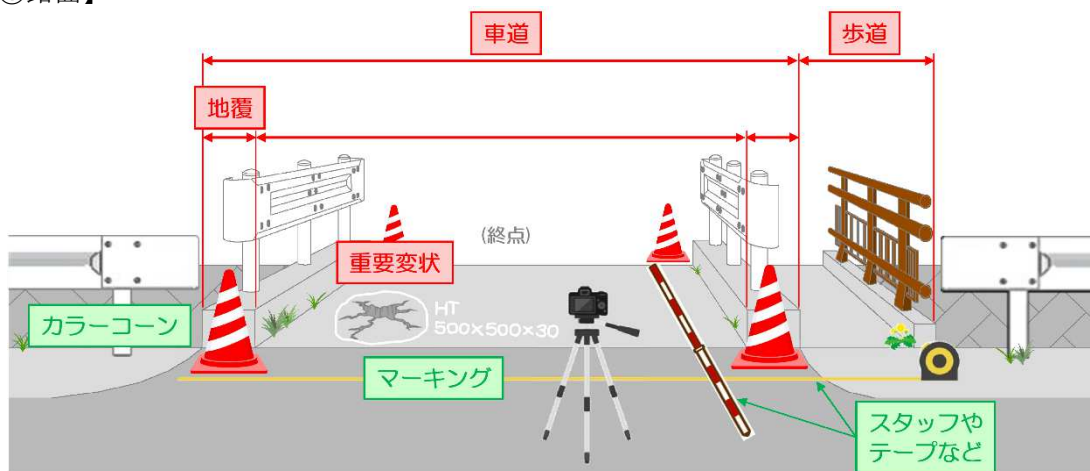
さらに、道路橋定期点検要領の様式2の記載に必要となる変状を、汎用カメラで撮影する。重要変状がある場合はマーキングやポール等で指し示すことにより、重要変状の位置を記録する。ただし、近接目視が困難な狭隘部などで重要変状の位置を指し示すことが困難な場合は、画像撮影位置図（記録様式1）の橋梁一般図に重要変状の位置を示すものとする。

なお、撮影した360°カメラ画像が撮影位置（路面、側面、桁下）ごとに複数枚となる場合は、360°カメラ画像からもその撮影位置が判読可能となるよう、撮影位置（例：路面-起点側、桁下-上流側 等）をマーキングすることが望ましい。

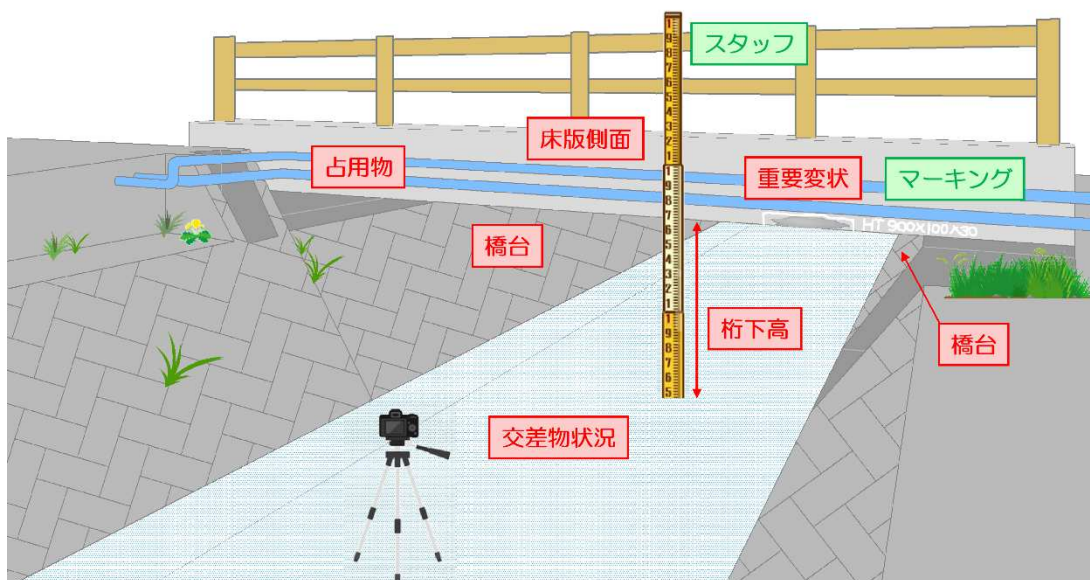
よって撮影時は事前に、重要変状の位置を示したり、360°カメラ画像の撮影位置を示したりするためのマーキングを行うことが望ましく、狭隘部などでこれによりがたい場合は、調査職員と協議するものとする。

図10.1に記録項目の概要を、13.3にその適合例を示す。

【①路面】



【②側面】



【③桁下】

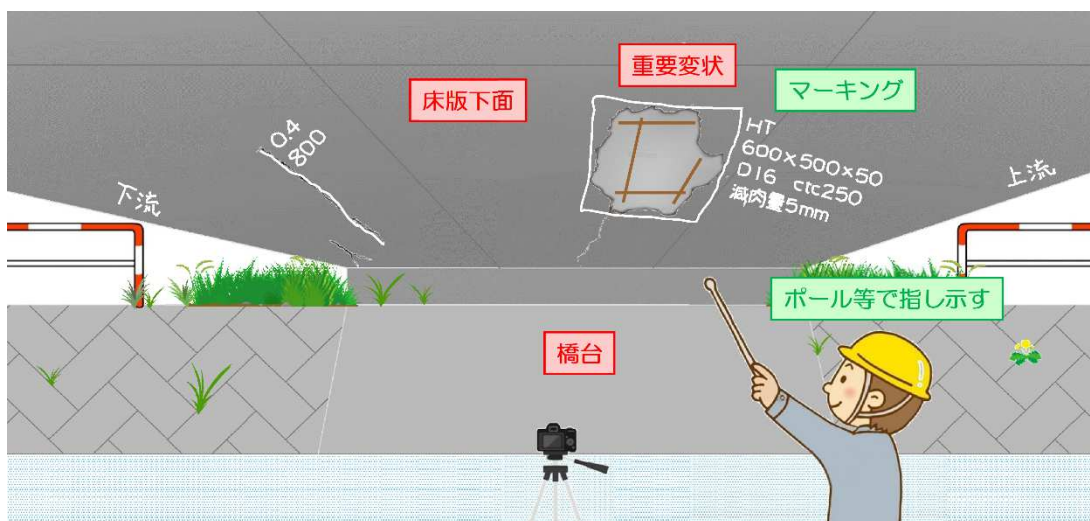


図 10.1 点検結果記録概要の記録項目

(3) 重要変状記録

マーキングを行う際は、8.2 でグループごとの重要変状の現地記録方法に示す通り重要変状の種類と、当該変状の幅、長さ、深さ等を記載する。マーキングした内容と変状位置は、前回点検の橋梁一般図（富山県橋梁維持管理システム）に旗揚げで示すものとする。桁下高が極端に低いなど、近接目視が困難な狭隘部でマーキングやポール等の設置ができない場合は、スケールを変状箇所にあてたうえでポールカメラ（汎用カメラ）にて撮影し、撮影した写真に上記の内容を追記することが望ましい。13.3 にその適用例を示す。狭隘部での重要変状について、ポールカメラで撮影した写真では定量的な判定が困難である場合は、記録項目や判定区分を調査職員と協議するものとする。



図 10.2 重要変状の記録例



図 10.3 狭隘部での重要変状の記録例

10.2 現地撮影方法

(1) パノラマ 360° カメラの撮影方法

360° カメラは、表 10.1 で示す道路橋定期点検要領（参考技術基準）の様式 1 で使用する。様式 1 に添付する写真は、桁下、側面等、代表的なものを選出する。

(2) 汎用カメラの撮影方法

汎用カメラは、表 10.2 で示す道路橋定期点検要領（参考技術基準）の様式 2 で使用する。重要変状がある場合に近接可能な箇所は、8.2 に示す重要変状の記録項目を踏まえ、現地でマーキングを実施し、状況を記録すること。また重要変状がない場合でも道路橋定期点検要領（参考技術基準）様式 2 に記載する根拠となる状況を汎用カメラにて記録すること。

【解説】

(1) パノラマ 360° カメラの撮影方法

写真はカラーとし、鮮明に撮影する。照度がない箇所は別途照明(LED等)を設置する。

360° カメラの撮影枚数について、対象橋梁の「橋長」「幅員」等の規模や、架橋条件によって、記録する撮影枚数は変動する。

点検概要記録に使用する写真は、ひびわれ幅や、鉄筋の腐食量、剥離・鉄筋露出範囲等の損傷の定量的な把握は行わないため、撮影箇所、撮影枚数は表 10.7 を目安とする。

桁下が狭隘な箇所における 360° カメラの撮影で表 10.7 に示す位置での撮影が困難な場合は、撮影位置について調査職員と協議する。

(2) 汎用カメラの撮影方法

デジタルカメラの画素数は鮮明度を損なわないものとする。撮影直後に構図やピントが適正かを確認する。

点検調書には、撮影位置を示すのみであるため、撮影位置の目安となる指標を現地に設置、マーキングするなどの工夫が必要である。

狭隘な空間等、近接目視や計測が困難な箇所にある重要変状を撮影する場合は、変状程度や範囲を確認できるよう、クラックスケール、スケール、スタッフ等を重要変状周辺に据えて撮影するとともに、定量的に損傷程度が判別できる程度の鮮明度を確保するのが良い。

これにより難しい場合は、記録方法について、調査職員と協議する。

2 巡目点検、3 巡目点検時は、前回点検で確認された重要変状の経年状況が判別できるよう、撮影位置および撮影方向は合わせるのが良い。

表 10.7 現場条件による点検概要記録の撮影枚数の目安

		橋長		
		5m未満	5m以上～15m未満	
道路車線数	1車線	①路面		
		②側面		
		③桁下		
	2車線	①路面		
		②側面		
		③桁下		

10.3 データ作成・格納方法

(1) フォルダ・ファイル構成

データの成果品は、**図 10.4**に示すファイル構成を踏まえて格納するものとする。
点検データに各橋梁の点検データを格納し、フォルダ名は橋梁コード+橋梁名とする。

(2) フォルダ内に格納するデータの内容

フォルダ内に格納するデータは、「REPORT」に報告書データを、「点検データ」に点検対象橋梁の点検調書、点検写真を格納し、維持管理の基礎資料となるデータを基本情報として格納する。

【解説】

(1) パノラマ 360° カメラの撮影方法

2回目以降の点検データは点検年度フォルダを作成して格納する。

現場で撮影・記録された状態から一切の加工がなされていない画像データ（オリジナルデータ）は、点検結果に対する根拠となることから、すべての画像データを成果品として提出する。

(2) フォルダ内に格納するデータの内容

「REPORT」 橋梁点検業務報告書を格納する。

報告書 pdf ファイルを「PDF」フォルダに、オリジナルデータを「ORG」フォルダに格納する。

「点検データ」 点検対象となる橋梁のフォルダを作成する。

各橋梁のフォルダには、「点検実施年」のフォルダと、「基本情報」を格納するフォルダを作成する。

その後、2巡目、3巡目点検を実施した場合は、実施した点検年のフォルダを追加する。

「点検実施年」のフォルダ内に、「01点検調書」「02点検写真」のフォルダを作成し、点検データを格納する。

「基本情報」フォルダは、維持管理上必要となる「橋梁台帳」、「補修履歴」、「設計図書」、「その他」フォルダを作成し、関連データを格納する。

「01点検調書」 道路橋定期点検要領の国様式 1、2、3 および画像撮影位置図（記録様式 1）の xlsx ファイルおよび pdf ファイルを格納する。

「02点検写真」 写真位置図で示した点検概要記録、重要変状記録の写真データを JPEG ファイルで保存する。

写真は点検概要記録、重要変状記録の順に格納する。重要変状がない橋梁は点検概要記録のみとなる。

360° カメラで取得した JPEG 画像の閲覧の際は、フリービューアアプリ「**RICOH THETA**」の基本アプリについて、発注者側で取得が必要である。

※撮影機材である「**RICOH THETA**」、「**Go Pro**」は静止画で記録すると JPEG ファイルとしてカメラに保存可能である。

※JPEG 形式のデータには、画像一枚ごとに撮影日時や撮影条件（カメラ機種、画像解像度、焦点距離、F 値、シャッタースピード、ISO 値等）が EXIF タグ（Exchangeable image file format）として埋め込まれている。EXIF タグの内容は、Windows のファイルプロパティで確認することができる。

ファイル命名は以下に示すとおりとし、写真ファイル命名規則を表 10.8 に示す。

「橋梁コード名_上部構造形式グループ番号_記録内容記号名+記録箇所部材名+部材番号+写真番号」

また末尾の写真番号は、撮影位置が分かりやすいよう、路線の起点側および河川上流側から順番に番号を振ることが望ましい。

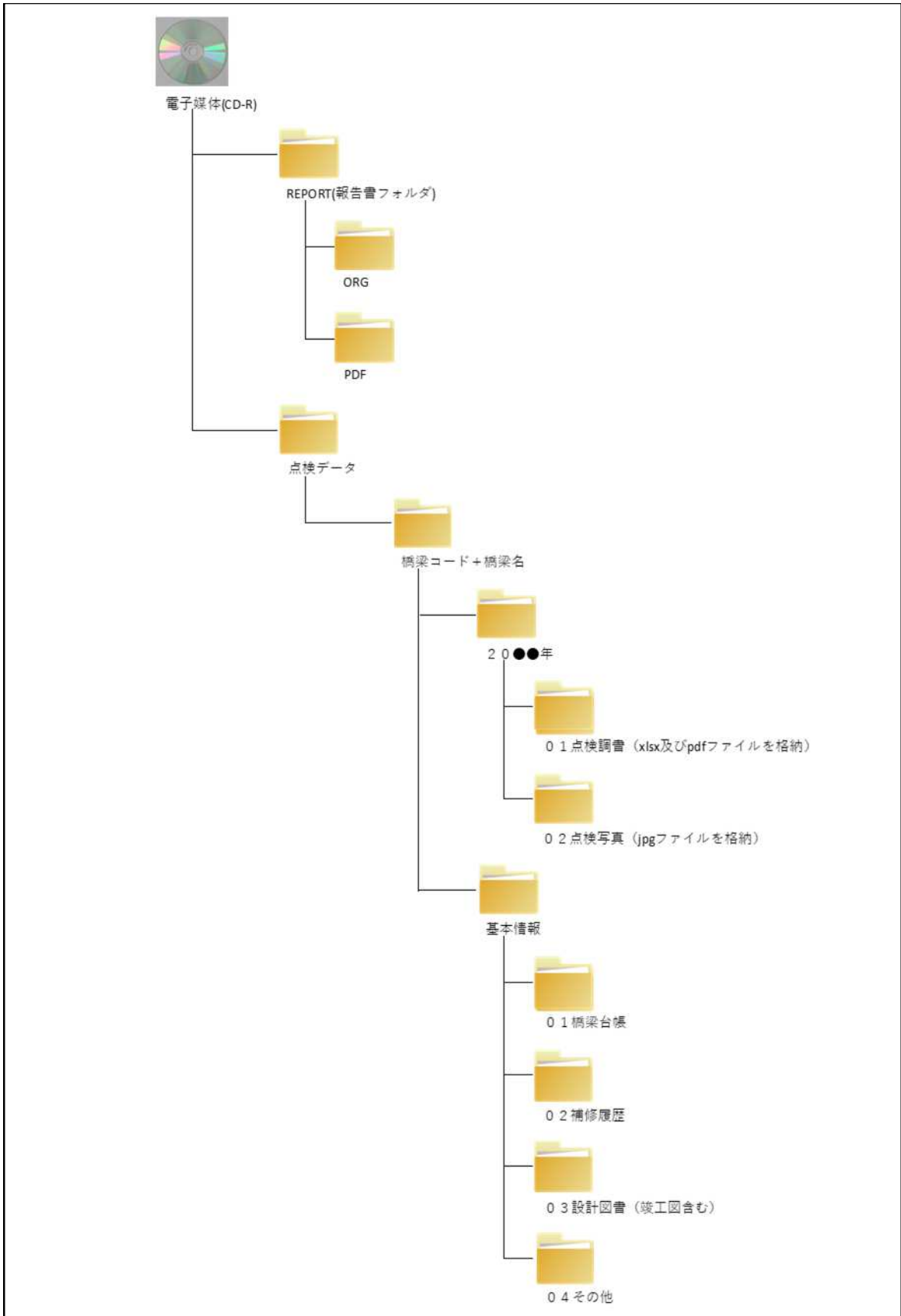


図 10.4 成果品のフォルダ構成

表 10.8 写真ファイル命名規則

項目		番号・記号名	
橋梁コード名		対象橋梁のコード名	
上部工構造形式 グループ番号	RC中実床版橋	01	
	カルバート	02	
	PC床版橋	06	
記録内容記号名	点検概要記録	G	
	重要変状記録	J	
	その他変状記録	N	
記録箇所部材名	点検概要記録	路面	01
		側面	02
		桁下	03
	重要変状記録 RC中実床版橋	床版	Ds
		橋台	Ac
		その他	Ax
		重要変状記録 カルバート	頂版、側壁
	重要変状記録 カルバート	翼壁	Ww
		継手	Eg
		その他	Sx
	重要変状記録 PC床版橋	床版	Ds
		主桁	Mg
		橋台	Ac
		その他	Ax
	部材番号		部材名毎の番号
写真番号名		001～	

表 10.9 点検写真のファイル名例

記録内容	撮影方法	ファイル名
点検概要記録 RC中実床版橋 路面1枚目	360° カメラ	110001010_01_G01_001
〃 路面2枚目	360° カメラ	110001010_01_G01_002
点検概要記録 カルバート 側面	360° カメラ	110001010_02_G02_001
点検概要記録 RC中実床版橋 桁下	360° カメラ	110001010_01_G03_001
点検概要記録 PC床版橋 桁下	360° カメラ	110001010_06_G03_001
重要変状記録 床版1枚目	汎用カメラ	110001010_01_JDs01_001
〃 床版2枚目	汎用カメラ	110001010_01_JDs01_002
重要変状記録 橋台	汎用カメラ	110001010_01_JAc02_001
重要変状記録 RC中実床版橋 その他	汎用カメラ	110001010_01_JAx01_001
重要変状記録 頂版	汎用カメラ	110001010_02_JCr0101_001
重要変状記録 翼壁1枚目	汎用カメラ	110001010_02_JWw0202_001
〃 翼壁2枚目	汎用カメラ	110001010_02_JWw0202_002
重要変状記録 継手	汎用カメラ	110001010_02_JEg0101_001
重要変状記録 カルバート その他	汎用カメラ	110001010_02_JSx0102_001
重要変状記録 主桁1枚目	汎用カメラ	110001010_06_JMg0101_001
〃 主桁2枚目	汎用カメラ	110001010_06_JMg0101_002
重要変状記録 PC床版橋 その他	汎用カメラ	110001010_06_JAx01_001

10.4 点検結果の保管方法

点検結果は電子データとして記録媒体に保存し、市が管理することを基本とする。また、クロスロードとの連携など、国機関システムとの連携が想定されるため、クラウドサービスの利用などは、適宜検討する。保管する電子データは、点検結果の他、補修履歴や設計図書（竣工図等も含む）なども橋梁単位で保管する。

【解説】

クラウドサービスの利用などは、今後の課題として、適宜検討する必要がある。また、多種多様なツールとの連携を可能とするため、保存する電子データは、構造化したデータとすることが望ましい。

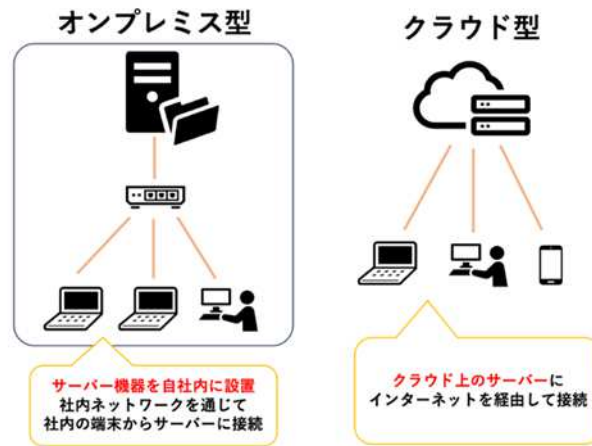


表 10.10 記録保管方法（比較表）

	オンプレミス型	クラウド型
サーバー	<ul style="list-style-type: none"> サーバーを自社の社内に設置 サーバー機器、社内ネットワークを自前で準備・構築する必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> サーバーはクラウドサービスを介して、クラウド上に設置 サーバー機器を設置する必要がない
接続	<ul style="list-style-type: none"> 社内ネットワーク 社内ネットワーク内の端末から接続 ネットワーク外部から接続できない 	<ul style="list-style-type: none"> インターネット インターネットにつながる環境があればどこからでも接続できる
メンテナンス	<ul style="list-style-type: none"> サーバー機器の保守管理業務、ハード障害対応などが継続的に発生する 	<ul style="list-style-type: none"> ハード機器が存在しないためメンテナンスの手間がない
コスト	<ul style="list-style-type: none"> 設置にかかる初期費用が高額 保守管理にかかるメンテナンスコストがかかる 	<ul style="list-style-type: none"> 初期費用・保守費用がかからないかわりに月ごとのクラウドサービス利用料がかかる

11 本ガイドラインの更新

本ガイドラインの橋梁点検への適用による効果の早期発現および本ガイドラインの課題の早期発見を目的として、検討が終了したグループから暫定版として発行する。そして、課題への対策を迅速にとり改訂する。

現在までの更新履歴を表 11.1 に示す。

表 11.1 ガイドラインの更新履歴

年月	更新内容
2024年4月	R C中実床版橋およびカルバートを対象とする初版を発行
2026年6月	P C床版橋を対象に追加する第2版を発行

12 参考技術基準

- 1) 国土交通省 道路局：道路橋定期点検要領（技術的助言の解説・運用標準），令和6年3月
- 2) 土木学会：2022年制定 コンクリート標準示方書【設計編】，2023年3月
- 3) 土木学会：2022年制定 コンクリート標準示方書【維持管理編】，2023年3月
- 4) 富山県土木部：富山県橋梁点検マニュアル，令和6年10月

13 付録

13.1 橋梁のグループ一覧表

13.1.1 グループ別橋数

上部構造形式による各グループの橋数を表 13.1 に示し、その構造概要写真を表 13.2 に示す。

表 13.1 グループ別橋数

番号	上部構造形式	備考	橋数
1	R C 中実床版橋	単純橋	647
2	カルバート	ボックス構造で周長方向に継手がない	286
3	R C 中空床版橋		3
4	R C 桁橋		42
5	その他 R C 橋	1~4 以外の R C 橋	20
6	P C 床版橋	プレテンション P C 桁を使用した床版橋	123
7	P C 桁橋	箱桁含む	24
8	その他 P C 橋	6,7 以外の P C 橋	7
9	鋼桁橋	箱桁含む	36
10	その他鋼橋	9 以外の鋼橋	8





表 13.2 各グループの構造概要（写真）

グループ	構造概要
1. RC中実床版橋	
2. カルバート	
3. RC中空床版橋	

グループ	構造概要
4. RC桁橋	
5. その他RC	 

グループ	構造概要
5. その他RC	
6. PC床版橋	

グループ	構造概要
7. PC桁橋	
8. その他PC橋	

グループ	構造概要
9. 鋼桁橋	
10. その他鋼橋	  

13.1.2 橋梁グループ一覧表

No.	橋梁コード	新橋梁名	グループ番号	所在地	橋長	幅員	架設年次	最新点検年度	健全性
1	110001020	木津橋	4	木津	25.4	12.5	1994	2024	I
2	110001010	羽広1号橋	1	羽広	5.1	15.8	1958	2024	I
3	130003010	白金町3号橋	1	白金町	2.9	5.3	1977	2024	I
4	130004010	白金町4号橋	1	白金町	4.5	2.6	1965	2024	I
5	120013010	大坪町三丁目5号橋	1	大坪町三丁目	3.0	6.5	1954	2021	III
6	130094010	地子木橋	9	地子木町	30.0	6.7	1986	2021	III
7	120120010	末広町8号橋	1	末広町	3.8	17.7	1958	2020	II
8	130128010	住吉橋	8	博労本町	28.6	7.7	1987	2021	II
9	130158010	神保橋	9	内免二丁目	29.1	5.2	1982	2021	II
10	130168020	大坪町二丁目10号橋	1	大坪町二丁目	3.3	2.4	1945	2020	I
11	130178010	大坪町三丁目11号橋	2	大坪町三丁目	2.3	5.4	1938	2020	I
12	130178020	五福町12号橋	1	五福町	2.2	7.7	1955	2020	I
13	130177020	大坪町三丁目14号橋	1	大坪町三丁目	3.6	5.4	1931	2024	I
14	130178010	大坪町三丁目16号橋	1	大坪町三丁目	3.4	3.6	1936	2021	I
15	130245010	羽広17号橋	1	羽広	4.3	3.6	1917	2024	I
16	130245020	羽広一丁目18号橋	1	羽広一丁目	3.0	5.1	1921	2021	III
17	130246010	和田19号橋	1	和田	5.8	2.6	1959	2024	I
18	130246020	羽広一丁目20号橋	1	羽広一丁目	3.0	4.1	1959	2021	I
19	130247010	羽広一丁目21号橋	1	羽広一丁目	2.9	4.1	1945	2021	I
20	130248010	羽広一丁目22号橋	1	羽広一丁目	3.0	5.7	1929	2021	I
21	130249010	和田23号橋	4	和田	5.5	3.6	1933	2019	III
22	130250010	和田24号橋	4	和田	6.0	2.8	1958	2019	III
23	130257010	新幸橋	9	川原本町	28.0	6.2	1980	2022	II
24	130260010	内免五丁目25号橋	1	内免五丁目	3.8	8.4	1955	2024	II
25	130260020	本郷橋	1	本郷一丁目	4.0	5.8	1987	2024	I
26	130298010	清水町一丁目27号橋	1	清水町一丁目	2.4	5.7	1948	2021	II
27	130342010	星友橋(学校橋)	9	鐘紡町	22.5	3.2	1970	2023	III
28	130353010	東上関28号橋	2	東上関	2.3	8.1	1981	2021	I
29	130353020	京田29号橋	2	京田	2.6	14.1	1982	2021	I
30	130353030	京田30号橋	2	京田	3.0	16.7	1981	2021	I
31	130353040	赤祖父31号橋	1	赤祖父	2.6	19.5	1968	2021	II
32	130355010	野村32号橋	2	野村	2.9	12.0	1963	2021	I
33	130360040	大野1126号橋	1	大野	2.3	11.2	不明	2020	II
34	130360010	大野33号橋	1	大野	5.5	11.2	不明	2021	II
35	130360020	井口本江34号橋	1	井口本江	3.9	8.6	1991	2024	I
36	130360030	井口本江35号橋	4	井口本江	4.8	8.6	1991	2019	III
37			4						
38	130369010	向野本町36号橋	1	向野本町	4.9	5.0	1966	2019	II
39	130369020	向野本町37号橋	1	向野本町	4.2	8.6	1966	2021	II
40	110370010	古定塚38号橋	2	古定塚	2.0	33.8	1953	2024	I
41	110370020	角39号橋	1	角	2.8	8.0	1953	2021	I
42	110370030	角40号橋	1	角	5.7	7.1	1964	2024	I
43	130386010	城光寺41号橋	2	城光寺	3.1	6.3	1967	2021	I
44	130397010	二上町42号橋	1	二上町	5.9	12.8	1965	2024	I
45	130415010	守護町一丁目45号橋	1	守護町一丁目	4.4	2.4	1966	2024	I
46	110427010	二上町46号橋	2	二上町	4.0	8.1	1965	2020	I
47	130428010	二上町47号橋	2	二上町	3.9	6.8	1965	2020	I
48	130430010	明園町48号橋	1	明園町	2.0	6.6	不明	2021	I
49	130434010	四屋49号橋	1	四屋	5.0	5.4	1965	2024	I
50	110450010	長慶寺50号橋	1	長慶寺	2.7	4.0	1958	2024	I
51	130465010	長慶寺51号橋	1	長慶寺	2.8	5.8	1966	2021	II
52	130470010	長慶寺52号橋	1	長慶寺	3.8	3.7	1969	2024	III
53	130474010	長慶寺53号橋	1	長慶寺	2.3	6.7	1963	2021	II
54	110475010	長慶寺54号橋	6	長慶寺	6.5	9.0	1984	2019	II
55	130480010	波岡55号橋	2	波岡	2.3	5.3	1965	2021	II
56	130480020	美幸町一丁目56号橋	1	美幸町一丁目	4.0	8.5	1965	2024	I
57	130481010	本郷二丁目1166号橋	1	本郷二丁目	2.3	4.0	1957	2021	II
58	130497010	波岡59号橋	1	波岡	2.7	4.6	1975	2021	II
59	130497020	波岡60号橋	1	波岡	3.4	4.6	1975	2020	II
60	110500010	長慶寺61号橋	1	長慶寺	5.5	8.1	1982	2024	I
61	110500020	長慶寺62号橋	1	長慶寺	2.4	7.2	1958	2021	II
62	130504010	長江63号橋	1	長江	2.7	3.7	1957	2021	I
63	120505010	長江64号橋	1	長江	2.2	9.5	1962	2021	II
64	130513010	波岡65号橋	1	波岡	4.9	7.6	1967	2024	I
65	130514010	波岡66号橋	1	波岡	4.4	4.4	1967	2024	I
66	120515020	波岡68号橋	2	波岡	3.3	11.0	1956	2024	I
67	120515010	瑞穂町67号橋	2	瑞穂町	2.4	5.5	不明	2020	I
68	120516010	早川69号橋	2	早川	2.0	6.5	1970	2021	I
69	130517010	宮田町70号橋	1	宮田町	2.0	7.0	1964	2021	III
70	130517020	早川71号橋	2	早川	3.5	9.5	1935	2020	II

No.	橋梁コード	新橋梁名	グループ番号	所在地	橋長	幅員	架設年次	最新点検年度	健全性
71	130517030	早川72号橋	1	早川	2.2	6.7	1935	2021	II
72			2						
73	130522010	早川73号橋	1	早川	4.1	4.0	1964	2024	I
74	130522020	早川74号橋	6	早川	10.4	4.8	1981	2020	II
75	130524010	早川75号橋	1	早川	4.2	9.9	1958	2021	II
76	130524020	早川76号橋	1	早川	5.7	8.7	1958	2024	I
77	130524030	北島77号橋	6	北島	12.7	8.8	1958	2021	III
78	130528010	北島78号橋	1	北島	3.3	3.5	1931	2021	I
79	130538010	早川80号橋	1	早川	5.8	4.0	1968	2024	I
80	130539010	北島81号橋	1	北島	7.2	8.0	不明	2024	II
81	130540020	北島橋	9	北島	34.9	6.9	1975	2020	II
82	110546010	内免橋	10	内免	27.9	9.0	1989	2020	III
83	110546020	内免五丁目82号橋	1	内免五丁目	2.5	9.3	不明	2021	II
84	130555010	和田83号橋	1	和田	2.5	2.6	1981	2021	I
85	130573010	野村84号橋	1	野村	2.5	4.4	1958	2021	I
86	130573020	野村85号橋	1	野村	2.2	4.7	1958	2021	II
87	130574010	中川園町86号橋	1	中川園町	2.7	7.2	不明	2021	I
88	110576010	大野陸橋	7	明園町	202.6	14.0	1980	2022	III
89	130578010	野村87号橋	1	野村	2.2	6.5	1964	2021	II
90	130578020	野村88号橋	1	野村	2.8	7.9	1964	2021	II
91	130594010	永楽町89号橋	6	永楽町	6.9	5.4	1967	2019	II
92	130599010	本郷二丁目90号橋	1	本郷二丁目	2.6	3.7	1958	2021	II
93	130662010	向野本町91号橋	1	向野本町	2.1	2.9	1958	2021	I
94	130695010	上四屋92号橋	1	上四屋	4.2	6.2	不明	2024	I
95	130717010	四屋93号橋	1	四屋	3.6	4.0	1967	2020	II
96	130724010	四屋94号橋	1	四屋	4.6	5.9	1975	2024	I
97	130724020	四屋95号橋	1	四屋	4.6	5.9	1930	2024	I
98	130738010	長慶寺96号橋	1	長慶寺	4.5	6.0	1972	2024	I
99	130739010	長慶寺97号橋	1	長慶寺	5.5	5.9	1979	2024	I
100	130741010	長慶寺98号橋	1	長慶寺	5.2	6.9	不明	2024	I
101	130742010	長慶寺99号橋	1	長慶寺	4.7	11.6	1987	2024	I
102	130744010	長慶寺100号橋	1	長慶寺	4.7	9.9	1969	2024	I
103	130746010	長慶寺101号橋	6	長慶寺	6.1	10.9	1976	2019	II
104	130748010	長慶寺102号橋	1	長慶寺	4.1	5.6	1955	2021	I
105	130761010	長江103号橋	1	長江	2.4	4.5	1963	2021	II
106	130764010	長江104号橋	2	長江	2.2	7.9	1965	2021	II
107	120769010	波岡105号橋	1	波岡	3.8	6.0	1972	2021	II
108	130775010	本郷二丁目106号橋	1	本郷二丁目	2.4	5.5	1963	2021	II
109	130782010	波岡107号橋	1	波岡	2.3	7.3	1994	2021	I
110	130782020	波岡108号橋	1	波岡	3.3	6.5	1963	2020	II
111	130810010	早川109号橋	2	早川	2.9	5.6	1963	2021	I
112	130840010	羽広二丁目110号橋	1	羽広二丁目	2.9	8.2	1955	2021	I
113	130842010	羽広一丁目1151号橋	2	羽広一丁目	2.7	9.4	不明	2024	I
114	130853010	芳野111号橋	1	芳野	4.3	9.5	1972	2024	II
115	130866010	二上町113号橋	2	二上町	2.3	6.5	1987	2021	I
116	130869010	二上町114号橋	2	二上町	2.8	6.5	1958	2023	II
117	130871010	二上町115号橋	2	二上町	2.5	8.6	1965	2020	I
118	120893010	二上町114号橋	6	二上町	8.1	7.7	1984	2019	II
119	110926010	京田117号橋	2	京田	2.5	23.4	1982	2024	I
120			1						
121	130936010	駅南一丁目118号橋	2	駅南一丁目	5.2	18.4	1958	2024	I
122	130950010	駅南三丁目119号橋	1	駅南三丁目	2.9	12.6	1971	2024	I
123			1						
124	130952010	駅南三丁目120号橋	2	駅南三丁目	2.9	20.6	1971	2024	I
125	130956010	駅南三丁目121号橋	1	駅南三丁目	2.9	11.2	1971	2024	I
126	120957010	寺町122号橋	1	寺町	4.1	20.2	1971	2020	I
127			2						
128	120957020	駅南123号橋	1	駅南	5.4	24.9	1988	2023	II
129			2						
130	130968010	関本町124号橋	1	関本町	4.5	3.4	1972	2024	I
131	130972010	駅南一丁目125号橋	1	駅南一丁目	5.2	16.7	1971	2024	I
132	130993010	永楽町126号橋	6	永楽町	7.0	5.7	1958	2019	I
133	111000010	羽広高架橋	7	羽広	293.0	20.0	2014	2023	II
134	111000013	羽広高架橋(歩道橋)	5	羽広	61.5	2.9	2016	2023	I
135			2						
136	111000040	駅南一丁目127号橋	1	駅南一丁目	5.2	44.3	不明	2024	I
137			2						
138	111000030	関町129号橋	1	関町	3.4	26.0	1958	2020	II
139	111000020	木津130号橋	2	木津	6.6	20.8	1958	2024	I
140	136100010	羽広高架橋左側側道橋(1)	2	羽広	2.4	5.5	不明	2024	I
141	136100020	羽広高架橋左側側道橋(2)	10	木津	10.0	6.8	2017	2019	I

No.	橋梁コード	新橋梁名	グループ番号	所在地	橋長	幅員	架設年次	最新点検年度	健全性
142	137100010	羽広高架橋右側側道橋(1)	1	羽広	5.2	6.6	不明	2024	I
143	137100020	羽広高架橋右側側道橋(2)	10	木津	10.0	6.8	2017	2019	II
144	111012010	四屋131号橋	1	四屋	6.4	11.2	1958	2024	I
145	111012020	長慶寺132号橋	1	長慶寺	3.5	11.2	1951	2020	II
146	111012030	長慶寺133号橋	1	長慶寺	5.3	8.1	不明	2024	I
147	131042010	赤祖父134号橋	2	赤祖父	3.0	6.6	1981	2021	I
148	131044010	赤祖父135号橋	1	赤祖父	2.3	9.8	1981	2023	II
149	131045010	赤祖父136号橋	1	赤祖父	2.4	7.7	1981	2023	II
150	131046010	赤祖父137号橋	1	赤祖父	2.3	9.8	1981	2021	I
151	131048010	赤祖父138号橋	2	赤祖父	3.0	6.6	1982	2021	I
152	131065010	東上関139号橋	2	東上関	2.6	9.6	1979	2021	I
153	131072010	東上関140号橋	2	東上関	2.6	14.5	1979	2021	II
154	131075010	赤祖父141号橋	2	赤祖父	3.0	12.6	1981	2021	I
155	131075020	東上関142号橋	2	東上関	2.6	12.8	1980	2021	I
156	131081010	京田143号橋	1	京田	2.8	8.1	1980	2021	I
157	131082010	赤祖父144号橋	2	赤祖父	3.0	4.6	1982	2023	I
158	131090010	東上関145号橋	2	東上関	2.6	14.1	1979	2021	II
159	131105010	京田146号橋	1	京田	2.6	6.6	1980	2023	I
160	131108010	京田147号橋	1	京田	2.7	4.6	1980	2021	I
161	131109010	京田148号橋	1	京田	2.9	10.3	不明	2021	I
162			2						
163	131123010	赤祖父150号橋	1	赤祖父	2.5	9.0	1975	2023	I
164	131126010	赤祖父151号橋	1	赤祖父	2.2	6.1	1975	2023	II
165	111133030	赤祖父154号橋	1	赤祖父	2.3	26.0	1982	2021	I
166	131179010	古定塚155号橋	1	古定塚	2.8	6.7	不明	2021	II
167	131187010	森の道ベデストリアンデッキ	7	中川	27.0	4.5	1997	2024	I
168	131189010	向野本町156号橋	1	向野本町	4.3	6.8	不明	2024	I
169	131204010	赤祖父157号橋	2	赤祖父	3.0	6.6	不明	2021	I
170	131218010	本郷二丁目57号橋	1	本郷二丁目	2.8	11.5	不明	2023	II
171	131220010	長江158号橋	1	長江	2.0	7.3	不明	2023	I
172	131244010	長慶寺159号橋	1	長慶寺	5.2	4.2	不明	2024	I
173	131245010	長慶寺160号橋	1	長慶寺	5.0	4.5	不明	2024	II
174	131250010	高岡駅前空中歩廊	7	末広町	55.5	7.2	2004	2020	II
175	121282010	京田161号橋	1	京田	2.3	7.6	1958	2023	II
176	131303010	二上町162号橋	1	二上町	2.9	11.9	2009	2023	I
177	131309010	トークタウン北島歩道橋	10	北島	16.2	2.4	2011	2023	I
178	131310010	高岡駅北口歩行者専用道	10	下関町	146.9	15.3	2013	2023	II
179	131310020	万葉ロード	10	下関町	84.0	17.8	2011	2023	I
180	131318010	北島1112号橋	1	北島	2.8	6.3	1991	2024	I
181	131318020	大江橋	6	北島	34.7	5.0	1991	2024	I
182	230001010	太田163号橋	2	太田	3.4	7.8	1960	2020	II
183	230010010	太田165号橋	1	太田	4.3	6.6	不明	2024	I
184	220011010	太田166号橋	1	太田	2.7	8.8	不明	2021	I
185	210014010	太田167号橋	1	太田	3.5	6.1	1968	2024	I
186	210014020	太田168号橋	1	太田	2.3	5.6	1968	2023	I
187	210014030	太田169号橋	1	太田	2.4	5.6	1968	2023	I
188	230016010	太田170号橋	1	太田	2.9	5.5	1965	2021	I
189	230016020	太田171号橋	1	太田	2.3	3.9	1968	2023	II
190	230029010	太田172号橋	1	太田	2.9	4.8	1972	2021	I
191	230032010	太田173号橋	1	太田	3.8	4.0	1967	2024	II
192	230033010	太田174号橋	1	太田	3.8	4.0	1965	2024	II
193	220034010	太田175号橋	1	太田	3.8	5.0	1965	2024	II
194	230039010	太田176号橋	1	太田	3.8	5.0	1967	2024	I
195	230040010	太田177号橋	1	太田	3.8	7.4	1967	2024	II
196	230053010	太田178号橋	1	太田	3.0	3.8	1972	2021	I
197	230054010	太田179号橋	1	太田	3.0	3.8	1971	2020	I
198	230055010	太田180号橋	1	太田	2.9	4.0	1967	2021	II
199	230079010	伏木本町181号橋	1	伏木本町	3.8	2.8	1967	2020	II
200	230080010	伏木本町182号橋	1	伏木本町	3.8	4.5	1967	2020	III
201	230082010	伏木本町183号橋	1	伏木本町	3.6	1.8	1965	2020	II
202	220083010	伏木園分一丁目184号橋	1	伏木園分一丁目	4.8	11.2	1965	2020	III
203	230198010	伏木矢田186号橋	1	伏木矢田	2.5	8.3	1958	2023	II
204	230244010	園分橋	6	伏木園分	7.4	6.6	1965	2021	III
205	230245010	伏木園分二丁目188号橋	5	伏木園分二丁目	7.5	5.7	1958	2019	III
206	230318010	太田190号橋	1	太田	3.2	9.8	不明	2021	II
207	230318020	太田191号橋	1	太田	4.0	6.9	不明	2024	I
208	310001010	上牧野192号橋	1	上牧野	5.2	6.7	不明	2020	III
209	310001020	上牧野193号橋	1	上牧野	2.1	7.6	1982	2021	II
210	320004010	下牧野194号橋	2	下牧野	5.3	6.5	1981	2024	I
211	330007010	下牧野195号橋	2	下牧野	2.1	4.0	1963	2024	I
212	330008010	下牧野196号橋	2	下牧野	3.0	6.1	1964	2024	I

No.	橋梁コード	新橋梁名	グループ番号	所在地	橋長	幅員	架設年次	最新点検年度	健全性
213	330009010	下牧野197号橋	2	下牧野	3.3	4.0	1965	2024	I
214	330011010	下牧野198号橋	2	下牧野	3.7	4.1	1982	2020	I
215	330012010	下牧野199号橋	2	下牧野	3.7	5.2	1982	2020	I
216	330013010	下牧野200号橋	1	下牧野	3.7	4.4	1982	2020	I
217			2						
218	330014010	下牧野201号橋	2	下牧野	3.8	4.0	1982	2020	I
219	330015010	下牧野202号橋	1	下牧野	3.0	7.0	1958	2021	I
220	330021010	下牧野203号橋	1	下牧野	2.4	5.0	1977	2024	I
221	330023010	上牧野204号橋	1	上牧野	4.0	4.6	不明	2024	I
222	330043010	上牧野206号橋	1	上牧野	4.0	8.2	不明	2020	I
223	330063010	中曽根207号橋	1	中曽根	4.0	5.2	1965	2021	I
224	330083010	姫野208号橋	6	姫野	6.2	6.2	1969	2019	I
225	330084010	牧野209号橋	6	牧野	5.9	5.3	1969	2019	I
226	330088010	姫野210号橋	6	姫野	5.8	5.2	不明	2020	I
227	330089010	姫野211号橋	2	姫野	3.1	5.2	1969	2024	I
228	330090010	姫野212号橋	6	姫野	5.9	5.2	1969	2019	I
229	330093010	姫野213号橋	6	姫野	5.9	5.2	1969	2019	I
230	330095010	姫野214号橋	6	姫野	5.9	7.2	1971	2019	I
231	310171010	能町216号橋	1	能町	2.9	8.4	1972	2021	II
232			2						
233	310171020	能町217号橋	6	能町	12.6	7.3	1972	2020	II
234	330213010	江尻218号橋	1	江尻	2.6	5.5	1965	2021	II
235	330220010	江尻219号橋	1	江尻	3.0	7.3	1967	2021	II
236	320230010	江尻220号橋	1	江尻	3.2	5.2	1960	2021	II
237	320230020	鷺北新221号橋	1	鷺北新	3.1	5.7	1963	2020	I
238	330268010	萩布222号橋	1	萩布	3.4	8.9	1972	2020	I
239	330293010	江尻224号橋	5	江尻	2.7	5.3	1958	2019	II
240	330297010	江尻225号橋	1	江尻	2.5	2.7	1958	2021	II
241	320303010	江尻226号橋	2	江尻	2.5	3.7	1988	2021	II
242	330321010	能町227号橋	2	能町	7.5	6.8	1964	2024	I
243	320322020	萩布229号橋	1	萩布	3.6	8.3	1960	2020	I
244	330351010	姫野230号橋	6	姫野	5.9	5.3	不明	2019	I
245	330358010	上牧野231号橋	1	上牧野	4.0	6.2	1963	2024	II
246	330366010	中曽根232号橋	1	中曽根	3.9	5.6	1976	2024	I
247	320375010	中曽根233号橋	8	中曽根	5.0	16.6	1972	2019	II
248	330377010	中曽根234号橋	2	中曽根	2.8	8.9	1972	2020	II
249	330396010	萩布新町235号橋	1	萩布新町	2.9	6.6	1984	2021	I
250	330411010	角236号橋	2	角	2.3	13.5	1985	2024	I
251	330421010	能町南二丁目237号橋	1	能町南二丁目	3.1	6.6	1983	2020	I
252	330422010	能町南二丁目238号橋	1	能町南二丁目	3.1	8.7	1983	2021	I
253	330431010	角三島239号橋	2	角三島	5.2	4.3	1983	2024	I
254	330437010	能町240号橋	1	能町	3.1	8.5	1983	2021	I
255	330446010	能町南二丁目241号橋	1	能町南二丁目	3.0	8.5	1983	2021	I
256	330447010	能町南二丁目242号橋	1	能町南二丁目	3.0	6.4	1983	2020	I
257	330448010	能町南二丁目243号橋	1	能町南二丁目	3.0	13.1	1983	2021	I
258	330459010	上牧野245号橋	1	上牧野	4.6	6.0	1970	2024	I
259	330470010	向野町246号橋	1	向野町	4.5	10.1	不明	2024	I
260	330508010	能町247号橋	1	能町	3.5	7.0	1992	2020	II
261	330513010	中曽根248号橋	2	中曽根	2.1	7.6	不明	2024	I
262	330519010	萩布249号橋	2	萩布	6.6	7.0	不明	2024	I
263	330519020	鷺北新250号橋	2	鷺北新	2.9	7.5	不明	2021	II
264	330541010	下牧野251号橋	1	下牧野	2.6	5.6	不明	2021	II
265	330542010	放生津252号橋	1	放生津	3.4	6.6	不明	2020	I
266	330563010	萩布四つ葉町253号橋	8	萩布四つ葉町	7.4	11.2	不明	2019	I
267	330563020	角254号橋	2	角	8.0	11.2	不明	2024	I
268	330567010	江尻255号橋	2	江尻	2.9	9.0	不明	2021	I
269	330567020	江尻256号橋	1	江尻	2.0	8.3	不明	2021	II
270	330567030	江尻257号橋	1	江尻	2.7	6.1	不明	2021	II
271	330606010	中曽根258号橋	1	中曽根	4.0	3.6	1958	2024	I
272	330607010	中曽根259号橋	1	中曽根	4.0	7.2	1972	2020	I
273	330609010	中曽根260号橋	2	中曽根	2.5	7.3	1965	2021	I
274	430016020	佐野263号橋	1	佐野	5.2	3.0	1958	2024	II
275	430025010	木津264号橋	1	木津	6.2	6.8	1985	2024	I
276	430026010	木津265号橋	1	木津	6.2	5.8	1985	2024	I
277	420027010	木津266号橋	1	木津	6.2	6.8	1984	2024	I
278	430028010	木津267号橋	1	木津	5.8	11.6	1984	2024	I
279	430029010	木津268号橋	1	木津	6.2	7.0	1983	2024	I
280	430030010	木津269号橋	1	木津	6.2	5.6	1983	2024	I
281	430031010	木津270号橋	1	木津	6.2	6.0	1984	2024	I
282	430034010	木津29号線橋	6	木津	9.7	8.5	1998	2019	I
283	430035010	木津272号橋	1	木津	8.7	8.0	1965	2024	I

No.	橋梁コード	新橋梁名	グループ番号	所在地	橋長	幅員	架設年次	最新点検年度	健全性
284	430036010	木津273号橋	1	木津	8.8	7.2	1965	2024	I
285	430044010	木津274号橋	1	木津	2.2	5.8	1965	2021	II
286	420045010	木津275号橋	1	木津	3.6	7.6	1964	2021	I
287	430046010	木津276号橋	1	木津	2.1	7.6	1964	2021	I
288	430049010	佐野277号橋	1	佐野	3.3	4.6	1965	2021	I
289	430049020	木津278号橋	1	木津	2.5	5.0	不明	2021	I
290	430052010	木津279号橋	1	木津	2.5	5.1	1963	2021	II
291	430055010	佐野280号橋	1	佐野	2.6	5.7	1958	2021	II
292	430056010	佐野281号橋	1	佐野	2.3	7.1	1963	2021	II
293	410057010	佐野282号橋	1	佐野	3.1	12.2	1969	2021	II
294	410057020	佐野283号橋	1	佐野	5.8	6.5	1969	2020	II
295	410057030	和田284号橋	1	和田	5.4	7.1	1969	2024	I
296	410057040	佐野285号橋	1	佐野	4.9	6.5	1969	2024	I
297	430068010	和田286号橋	1	和田	3.8	5.4	1955	2020	I
298	430068020	和田287号橋	2	和田	2.3	6.7	1955	2021	I
299	430079010	佐野288号橋	1	佐野	2.3	5.3	1968	2021	I
300	430080020	和田290号橋	1	和田	3.9	12.1	1977	2020	II
301	410081010	佐野291号橋	2	佐野	2.5	12.5	2000	2021	I
302	430082010	佐野292号橋	2	佐野	2.1	8.2	1970	2021	I
303	430087020	和田294号橋	1	和田	5.3	31.4	1981	2020	II
304	430087030	新生橋	1	和田	4.8	8.9	1982	2020	I
305	430090010	佐野296号橋	2	佐野	2.1	4.9	1970	2021	I
306	430091010	佐野297号橋	1	佐野	2.4	5.5	1969	2021	I
307	410092010	西藤平蔵298号橋	1	西藤平蔵	2.7	6.7	1969	2021	II
308	430100010	佐野299号橋	1	佐野	2.6	5.6	1968	2021	I
309	430100020	佐野300号橋	1	佐野	2.5	5.0	1968	2021	I
310	430103010	西藤平蔵301号橋	1	西藤平蔵	3.2	9.0	不明	2021	I
311	430105010	十二町島302号橋	1	十二町島	3.3	4.9	1975	2021	I
312	430107010	西藤平蔵303号橋	1	西藤平蔵	3.5	4.5	1958	2021	I
313	430108010	西藤平蔵304号橋	1	西藤平蔵	3.6	4.5	1975	2021	II
314	430109020	西藤平蔵306号橋	1	西藤平蔵	2.5	6.5	不明	2021	II
315	430109030	荒見崎307号橋	1	荒見崎	3.1	5.8	不明	2021	I
316	430109040	荒見崎308号橋	1	荒見崎	6.1	5.6	不明	2024	I
317	430110010	西藤平蔵309号橋	6	西藤平蔵	9.4	8.8	1971	2019	II
318	430110020	西藤平蔵310号橋	1	西藤平蔵	2.1	10.6	1971	2021	II
319	430111010	西藤平蔵311号橋	1	西藤平蔵	2.6	5.8	1958	2021	I
320	430113010	西藤平蔵313号橋	1	西藤平蔵	3.1	4.6	1958	2021	I
321	410150010	市場橋	6	下黒田	25.6	25.8	2011	2022	I
322	430151010	佐野314号橋	2	佐野	3.0	4.8	1967	2021	I
323	430155010	佐野316号橋	2	佐野	3.8	12.3	不明	2020	I
324	430163030	佐野一号橋	9	佐野	17.6	3.2	1967	2021	III
325	430163010	佐野318号橋	2	佐野	3.8	15.0	1965	2020	I
326	430163020	佐野319号橋	6	佐野	11.5	5.6	1965	2020	II
327	430166020	佐野321号橋	6	佐野	10.7	3.6	1969	2021	II
328	430170010	佐野322号橋	1	佐野	3.6	6.3	1969	2021	I
329	430170020	佐野323号橋	6	佐野	11.5	4.6	1969	2020	II
330	430171010	佐野324号橋	1	佐野	4.5	5.4	1968	2020	I
331	420175020	川原橋	7	下島町	19.5	7.2	1984	2020	I
332	420175010	西藤平蔵325号橋	6	西藤平蔵	11.5	4.6	1967	2020	II
333	430176010	西藤平蔵326号橋	6	西藤平蔵	10.4	6.7	1958	2020	II
334	420178020	大林橋	9	東藤平蔵	18.1	4.4	1969	2023	II
335	420178010	十二町島327号橋	1	十二町島	3.5	7.5	1957	2021	I
336	420184010	下黒田328号橋	2	下黒田	4.9	9.2	1969	2024	I
337	430215020	下黒田1129号橋	1	下黒田	2.2	4.9	不明	2021	I
338	430215010	下黒田330号橋	2	下黒田	4.6	4.8	1987	2020	I
339	430216010	下黒田1113号橋	2	下黒田	4.8	7.2	2013	2020	I
340	430217010	上黒田331号橋	1	上黒田	2.6	6.4	1953	2021	I
341	430217020	上黒田332号橋	2	上黒田	5.3	6.0	不明	2024	I
342	430239010	林新334号橋	2	林新	3.1	7.2	1969	2021	I
343	430240010	林新335号橋	2	林新	3.2	4.9	不明	2021	I
344	430241010	二塚336号橋	2	二塚	3.6	15.5	1956	2024	I
345	430241020	二塚337号橋	1	二塚	5.5	6.5	1954	2020	III
346	430241030	東二塚338号橋	2	東二塚	2.0	15.0	1954	2021	I
347	430241040	二塚339号橋	4	二塚	6.8	11.0	1954	2019	II
348			1						
349	430242010	上黒田340号橋	2	上黒田	4.6	9.5	不明	2020	II
350	430246030	下伏間江1138号橋	2	下伏間江	2.4	4.7	不明	2024	I
351	430246020	下伏間江342号橋	1	下伏間江	3.5	3.0	1960	2021	I
352	430249010	下伏間江343号橋	1	下伏間江	2.4	6.5	1965	2021	I
353	430253010	東二塚345号橋	2	東二塚	2.3	12.0	1958	2021	II
354	430254010	上伏間江346号橋	1	上伏間江	3.2	4.9	1948	2021	I

No.	橋梁コード	新橋梁名	グループ番号	所在地	橋長	幅員	架設年次	最新点検年度	健全性
355	430255010	二塚347号橋	2	二塚	3.5	4.8	1958	2024	I
356	430257010	二塚348号橋	2	二塚	4.1	5.3	不明	2024	I
357	430259010	二塚349号橋	2	二塚	3.0	6.7	不明	2021	I
358	430260010	二塚350号橋	1	二塚	5.2	6.6	1958	2020	II
359	430260020	二塚351号橋	1	二塚	4.5	6.2	1958	2020	II
360	430260030	二塚352号橋	1	二塚	3.6	6.0	1958	2021	I
361	430264010	二塚353号橋	1	二塚	3.2	4.7	1960	2021	I
362	430269010	二塚354号橋	4	二塚	8.2	5.4	1964	2019	III
363	430269020	二塚355号橋	1	二塚	4.1	7.0	不明	2021	II
364	430277010	二塚356号橋	4	二塚	11.4	4.4	1965	2021	II
365	420278010	赤祖父357号橋	1	赤祖父	2.3	9.4	1958	2021	I
366	420278020	赤祖父358号橋	6	赤祖父	11.7	11.8	1958	2020	II
367	430281020	深沢360号橋	1	深沢	3.7	8.0	1958	2021	I
368	420316010	石瀬361号橋	2	石瀬	3.4	10.8	不明	2021	I
369	420317010	石瀬橋	6	石瀬	24.0	27.7	1990	2020	I
370	420328010	古定塚362号橋	1	古定塚	3.2	19.5	不明	2020	I
371			2						
372	420328020	野村1127号橋	1	野村	2.5	7.3	不明	2021	I
373	430330010	野村363号橋	1	野村	2.6	3.1	1965	2021	I
374	430332010	野村364号橋	2	野村	2.1	10.0	1965	2021	I
375	430338010	野村1141号橋	6	野村	15.0	5.0	1993	2022	I
376	420340010	石瀬366号橋	4	石瀬	7.5	5.6	1958	2019	II
377	430362010	石瀬367号橋	4	石瀬	9.5	4.7	1969	2019	III
378			1						
379	430363010	石瀬368号橋	1	石瀬	8.6	2.0	1958	2024	II
380	410393010	野村一号線橋	6	野村	24.0	10.0	2012	2021	I
381	410393020	三女子369号橋	2	三女子	3.8	9.0	1965	2020	I
382	430394010	野村橋	6	野村	25.1	7.2	2014	2021	I
383	430396010	野村371号橋	6	野村	16.7	6.2	2020	2021	I
384	420404010	出来田372号橋	1	出来田	4.3	7.0	1958	2021	I
385	420404020	出来田373号橋	2	出来田	4.0	12.0	1958	2020	I
386	430415010	西広上374号橋	1	西広上	3.0	6.0	1955	2021	II
387	430415020	西広上375号橋	1	西広上	2.1	7.2	1955	2021	I
388	430423010	二塚377号橋	1	二塚	3.4	5.6	1971	2021	I
389	430423020	二塚378号橋	1	二塚	3.5	5.5	1971	2021	I
390	430424010	二塚379号橋	2	二塚	2.4	6.1	1958	2021	I
391	430424020	東藤平蔵380号橋	1	東藤平蔵	3.4	5.6	1958	2020	I
392	430425010	東藤平蔵381号橋	1	東藤平蔵	3.5	6.1	1958	2021	I
393	430425020	東藤平蔵382号橋	1	東藤平蔵	3.2	6.0	1958	2021	I
394	430426010	東藤平蔵383号橋	1	東藤平蔵	2.8	6.1	不明	2021	I
395	430426020	二塚384号橋	1	二塚	3.4	6.0	1971	2021	I
396	430429010	東藤平蔵385号橋	1	東藤平蔵	2.5	6.1	1971	2021	I
397	430429020	東藤平蔵386号橋	1	東藤平蔵	2.7	5.6	1971	2021	I
398	420430010	西藤平蔵387号橋	6	西藤平蔵	11.1	5.6	1970	2021	II
399	420430020	西藤平蔵388号橋	1	西藤平蔵	5.1	6.0	1975	2020	II
400	420430030	西藤平蔵389号橋	1	西藤平蔵	3.6	6.5	1970	2021	I
401	420430040	西藤平蔵390号橋	1	西藤平蔵	4.6	6.3	1970	2020	I
402	430431010	西藤平蔵391号橋	6	西藤平蔵	9.3	4.6	1970	2019	II
403	430432010	西藤平蔵392号橋	1	西藤平蔵	3.5	4.0	1958	2021	I
404	430436010	大野393号橋	2	大野	2.1	5.8	1958	2021	I
405	430436030	地久子川橋	6	大野	16.4	7.7	2017	2024	I
406	410437010	佐野橋	7	佐野新町	51.9	11.8	1977	2024	III
407			9						
408	410437020	上黒田395号橋	4	上黒田	12.5	11.1	不明	2019	II
409			1						
410	420439010	露橋	7	戸出徳市	64.9	8.2	1986	2024	II
411	410441010	南星橋	5	南星町	26.0	20.8	2011	2022	I
412	410441020	木津396号橋	2	木津	4.4	8.6	1987	2020	I
413	430445010	林新397号橋	2	林新	4.1	12.6	1975	2024	I
414	420490010	大千橋	9	下島町	31.1	8.5	1978	2021	II
415	420490020	十二町島398号橋	1	十二町島	3.2	10.4	2012	2021	I
416			2						
417	420490030	戸出399号橋	1	戸出	3.0	7.7	1958	2021	I
418	430494010	木津400号橋	1	木津	5.8	5.7	1982	2024	I
419	430494020	木津401号橋	1	木津	6.9	4.7	1965	2024	I
420	430495010	木津402号橋	1	木津	6.1	5.5	1980	2024	I
421	430506010	西藤平蔵403号橋	6	西藤平蔵	11.5	9.8	1975	2020	I
422	430511010	東藤平蔵404号橋	1	東藤平蔵	2.8	6.5	1973	2021	I
423	430524010	蓮花寺405号橋	1	蓮花寺	2.3	5.8	不明	2021	III
424	430529010	井口本江406号橋	1	井口本江	2.6	6.1	1985	2021	II
425	430543010	十二町島408号橋	1	十二町島	2.9	4.9	不明	2021	I

No.	橋梁コード	新橋梁名	グループ番号	所在地	橋長	幅員	架設年次	最新点検年度	健全性
426	430565010	二塚409号橋	1	二塚	6.9	7.6	不明	2024	I
427	430565020	二塚410号橋	1	二塚	4.4	8.7	不明	2020	I
428	430568010	東藤平蔵411号橋	1	東藤平蔵	2.8	5.6	1971	2021	I
429	430589010	野村二号橋	6	野村	23.9	6.2	2009	2024	I
430	430591010	井口本江413号橋	1	井口本江	2.4	6.5	不明	2021	I
431	430596010	蓮花寺414号橋	5	蓮花寺	9.2	6.2	1991	2021	I
432	430607010	桜橋	7	佐野新町	24.2	16.3	1995	2022	II
433	430616010	木津415号橋	6	木津	8.1	7.6	1992	2019	I
434	430631010	二塚416号橋	2	二塚	4.1	4.8	不明	2020	I
435	430635010	野村417号橋	1	野村	2.2	14.5	不明	2021	II
436	430645010	野村418号橋	2	野村	2.1	6.0	不明	2021	I
437	430648010	蓮花寺419号橋	2	蓮花寺	5.0	8.0	不明	2024	I
438	430687010	二塚421号橋	2	二塚	2.3	14.0	不明	2021	I
439	430687020	二塚422号橋	2	二塚	3.1	28.0	不明	2021	I
440	430697010	石瀬423号橋	2	石瀬	3.1	8.8	不明	2021	I
441	430712010	二塚424号橋	6	二塚	10.4	5.0	2000	2020	I
442	430713070	下島橋	6	佐野	17.4	6.2	1964	2024	III
443	430713010	二塚5号橋	1	二塚	4.7	7.7	1979	2020	I
444	430713020	二塚426号橋	1	二塚	4.3	6.8	1953	2020	II
445	430713030	二塚427号橋	1	二塚	3.4	7.3	1953	2021	I
446	430713040	二塚428号橋	5	二塚	3.6	5.7	1952	2021	I
447	430713050	二塚429号橋	2	二塚	4.9	9.2	1947	2024	II
448	430713060	二塚430号橋	2	二塚	3.0	7.4	1948	2021	I
449	430713080	佐野431号橋	6	佐野	11.4	5.5	1941	2020	II
450	430713090	佐野432号橋	2	佐野	3.1	8.2	1941	2021	I
451	430733010	下伏間江433号橋	2	下伏間江	2.9	16.4	不明	2021	I
452	420747010	下伏間江434号橋	1	下伏間江	3.6	5.8	1931	2020	I
453	430770010	西広上435号橋	1	西広上	2.4	7.8	不明	2021	I
454	430783020	佐野437号橋	6	佐野	11.5	4.6	1969	2020	II
455	430793010	下黒田1119号橋	2	下黒田	2.4	17.9	2014	2023	I
456	430794010	下黒田1120号橋	2	下黒田	2.8	20.8	2014	2023	I
457	430803010	五十五橋	1	荒見崎	5.8	6.3	1947	2020	I
458	430807010	野村438号橋	1	野村	3.7	10.4	不明	2021	I
459	430810010	二塚439号橋	1	二塚	3.6	14.1	不明	2021	I
460	430815010	二塚440号橋	1	二塚	2.9	6.5	不明	2021	I
461	410844010	庄西大井川10号橋	6	戸出西部金屋	6.7	8.8	2014	2019	I
462	410844020	戸出西部金屋1152号橋	2	戸出西部金屋	2.8	16.9	2015	2020	I
463	430845010	木津1149号橋	2	木津	6.6	16.8	2014	2024	I
464	430853010	城端線新高岡駅東西自由通路	10	下黒田	31.2	5.2	2015	2022	II
465	430855010	野村1114号橋	1	野村	3.2	11.8	2012	2021	I
466	430872010	野村1122号橋	1	野村	2.8	11.5	2013	2023	I
467	430876010	木津1153号橋	8	木津	8.8	15.0	2015	2020	I
468	430896010	木津1154号橋	8	木津	8.8	8.0	不明	2020	I
469	420888010	木津261号橋	1	木津	5.1	5.9	1965	2024	I
470	430922010	高岡やぶなみ駅東西自由通路	9	羽庄	24.2	2.7	2018	2020	I
471	430957010	野村1167号橋	5	野村	3.2	10.3	2019	2023	I
472	530009010	上開発444号橋	1	上開発	2.1	5.0	1971	2021	I
473	530010010	上開発445号橋	1	上開発	2.0	9.0	1971	2021	I
474	530011010	小竹446号橋	1	小竹	4.1	5.0	1968	2020	I
475	530023010	駒方447号橋	2	駒方	2.0	7.8	1965	2024	I
476	530024010	駒方448号橋	1	駒方	4.3	5.8	1958	2024	II
477	530033010	三ヶ449号橋	9	三ヶ	14.4	4.7	1958	2020	II
478	530036010	三ヶ450号橋	1	三ヶ	8.3	6.5	1958	2024	I
479	530051010	今市452号橋	1	今市	2.1	4.0	1960	2021	II
480	530053010	今市455号橋	1	今市	2.1	4.3	1971	2021	I
481	530062010	小竹458号橋	9	小竹	14.3	4.7	1965	2020	II
482	510066010	三ヶ459号橋	9	三ヶ	11.4	6.2	1960	2019	II
483	510066020	三ヶ460号橋	9	三ヶ	11.4	6.2	1973	2019	II
484	510066030	三ヶ461号橋	2	三ヶ	2.5	14.4	不明	2021	I
485	530067010	本保462号橋	1	本保	5.3	6.9	不明	2024	I
486	530068010	本保463号橋	1	本保	3.2	5.6	1968	2021	II
487	530069010	本保464号橋	1	本保	4.9	4.2	1968	2020	II
488	530071010	本保465号橋	1	本保	3.2	6.1	不明	2020	I
489	510077010	小竹466号橋	9	小竹	14.4	7.2	1955	2021	II
490	510077013	小竹466号橋(歩道橋)	6	小竹	14.8	3.8	1999	2021	I
491	510077020	本保467号橋	1	本保	3.2	10.6	1973	2020	I
492	510077030	本保468号橋	1	本保	2.1	10.2	不明	2021	I
493	530082010	蔵野町470号橋	1	蔵野町	4.9	5.3	1984	2024	I
494	530083010	辻471号橋	2	辻	2.4	9.5	1957	2021	I
495	530083020	辻472号橋	1	辻	3.6	5.3	1984	2020	II
496	510084010	辻473号橋	1	辻	5.2	8.6	1961	2024	I

No.	橋梁コード	新橋梁名	グループ番号	所在地	橋長	幅員	架設年次	最新点検年度	健全性
497	510084020	辻474号橋	1	辻	3.8	9.0	1970	2020	II
498	530086010	荒見崎475号橋	1	荒見崎	2.0	5.8	1958	2023	II
499	530087010	蔵野町476号橋	1	蔵野町	2.4	7.0	1982	2021	II
500	530096010	辻477号橋	2	辻	2.7	5.0	不明	2024	I
501	530101010	中保478号橋	2	中保	3.4	4.4	1965	2024	I
502	530104010	中保幸作橋	6	中保	31.4	5.2	2001	2022	I
503	530105010	新中保橋	6	中保	32.3	9.2	1999	2024	I
504	530110010	小竹1128号橋	1	小竹	3.5	5.7	不明	2020	II
505	530110020	駒方479号橋	2	駒方	2.0	7.2	1967	2024	I
506	530113010	本保480号橋	1	本保	3.0	7.2	1958	2024	I
507	520114010	小竹481号橋	9	小竹	14.4	6.3	1972	2020	II
508	520114020	小竹482号橋	1	小竹	3.8	6.0	1963	2020	I
509	510116010	小竹483号橋	1	小竹	2.2	9.9	1970	2021	I
510	510116020	駒方484号橋	2	駒方	2.8	17.7	2019	2020	I
511	510117010	蔵野町485号橋	1	蔵野町	2.5	7.4	1958	2021	II
512	520118010	橋詰橋	6	中保	30.6	10.8	1979	2019	III
513	510126010	福祿橋	7	六家	36.4	6.9	1972	2019	III
514	530132010	石塚486号橋	1	石塚	4.6	4.3	1968	2024	I
515	530134010	石塚487号橋	1	石塚	4.6	5.6	1968	2024	I
516	530138010	石塚488号橋	1	石塚	4.3	5.1	1958	2024	I
517	530139010	和田489号橋	2	和田	5.4	3.7	1960	2024	I
518	530144010	上北島490号橋	1	上北島	4.4	5.1	1965	2024	I
519	520145010	和田492号橋	4	和田	6.2	5.7	1965	2021	I
520	520145020	和田493号橋	1	和田	2.8	9.4	不明	2021	I
521			2						
522	530146010	上北島494号橋	1	上北島	6.3	4.8	1965	2024	I
523	530147010	上北島495号橋	1	上北島	4.7	4.8	1958	2024	I
524	510157030	西佐野和田跨線橋	7	和田	176.0	15.0	2000	2022	II
525	510157010	福東橋	6	六家	32.7	18.8	1993	2024	I
526	516157040	和田1145号橋	2	和田	2.8	5.5	2000	2021	I
527	517157080	和田1146号橋	2	和田	2.8	5.5	不明	2021	I
528	517157090	和田1147号橋	1	和田	8.1	6.0	不明	2021	I
529	510157020	上北島496号橋	1	上北島	5.7	19.1	1988	2024	I
530	516157070	和田1148号橋	1	和田	8.3	6.0	不明	2021	I
531	510157050	佐野1116号橋	2	佐野	2.3	18.2	2000	2021	I
532	530158020	六家498号橋	2	六家	2.3	9.0	不明	2020	I
533	530159010	六家499号橋	2	六家	2.1	10.0	不明	2021	I
534	520174010	柴野内島501号橋	2	柴野内島	2.3	17.4	不明	2021	I
535	530175010	内島502号橋	1	内島	4.3	8.1	不明	2020	I
536	530183010	荒屋敷503号橋	1	荒屋敷	3.4	3.4	1960	2021	I
537	530188020	内島505号橋	6	内島	4.3	6.7	1977	2019	II
538			1						
539	530199010	大源寺506号橋	1	大源寺	3.5	7.0	不明	2020	I
540	530200010	蜂ヶ島507号橋	1	蜂ヶ島	3.6	7.3	不明	2021	I
541	530200020	荒屋敷508号橋	1	荒屋敷	3.7	6.2	不明	2024	I
542	530201010	内島509号橋	1	内島	4.8	6.7	不明	2024	I
543	530250010	福田橋	6	立野	14.2	6.0	1988	2024	I
544	530253010	立野511号橋	2	立野	2.9	9.2	1989	2024	I
545	530254010	堂前橋	6	立野	13.3	4.8	1989	2024	I
546	530255010	立野中央橋	4	立野	13.4	7.7	1989	2024	I
547	530263010	宝来町514号橋	1	宝来町	4.2	9.1	不明	2024	I
548	510265010	宝来町515号橋	6	宝来町	8.9	6.6	1991	2019	I
549	510265020	宝来町516号橋	1	宝来町	4.6	5.2	1971	2024	I
550	530266010	宝来町517号橋	1	宝来町	3.4	4.0	1958	2020	I
551	530268010	中川9号農道橋	6	宝来町	9.8	5.7	1987	2019	II
552	510274010	笹川519号橋	2	笹川	2.2	10.4	1960	2021	II
553	530279010	立野520号橋	2	立野	2.3	7.7	1970	2020	I
554	530280010	千鳥丘町521号橋	1	千鳥丘町	3.7	5.2	1970	2020	I
555	530281010	千鳥丘町522号橋	2	千鳥丘町	4.3	9.1	1970	2021	I
556	530282010	下開発523号橋	1	下開発	4.0	6.5	1970	2024	I
557	520284010	千鳥丘町525号橋	1	千鳥丘町	3.3	5.5	1958	2024	I
558	530293010	笹川526号橋	1	笹川	4.9	4.5	1958	2024	I
559	510296010	笹川527号橋	1	笹川	5.0	14.0	1958	2024	I
560	510303010	中保橋	6	中保	30.9	17.8	1997	2024	I
561	530306010	立野528号橋	1	立野	2.9	5.7	1958	2021	I
562	530332010	小竹529号橋	1	小竹	2.5	7.9	不明	2021	I
563	530333010	小竹530号橋	1	小竹	2.1	5.8	1965	2021	I
564	530338010	小竹531号橋	1	小竹	2.5	5.3	1972	2021	I
565	530341010	小竹532号橋	9	小竹	14.4	4.7	1958	2021	II
566	530347010	小竹1142号橋	9	小竹	17.7	4.8	1958	2024	III
567	530356010	本保533号橋	1	本保	4.6	3.7	1969	2024	I

No.	橋梁コード	新橋梁名	グループ番号	所在地	橋長	幅員	架設年次	最新点検年度	健全性
568	530357010	本保534号橋	1	本保	2.6	5.9	1967	2021	I
569	530364010	本保535号橋	1	本保	2.7	3.6	1970	2021	I
570	530390010	荒見崎536号橋	1	荒見崎	3.2	6.4	1958	2024	I
571	530392010	蔵野町537号橋	1	蔵野町	2.4	7.0	1984	2021	II
572	530393010	蔵野町538号橋	1	蔵野町	2.4	7.1	1984	2021	I
573	530394010	蔵野町539号橋	1	蔵野町	4.6	4.9	1984	2024	I
574	530397010	荒見崎540号橋	1	荒見崎	4.9	6.1	1984	2024	I
575	530397020	荒見崎541号橋	2	荒見崎	5.8	8.2	不明	2024	I
576	530413010	辻544号橋	1	辻	3.4	5.3	1984	2020	II
577	530413020	辻545号橋	1	辻	4.2	5.1	1984	2024	I
578	530415010	辻546号橋	1	辻	2.4	6.1	1960	2021	I
579	530434010	中保547号橋	2	中保	3.0	5.5	不明	2024	I
580	530442010	中保548号橋	1	中保	2.2	5.2	1972	2021	I
581	530480010	立野549号橋	1	立野	2.5	5.5	不明	2021	I
582	520481010	小竹550号橋	1	小竹	3.0	6.1	1975	2021	II
583	520481020	上開発551号橋	2	上開発	2.0	6.4	1975	2024	I
584	530483010	荒屋敷552号橋	1	荒屋敷	2.5	5.8	1965	2021	I
585	530483020	内島553号橋	1	内島	2.0	7.6	1965	2021	II
586	520490010	堂島橋	6	立野美鳥町	10.7	17.8	1982	2024	I
587	530497010	立野555号橋	1	立野	3.6	6.3	不明	2020	I
588	530498010	立野556号橋	1	立野	2.8	8.1	不明	2021	I
589	530498020	かやどう橋	6	立野美鳥町	10.2	6.0	1985	2024	I
590	530521010	笹川557号橋	7	笹川	10.3	7.2	1990	2024	I
591	530527020	宝来町558-1号橋	2	宝来町	2.3	8.7	不明	2021	I
592	530527010	宝来町557号橋	2	宝来町	2.3	11.6	不明	2021	I
593	530528010	上渡558号橋	2	上渡	2.3	13.7	不明	2021	I
594	530528020	宝来町559-1号橋	2	宝来町	2.3	10.2	不明	2021	I
595	530529020	宝来町560号橋	1	宝来町	3.1	6.3	不明	2020	I
596	530529010	宝来町559号橋	1	宝来町	3.4	6.3	不明	2020	I
597	530530010	中川橋側道橋	6	池田	14.2	7.2	1998	2021	I
598	530535010	小竹橋	4	小竹	13.7	6.8	1961	2020	II
599	530542010	道尻橋	6	笹川	10.8	7.2	1984	2021	II
600	530542020	宝来町568号橋	1	宝来町	3.6	6.3	不明	2020	II
601	530544010	八反島橋	6	宝来町	9.9	7.2	1987	2019	I
602	530546010	宝来町570号橋	1	宝来町	2.3	10.2	不明	2021	I
603	530548010	宝来町571号橋	1	宝来町	3.1	6.3	不明	2021	I
604	530548020	宝来町572号橋	1	宝来町	3.1	6.3	不明	2021	I
605	530548030	宝来町573号橋	1	宝来町	2.3	6.3	不明	2021	I
606	530549010	まきめ橋	1	和田	4.4	6.1	不明	2020	I
607	530552010	立野575号橋	2	立野	3.7	11.3	不明	2020	I
608	530568010	福田六家576号橋	1	福田六家	4.8	7.9	不明	2024	I
609	530575010	宝来町577号橋	2	宝来町	2.3	14.0	不明	2021	I
610	530578020	国東橋	9	荒屋敷～四日市	202.3	6.5	1961	2023	III
611	530578024	国東橋(歩道橋)	9	荒屋敷～四日市	202.3	2.3	1982	2023	II
612	530578030	四日市橋	6	四日市	32.7	6.0	1962	2024	II
613			2						
614	530578050	荒屋敷1125号橋	1	荒屋敷	5.2	29.5	不明	2020	II
615			5						
616	530578040	佐賀野橋	1	四日市	5.3	7.0	1962	2024	I
617			1						
618	530578010	福田六家橋	2	六家	4.5	13.4	1957	2024	I
619	530579010	三ヶ580号橋	6	三ヶ	7.7	8.2	不明	2019	I
620	530628020	新中保幸作橋	6	中保	31.1	8.2	2003	2024	I
621	530628010	中保581号橋	2	中保	3.1	10.3	不明	2021	I
622	530628030	荒見崎582号橋	2	荒見崎	4.0	8.4	不明	2024	I
623			2						
624	530642010	中保583号橋	1	中保	3.1	7.5	不明	2021	I
625	530654010	中保1115号橋	2	中保	3.3	8.1	2013	2020	I
626	530654020	中保1150号橋	2	中保	5.5	5.9	不明	2024	I
627	530668010	和田1162号橋	2	和田	2.4	7.0	2018	2021	I
628	530675010	和田1168号橋	5	和田	2.0	6.0	2017	2023	I
629	630001010	東海老坂584号橋	1	東海老坂	2.7	5.3	1960	2020	II
630	630002010	西海老坂585号橋	1	西海老坂	2.6	6.0	1967	2021	II
631	630003010	東海老坂586号橋	1	東海老坂	5.8	3.9	不明	2024	I
632	630003020	東海老坂587号橋	1	東海老坂	4.3	7.9	1961	2024	I
633	630006010	東海老坂588号橋	2	東海老坂	2.3	5.4	1965	2020	I
634	630010010	守山589号橋	2	守山	4.6	6.0	1963	2024	I
635	630013010	東海老坂590号橋	2	東海老坂	2.8	12.0	不明	2021	I
636	630013020	西海老坂591号橋	2	西海老坂	5.0	6.9	不明	2020	I
637	630015010	須田592号橋	2	須田	5.3	6.7	1982	2024	I
638	630017010	五十里593号橋	2	五十里	3.8	15.5	1965	2024	I

No.	橋梁コード	新橋梁名	グループ番号	所在地	橋長	幅員	架設年次	最新点検年度	健全性
639	630017020	五十里594号橋	2	五十里	3.6	10.4	1967	2024	I
640	630018010	五十里595号橋	2	五十里	3.2	4.5	1960	2024	I
641	630019010	五十里596号橋	2	五十里	3.6	6.5	1965	2024	I
642	630020010	内古川1号橋	6	五十里	18.6	7.3	2013	2024	I
643	620038010	五十里598号橋	2	五十里	4.0	9.0	1977	2024	I
644	630047010	五十里599号橋	1	五十里	2.4	3.6	1955	2021	I
645	630048010	五十里600号橋	1	五十里	2.3	3.6	1957	2021	I
646	630049010	五十里601号橋	1	五十里	2.3	4.6	1970	2021	I
647	630073010	四日市602号橋	1	四日市	2.5	3.0	1960	2021	I
648	630073020	四日市603号橋	2	四日市	3.5	4.8	1960	2024	I
649	630084010	四日市604号橋	2	四日市	4.0	4.7	1955	2024	I
650	630085030	八口607号橋	2	八口	2.4	5.0	1970	2024	I
651	630088010	八口608号橋	4	八口	11.7	3.5	1970	2019	II
652	630089010	八口609号橋	4	八口	10.0	6.3	1958	2019	II
653	610094020	石堤611号橋	6	石堤	11.5	7.6	1963	2021	III
654			4						
655	620102010	新居橋	7	麻生谷	47.0	7.2	2013	2022	I
656	630103010	麻生谷613号橋	1	麻生谷	2.5	4.5	1971	2021	I
657	630109010	麻生谷615号橋	2	麻生谷	4.0	6.0	1969	2024	I
658	630110010	麻生谷616号橋	2	麻生谷	4.0	6.0	1970	2024	I
659	620113010	麻生谷617号橋	2	麻生谷	2.9	8.1	1958	2020	I
660	630115010	麻生谷618号橋	2	麻生谷	2.8	6.2	1968	2021	I
661	630116010	麻生谷619号橋	1	麻生谷	2.7	9.5	1970	2021	I
662	630119010	石堤620号橋	6	石堤	11.2	4.5	不明	2023	I
663	630139010	柴野621号橋	1	柴野	2.0	7.0	1960	2020	I
664	620142010	山川622号橋	1	山川	2.1	7.5	1977	2021	I
665	630144010	柴野623号橋	1	柴野	2.5	5.4	1960	2021	II
666	630148010	国吉624号橋	2	国吉	2.3	6.0	不明	2021	I
667	630148020	国吉625号橋	1	国吉	3.8	4.4	1960	2020	I
668	630151010	岩坪626号橋	1	岩坪	4.3	4.1	1968	2024	III
669	630151020	岩坪627号橋	4	岩坪	8.7	3.5	1955	2019	I
670	630152010	岩坪628号橋	1	岩坪	3.8	4.8	1965	2024	II
671	630158010	国吉629号橋	1	国吉	5.1	4.3	1970	2024	II
672	630195010	佐加野631号橋	1	佐加野	2.7	6.6	不明	2021	I
673	610202010	答野島632号橋	1	答野島	3.4	8.3	1970	2021	II
674	610202020	答野島633号橋	1	答野島	2.5	7.8	1970	2021	I
675	630203010	手洗野634号橋	2	手洗野	4.0	16.0	不明	2024	I
676	630204010	答野島635号橋	1	答野島	2.4	4.5	1970	2021	II
677	630207010	答野島橋	6	国吉	29.0	7.2	2001	2024	I
678	630208010	国吉636号橋	1	国吉	2.5	7.6	不明	2021	II
679	630208020	国吉637号橋	1	国吉	2.5	5.3	1970	2021	II
680	630212010	月野谷638号橋	1	月野谷	4.0	9.2	1955	2024	II
681	630212030	国吉640号橋	2	国吉	5.0	11.3	1970	2020	I
682	610215010	答野島641号橋	1	答野島	2.2	9.9	1958	2021	II
683	610215020	国吉642号橋	2	国吉	3.0	11.2	1958	2020	I
684	630216030	手洗野1124号橋	1	手洗野	2.1	8.8	不明	2020	I
685	630216010	頭川643号橋	1	頭川	7.4	5.7	1958	2020	II
686	630216020	国吉644号橋	1	国吉	3.0	5.7	1958	2024	I
687	620220010	頭川川5号橋	6	頭川	7.4	6.8	1970	2019	II
688	630221010	頭川646号橋	1	頭川	2.8	6.3	1958	2021	II
689	630222010	国吉647号橋	1	国吉	3.9	4.3	1970	2020	II
690	630225010	頭川648号橋	9	頭川	12.7	4.8	1958	2021	II
691	630226010	国吉649号橋	1	国吉	3.1	4.5	不明	2021	II
692	630228010	国吉650号橋	1	国吉	6.7	6.6	1972	2024	II
693	630230010	笹八口652号橋	1	笹八口	3.3	7.3	不明	2020	II
694	630234010	八口653号橋	1	八口	3.4	2.8	1970	2020	I
695	630234020	高辻654号橋	2	高辻	2.9	7.0	2003	2021	I
696	630235010	八口655号橋	1	八口	2.4	4.0	1960	2021	II
697	630235020	八口656号橋	4	八口	12.5	3.1	1960	2020	III
698	630237010	国吉658号橋	1	国吉	3.5	4.4	1971	2020	I
699	630239010	国吉659号橋	2	国吉	3.9	31.3	不明	2024	I
700	630239020	国吉660号橋	1	国吉	3.4	5.3	1970	2020	I
701	630240010	国吉661号橋	10	国吉	14.0	1.7	1972	2021	II
702	630244010	境662号橋	9	境	14.9	4.7	1972	2020	II
703	630247010	境663号橋	2	境	2.2	3.4	1972	2024	I
704	630248010	守山664号橋	4	守山	6.8	5.8	1972	2019	III
705	630253010	五十里665号橋	1	五十里	5.4	4.4	1972	2019	I
706	630255010	五十里666号橋	2	五十里	2.9	9.0	不明	2021	I
707	630255020	百橋667号橋	1	百橋	3.2	4.4	1972	2020	II
708	630256010	百橋668号橋	2	百橋	3.2	6.4	不明	2020	I
709	630256030	内古川2号橋	6	五十里	16.2	8.2	2018	2020	I

No.	橋梁コード	新橋梁名	グループ番号	所在地	橋長	幅員	架設年次	最新点検年度	健全性
710	630258010	五十里671号橋	1	五十里	3.2	4.3	1972	2024	I
711	630258020	五十里672号橋	1	五十里	2.0	6.5	1972	2024	I
712	630259010	西広谷673号橋	4	西広谷	6.4	5.1	1951	2019	II
713	610263010	柴野674号橋	1	柴野	2.2	6.3	1977	2021	I
714	610263020	柴野675号橋	1	柴野	2.8	6.3	1977	2021	I
715	630266010	勝木橋	5	勝木原	7.8	5.2	1960	2019	II
716	630272020	セトガワ橋	1	岩坪	5.8	7.1	1970	2024	II
717	630272010	岩坪第一号橋	1	岩坪	9.5	10.0	1970	2019	II
718			4						
719	630272030	佐賀野一号橋	1	佐加野	3.1	6.7	1968	2020	II
720	630272040	佐賀野二号橋	2	岩坪	3.6	39.0	1974	2024	I
721	630274010	笹八口682号橋	1	笹八口	3.4	5.3	1987	2020	I
722	630274020	柴野683号橋	1	柴野	3.4	7.8	1987	2020	I
723	630276010	岩坪684号橋	2	岩坪	2.5	11.8	1989	2024	I
724	630276020	国吉685号橋	1	国吉	4.6	12.1	1989	2024	I
725	630278010	国吉686号橋	2	国吉	2.7	10.0	不明	2024	I
726	630296010	頭川川側道橋	7	国吉	22.0	7.2	2004	2020	I
727	630296020	国吉687号橋	2	国吉	2.3	10.1	不明	2020	I
728	630297010	岩坪688号橋	2	岩坪	2.9	15.0	不明	2021	I
729	630298010	五十里689号橋	2	五十里	2.9	11.0	不明	2020	I
730	630303010	広川橋	6	国吉	32.9	5.2	2001	2020	I
731	630304010	どのはし橋	6	五十里	33.4	7.2	2001	2021	I
732	630308010	西海老坂690号橋	1	西海老坂	4.4	9.2	不明	2024	I
733	630308020	須田691号橋	2	須田	4.2	48.0	不明	2024	I
734	630311010	六枚戸橋	6	国吉	35.0	11.0	2002	2023	I
735	630311020	柴野692号橋	4	柴野	7.3	15.1	1963	2019	III
736			1						
737	630311030	柴野693号橋	1	柴野	5.4	10.5	1972	2024	II
738	630312010	手洗野694号橋	2	手洗野	3.9	10.2	不明	2020	I
739	630327010	柴野695号橋	2	柴野	2.6	8.0	不明	2021	I
740	630339010	国吉1169号橋	5	国吉	12.5	4.1	不明	2023	I
741	730009010	戸出町一丁目696号橋	1	戸出町一丁目	5.4	4.1	不明	2024	I
742	710011010	戸出町一丁目697号橋	5	戸出町一丁目	11.8	6.1	1955	2020	II
743	710011020	戸出町一丁目698号橋	1	戸出町一丁目	3.3	10.6	不明	2021	II
744	710011030	戸出大清水699号橋	1	戸出大清水	7.0	6.8	1972	2024	I
745	710011040	戸出大清水700号橋	2	戸出大清水	6.0	6.5	1972	2020	I
746	710011050	戸出大清水701号橋	2	戸出大清水	2.0	6.5	1972	2020	I
747	710016010	戸出町二丁目702号橋	1	戸出町二丁目	3.1	3.6	1972	2024	I
748	730066010	戸出町四丁目705号橋	1	戸出町四丁目	4.6	4.6	1972	2024	I
749	720062010	戸出町五丁目703号橋	6	戸出町五丁目	6.4	6.3	1972	2019	II
750	720062020	戸出町五丁目704号橋	4	戸出町五丁目	5.7	6.9	1972	2021	II
751			1						
752	730511010	戸出町五丁目1118号橋	5	戸出町五丁目	11.4	4.8	2011	2020	I
753	730067010	戸出町五丁目706号橋	6	戸出町五丁目	11.4	4.2	1972	2020	II
754	720068010	戸出町五丁目707号橋	6	戸出町五丁目	9.9	7.7	1971	2019	III
755	730072010	戸出町五丁目708号橋	5	戸出町五丁目	12.6	7.2	不明	2020	I
756	710074010	戸出町五丁目709号橋	6	戸出町五丁目	9.0	11.1	不明	2019	I
757	730075010	戸出町五丁目710号橋	1	戸出町五丁目	3.1	5.6	1972	2021	II
758	730095010	醍醐711号橋	2	醍醐	2.1	5.5	1971	2021	I
759	720096010	醍醐712号橋	1	醍醐	5.2	10.9	不明	2023	I
760	720096020	醍醐713号橋	1	醍醐	4.8	10.9	不明	2020	I
761	720096030	醍醐714号橋	6	醍醐	10.4	10.2	不明	2020	I
762	720096040	醍醐715号橋	1	醍醐	3.4	7.0	不明	2021	II
763	730100010	醍醐716号橋	1	醍醐	3.5	4.4	1971	2020	I
764	730101010	醍醐717号橋	2	醍醐	4.5	8.0	1975	2024	I
765	730101020	醍醐718号橋	1	醍醐	4.8	4.3	1975	2020	I
766	730101030	醍醐719号橋	1	醍醐	4.8	4.3	1975	2020	II
767	720103010	東新又用水橋	6	醍醐	7.3	10.9	1991	2019	I
768	730104010	醍醐721号橋	2	醍醐	4.5	6.2	1975	2024	I
769	730105010	醍醐722号橋	2	醍醐	4.5	8.0	1975	2024	I
770	730107010	醍醐723号橋	1	醍醐	7.9	4.5	1971	2024	I
771	730119020	後正寺10号橋	9	戸出伊勢領	18.0	10.9	1972	2024	III
772	730119010	醍醐724号橋	2	醍醐	3.6	10.7	不明	2021	II
773	730121010	醍醐725号橋	1	醍醐	4.0	4.4	1971	2021	I
774	730122010	醍醐726号橋	1	醍醐	3.8	7.5	1975	2020	I
775	730128010	醍醐728号橋	1	醍醐	4.0	4.4	1971	2020	I
776	730128020	醍醐729号橋	4	醍醐	9.5	4.6	1971	2020	I
777	730128030	醍醐1161号橋	1	醍醐	4.0	4.4	不明	2021	I
778	730129040	醍醐1136号橋	2	醍醐	2.5	7.0	不明	2021	I
779	730129010	醍醐730号橋	1	醍醐	4.0	4.4	1975	2020	I
780	730129020	醍醐731号橋	4	醍醐	9.4	4.5	1975	2019	I

No.	橋梁コード	新橋梁名	グループ番号	所在地	橋長	幅員	架設年次	最新点検年度	健全性
781	730129030	醍醐732号橋	1	醍醐	4.0	4.4	不明	2021	I
782	730130010	醍醐733号橋	1	醍醐	4.0	4.4	1971	2021	II
783	730132010	醍醐734号橋	2	醍醐	4.5	8.0	1989	2024	I
784	730140010	醍醐735号橋	4	醍醐	9.4	4.5	1975	2019	I
785	730142010	醍醐736号橋	2	醍醐	2.8	8.0	1975	2024	I
786	730142020	醍醐737号橋	1	醍醐	3.7	7.3	不明	2021	I
787	730145010	醍醐738号橋	2	醍醐	2.8	8.0	不明	2024	I
788	720165010	戸出伊勢領740号橋	9	戸出伊勢領	13.7	7.2	1975	2020	III
789	730162010	戸出竹北741号橋	1	戸出竹北	2.5	6.1	1975	2021	I
790	730163010	戸出竹742号橋	2	戸出竹	2.8	7.8	2013	2021	I
791	730168010	戸出光明寺743号橋	1	戸出光明寺	2.0	8.3	1972	2021	I
792	730168020	戸出古戸出744号橋	4	戸出古戸出	9.2	4.5	1972	2019	I
793	710170010	戸出竹北745号橋	2	戸出竹北	2.6	8.0	2013	2021	I
794	710170020	戸出竹北746号橋	1	戸出竹北	2.8	7.4	1972	2021	I
795	730171010	戸出竹北747号橋	1	戸出竹北	2.5	8.5	不明	2021	I
796	730175010	戸出岡御所748号橋	2	戸出岡御所	2.8	6.3	2014	2021	I
797	730178010	戸出放寺749号橋	1	戸出放寺	2.7	6.7	1972	2021	II
798	730183010	戸出放寺750号橋	2	戸出放寺	3.5	8.0	2013	2021	I
799	730183020	戸出行兼751号橋	4	戸出行兼	9.2	4.5	1972	2019	II
800	720184010	戸出放寺752号橋	2	戸出放寺	2.8	8.0	2014	2021	I
801	720184020	戸出行兼753号橋	9	戸出行兼	9.4	6.7	1972	2019	III
802	730190010	戸出吉住新754号橋	2	戸出吉住新	3.8	5.0	不明	2021	I
803	730198010	戸出岡御所755号橋	1	戸出岡御所	5.3	8.1	1972	2021	I
804	710199010	四ツ屋橋	6	戸出光明寺	10.2	12.0	2015	2021	II
805	710199020	戸出光明寺757号橋	1	戸出光明寺	4.8	7.1	1972	2021	I
806	710201020	戸出吉住新759号橋	1	戸出吉住新	4.6	5.9	1958	2020	II
807	710201030	戸出吉住新760号橋	2	戸出吉住新	6.7	17.5	不明	2023	I
808	720205010	戸出六十歩761号橋	2	戸出六十歩	2.1	5.1	2016	2020	I
809	730206010	戸出六十歩762号橋	2	戸出六十歩	2.7	7.9	2015	2021	I
810	730207010	戸出六十歩763号橋	2	戸出六十歩	2.5	6.7	2015	2021	I
811	720212010	戸出市野瀬764号橋	1	戸出市野瀬	7.3	7.0	1958	2024	I
812	730213010	戸出市野瀬765号橋	1	戸出市野瀬	4.6	6.1	不明	2020	I
813	730216010	戸出市野瀬766号橋	1	戸出市野瀬	2.3	4.4	1950	2021	I
814	710219030	市野瀬橋	2	戸出市野瀬	7.5	14.3	2018	2020	I
815	710219010	戸出市野瀬767号橋	1	戸出市野瀬	2.3	6.0	1958	2021	II
816	710219020	戸出市野瀬768号橋	2	戸出市野瀬	5.4	14.3	2018	2020	I
817	710219040	戸出市野瀬770号橋	2	戸出市野瀬	2.0	15.0	2018	2020	I
818	730234010	戸出市野瀬771号橋	1	戸出市野瀬	7.7	6.9	1957	2024	I
819	710235010	春日橋	6	戸出春日	16.7	12.8	1983	2020	I
820	730236010	戸出大清水772号橋	1	戸出大清水	7.7	4.9	1955	2024	I
821	730239010	戸出伊勢領773号橋	1	戸出伊勢領	3.1	8.6	1949	2021	I
822	730240010	戸出伊勢領774号橋	1	戸出伊勢領	2.3	5.1	1976	2021	II
823	730241010	戸出775号橋	4	戸出	7.7	6.0	1976	2020	II
824	730251010	戸出春日776号橋	1	戸出春日	2.2	6.0	1958	2021	II
825	730260010	戸出春日777号橋	2	戸出春日	6.7	10.0	2011	2021	I
826	730270010	戸出吉住778号橋	2	戸出吉住	5.1	8.8	1972	2024	I
827	730272020	戸出大清水1137号橋	1	戸出大清水	2.5	7.1	不明	2021	I
828	730272010	戸出吉住779号橋	2	戸出吉住	2.1	7.3	1975	2021	I
829	730274010	戸出大清水780号橋	2	戸出大清水	2.1	6.1	2011	2021	II
830	730284010	戸出徳市781号橋	2	戸出徳市	6.8	12.0	1958	2024	I
831	730285010	戸出徳市782号橋	2	戸出徳市	6.8	12.0	1950	2024	I
832	730289020	戸出大清水784号橋	2	戸出大清水	5.0	7.2	不明	2024	I
833	720293010	戸出吉住785号橋	2	戸出吉住	5.0	7.0	1965	2024	I
834	720293020	戸出吉住786号橋	1	戸出吉住	3.4	6.0	1965	2021	II
835	730294010	戸出吉住787号橋	1	戸出吉住	5.1	4.4	1951	2024	I
836	730296010	戸出吉住788号橋	1	戸出吉住	2.5	8.5	1950	2021	I
837	730298010	戸出吉住789号橋	1	戸出吉住	3.2	7.2	1950	2021	I
838	730298020	戸出吉住790号橋	2	戸出吉住	2.1	7.9	不明	2021	I
839	730303010	戸出吉住新791号橋	1	戸出吉住新	4.2	4.7	1958	2024	I
840	710304010	戸出吉住新792号橋	2	戸出吉住新	2.5	18.3	不明	2020	I
841	710304020	五之輪橋	6	戸出石代	6.8	15.7	1988	2023	II
842	710304030	戸出石代794号橋	1	戸出石代	3.2	18.8	1981	2021	II
843	730306010	戸出西部金屋795号橋	1	戸出西部金屋	4.1	7.3	1958	2021	I
844	730307010	戸出西部金屋796号橋	1	戸出西部金屋	3.2	6.9	1972	2020	II
845	730309010	戸出西部金屋797号橋	1	戸出西部金屋	3.6	5.8	1972	2021	I
846	730311010	戸出西部金屋798号橋	2	戸出西部金屋	3.0	7.8	1980	2021	I
847	730311020	戸出西部金屋799号橋	6	戸出西部金屋	11.5	7.4	1980	2020	III
848	730312010	戸出西部金屋800号橋	1	戸出西部金屋	3.3	8.1	1958	2021	I
849	730312020	戸出西部金屋801号橋	6	戸出西部金屋	13.6	6.4	1958	2020	III
850	730317010	戸出吉住802号橋	1	戸出吉住	3.6	4.3	1958	2021	II
851	730325010	戸出石代803号橋	1	戸出石代	3.7	7.0	不明	2021	I

No.	橋梁コード	新橋梁名	グループ番号	所在地	橋長	幅員	架設年次	最新点検年度	健全性
852	730326010	北般若橋	8	戸出石代	114.2	9.2	2014	2022	I
853	730331010	戸出町五丁目804号橋	1	戸出町五丁目	8.2	6.7	1972	2024	I
854	720333020	中央橋	6	戸出町六丁目	12.1	16.6	1974	2020	II
855	720333010	戸出伊勢領805号橋	1	戸出伊勢領	2.7	12.0	1975	2021	III
856	730335010	戸出町六丁目807号橋	6	戸出町六丁目	12.1	6.9	1975	2020	II
857	730340010	戸出町六丁目808号橋	6	戸出町六丁目	11.9	3.6	1975	2021	II
858	730344010	戸出町六丁目809号橋	6	戸出町六丁目	12.2	6.8	1975	2020	II
859	720383010	戸出岡御所810号橋	1	戸出岡御所	3.0	7.3	1975	2021	I
860			2						
861	710384010	西藤平蔵811号橋	1	西藤平蔵	3.2	11.8	不明	2021	II
862			2						
863	730398010	戸出春日813号橋	1	戸出春日	5.4	6.3	1975	2020	I
864	720399010	戸出市野瀬814号橋	1	戸出市野瀬	4.5	7.8	1958	2020	II
865	730433010	戸出町二丁目815号橋	2	戸出町二丁目	2.3	9.3	1988	2021	I
866	730444010	戸出町二丁目816号橋	1	戸出町二丁目	3.9	9.9	不明	2021	I
867	730444020	戸出町二丁目817号橋	1	戸出町二丁目	2.0	9.0	不明	2021	II
868	710450010	古戸出橋	6	戸出町五丁目	11.4	10.2	1999	2021	I
869	710450020	戸出町五丁目819号橋	1	戸出町五丁目	4.3	6.1	1972	2020	II
870	730459010	戸出狼820号橋	2	戸出狼	2.2	6.7	不明	2021	II
871	730470010	玄手川橋	6	戸出市野瀬	11.0	9.2	2001	2021	I
872	730482010	戸出西部金屋822号橋	2	戸出西部金屋	4.2	13.5	不明	2020	I
873	730495010	戸出西部金屋1123号橋	2	戸出西部金屋	3.3	12.0	2014	2023	I
874	730525010	戸出西部金屋824号橋	1	戸出西部金屋	3.0	7.2	1958	2021	II
875	730525020	戸出西部金屋1155号橋	2	戸出西部金屋	2.3	10.0	2014	2020	I
876	830001010	中田825号橋	1	中田	3.0	3.0	1930	2021	II
877	830005010	中田826号橋	1	中田	3.5	6.3	1970	2021	I
878	830005020	中田827号橋	1	中田	2.2	6.3	不明	2021	II
879	830005030	中田828号橋	1	中田	3.5	6.4	不明	2021	II
880	830005040	上麻生829号橋	1	上麻生	2.7	6.3	不明	2021	I
881	830006010	中田830号橋	1	中田	4.6	5.8	1953	2020	II
882	830008010	下麻生831号橋	1	下麻生	4.6	18.3	1970	2024	I
883	830008020	下麻生832号橋	1	下麻生	5.6	5.9	1970	2024	I
884	830008030	下麻生833号橋	1	下麻生	3.0	6.5	不明	2021	II
885	810012010	中田834号橋	1	中田	2.9	6.8	1958	2020	II
886	810012020	滝835号橋	1	滝	4.3	7.0	1955	2020	I
887	810012030	滝836号橋	1	滝	5.0	10.1	1955	2021	II
888	830016010	中田837号橋	1	中田	4.9	6.3	1958	2021	I
889	830016020	中田838号橋	1	中田	2.2	6.3	1970	2021	I
890	810018010	中田840号橋	1	中田	3.6	6.2	1970	2021	I
891	810018020	中田841号橋	1	中田	3.5	6.3	1970	2021	II
892	810018030	中田842号橋	1	中田	3.7	6.3	1970	2021	II
893	810018040	反保島843号橋	1	反保島	3.7	6.3	1970	2021	I
894	810019010	中田844号橋	1	中田	3.4	6.3	1970	2021	II
895	810019020	中田845号橋	1	中田	3.5	6.3	1970	2021	I
896	820020010	中田846号橋	1	中田	3.5	6.3	1970	2021	I
897	820020020	今泉847号橋	1	今泉	3.8	5.8	1970	2021	II
898	820030010	下麻生848号橋	1	下麻生	3.8	6.1	1970	2021	I
899	830031010	下麻生849号橋	1	下麻生	3.9	6.4	1970	2021	II
900	830034010	葦附850号橋	1	葦附	3.2	6.2	1955	2021	II
901	830038010	常国851号橋	3	常国	3.0	6.8	不明	2020	I
902	820039010	常国852号橋	2	常国	2.9	5.3	1971	2021	I
903	820039020	常国853号橋	1	常国	2.9	6.6	1971	2021	II
904	810040010	下麻生854号橋	1	下麻生	3.4	17.2	1971	2021	II
905	830042010	葦附855号橋	1	葦附	2.6	6.7	不明	2021	I
906	830042020	下麻生856号橋	1	下麻生	2.7	6.5	不明	2021	II
907	830043010	下麻生857号橋	1	下麻生	2.7	5.4	1960	2021	I
908	830043020	下麻生858号橋	1	下麻生	4.5	6.3	1935	2020	I
909	830043030	下麻生859号橋	1	下麻生	4.1	6.3	1959	2020	I
910	830043040	下麻生860号橋	2	下麻生	2.3	6.0	不明	2021	I
911	810044010	麻生861号橋	1	麻生	10.3	15.1	1950	2024	I
912	810044020	麻生862号橋	1	麻生	5.6	14.3	1950	2024	I
913	810044030	下麻生863号橋	3	下麻生	3.6	14.2	1950	2020	II
914	830047010	常国864号橋	2	常国	2.7	5.3	1958	2021	I
915			4						
916	830047020	常国865号橋	1	常国	6.1	12.4	1958	2019	II
917	830047030	滝866号橋	1	滝	3.2	4.3	1958	2021	I
918	830047040	常国867号橋	2	常国	2.7	5.8	1970	2021	I
919	830047050	常国868号橋	2	常国	3.7	13.0	不明	2021	I
920	810051010	今泉869号橋	1	今泉	5.2	13.7	1971	2020	I
921	810051020	滝870号橋	1	滝	4.5	12.9	1967	2020	I
922	830052010	今泉871号橋	1	今泉	3.4	5.6	1971	2021	II

No.	橋梁コード	新橋梁名	グループ番号	所在地	橋長	幅員	架設年次	最新点検年度	健全性
923	830052020	今泉872号橋	1	今泉	4.8	5.6	不明	2020	I
924	820054010	今泉874号橋	1	今泉	2.7	5.9	1971	2021	I
925	820054020	今泉875号橋	1	今泉	2.9	6.5	不明	2021	I
926	820055010	東保新876号橋	1	東保新	3.4	5.5	1971	2021	I
927	830058010	下坂橋	9	下山田	25.5	3.7	1968	2024	III
928	830060010	御坊山三号橋	4	下山田	28.2	4.8	1968	2020	III
929	830062010	御坊山二号橋	9	島新	25.5	4.4	1968	2024	III
930	810063010	小泉新橋	8	小泉新	53.0	7.4	1972	2023	II
931	830064010	御坊山一号橋	9	山下	26.7	4.4	1967	2021	II
932	830067010	下麻生伸町877号橋	1	下麻生伸町	5.7	14.6	1978	2024	I
933	830072010	下麻生伸町878号橋	1	下麻生伸町	3.4	9.9	1978	2024	I
934	830085010	下麻生伸町879号橋	1	下麻生伸町	5.6	14.6	1978	2024	I
935	830085020	下麻生伸町880号橋	1	下麻生伸町	3.2	9.8	1978	2021	II
936	830091010	下麻生伸町881号橋	1	下麻生伸町	6.1	13.0	1978	2024	I
937	830091020	下麻生伸町882号橋	1	下麻生伸町	5.7	13.1	1978	2024	I
938	830091030	下麻生伸町883号橋	1	下麻生伸町	3.2	14.3	1978	2020	I
939	830091040	下麻生伸町884号橋	1	下麻生伸町	5.9	9.6	1978	2023	II
940	830097010	下麻生伸町885号橋	1	下麻生伸町	5.4	12.4	1978	2020	II
941	830105010	下麻生伸町886号橋	1	下麻生伸町	5.9	6.6	1978	2024	I
942	830107010	下麻生887号橋	1	下麻生	4.2	13.4	不明	2020	I
943	830107020	下麻生888号橋	1	下麻生	4.7	9.9	不明	2020	II
944	830107030	下麻生889号橋	1	下麻生	4.3	9.7	不明	2020	I
945	830108010	中田890号橋	1	中田	3.5	6.3	1978	2021	I
946	830108020	上麻生891号橋	1	上麻生	2.5	6.3	1978	2021	I
947	830108030	上麻生892号橋	1	上麻生	2.8	6.3	1978	2021	I
948	830111010	上麻生893号橋	1	上麻生	2.6	6.4	1977	2021	I
949	830113010	下麻生894号橋	2	下麻生	2.1	5.9	不明	2021	I
950	830117010	中田895号橋	1	中田	3.4	6.6	不明	2021	I
951	830121010	東保新896号橋	1	東保新	2.9	4.3	1968	2021	II
952	830123010	東保新897号橋	1	東保新	3.1	4.4	1989	2021	II
953	830128010	常国898号橋	2	常国	2.9	5.8	不明	2021	I
954	830130010	鯉川二号橋	2	常国	4.0	13.0	不明	2020	I
955	830131010	鯉川一号橋	2	常国	4.0	10.0	不明	2020	I
956	830135010	鯉川三号橋	2	常国	4.0	9.0	不明	2020	I
957	830173010	常国903号橋	1	常国	3.3	5.8	不明	2021	I
958	830180010	下麻生904号橋	1	下麻生	3.6	4.8	不明	2021	I
959	830181010	下麻生905号橋	1	下麻生	2.9	5.9	不明	2021	I
960	830183010	中田906号橋	1	中田	3.5	6.1	不明	2021	I
961	830184010	中田907号橋	1	中田	3.9	8.7	不明	2021	II
962	830185010	中田908号橋	1	中田	3.5	5.6	不明	2021	II
963	830185030	滝910号橋	1	滝	3.7	6.1	不明	2021	I
964	830191010	今泉911号橋	2	今泉	2.8	6.0	不明	2021	I
965	830192010	常国912号橋	1	常国	5.2	8.8	不明	2024	I
966	830192020	常国913号橋	1	常国	2.4	8.3	不明	2021	II
967	830192030	常国914号橋	1	常国	4.3	18.1	不明	2021	II
968			2						
969	830197010	常国915号橋	2	常国	3.0	10.9	不明	2020	I
970	830205010	中田917号橋	2	中田	2.1	7.0	不明	2021	I
971	920001010	洗心橋	6	福岡町福岡新	16.3	12.8	1987	2021	I
972	930003010	福岡町福岡新919号橋	6	福岡町福岡新	13.5	5.7	不明	2019	I
973	910004030	下老子橋	7	福岡町下老子	17.6	9.0	1977	2021	II
974	910004010	新岸渡橋	3	福岡町福岡新	18.5	12.7	1971	2024	I
975	910004020	上見橋	1	福岡町福岡	5.6	12.6	1970	2024	I
976	930007010	福岡町福岡新921号橋	6	福岡町福岡新	10.0	10.1	不明	2021	I
977	930009010	太鼓橋	9	福岡町福岡新	27.1	8.5	1979	2021	II
978	930019010	早稲田橋	6	福岡町福岡新	11.5	9.4	1981	2021	I
979	930025010	桜木橋	9	福岡町福岡新	16.6	4.2	1977	2021	II
980	930026010	福岡町大滝923号橋	2	福岡町大滝	2.0	18.0	不明	2024	I
981	930027010	岸渡橋	6	福岡町福岡	15.4	7.2	1988	2021	I
982	930028010	下倉橋	6	福岡町大滝	13.5	5.7	1993	2020	I
983	930029010	下大野橋	9	福岡町大野	23.1	5.7	1992	2021	I
984	920034010	岩石橋	7	福岡町大滝	14.0	12.0	1986	2021	I
985	920034020	上養橋	7	福岡町上養	14.7	10.8	1983	2019	II
986	930037010	福岡町一步二歩927号橋	1	福岡町一步二歩	3.2	4.9	不明	2021	I
987	920038010	江尻橋	7	福岡町江尻	16.6	5.7	1985	2021	I
988	930041010	福岡町小伊勢領928号橋	1	福岡町小伊勢領	3.4	6.9	不明	2020	I
989	930042010	福岡町小伊勢領929号橋	2	福岡町小伊勢領	2.9	37.5	不明	2024	I
990	930042020	福岡町小伊勢領930号橋	1	福岡町小伊勢領	3.4	5.9	不明	2020	I
991	930042030	福岡町小伊勢領931号橋	1	福岡町小伊勢領	3.5	5.0	不明	2020	I
992	910044010	福岡町上養932号橋	2	福岡町上養	3.6	6.6	不明	2020	I
993	910044020	福岡町矢部933号橋	1	福岡町矢部	3.0	7.0	不明	2024	I

No.	橋梁コード	新橋梁名	グループ番号	所在地	橋長	幅員	架設年次	最新点検年度	健全性
994	910044030	福岡町矢部934号橋	1	福岡町矢部	4.5	6.5	不明	2024	I
995	920045010	福岡町矢部935号橋	1	福岡町矢部	2.3	13.3	不明	2021	II
996	930047010	福岡町矢部936号橋	1	福岡町矢部	3.7	5.2	不明	2020	I
997	930047020	福岡町矢部937号橋	1	福岡町矢部	3.6	8.9	不明	2020	II
998	930048010	南沢橋	6	福岡町養島	14.5	6.5	1981	2021	II
999	930048030	福岡町江尻941号橋	1	福岡町江尻	3.2	8.7	不明	2020	I
1000	930049010	福岡町江尻942号橋	1	福岡町江尻	3.5	6.6	不明	2020	I
1001	930049020	福岡町江尻943号橋	1	福岡町江尻	5.2	6.6	不明	2024	I
1002	930049030	福岡町一步二歩944号橋	6	福岡町一步二歩	8.4	6.7	不明	2019	III
1003	930050010	福岡町開ほつ945号橋	2	福岡町開ほつ	3.5	8.1	不明	2024	I
1004	930050020	福岡町開ほつ946号橋	1	福岡町開ほつ	3.7	3.4	不明	2020	I
1005	930051010	福岡町矢部947号橋	1	福岡町矢部	3.0	7.4	不明	2021	I
1006	930051020	福岡町開ほつ948号橋	4	福岡町開ほつ	12.0	4.5	不明	2020	II
1007	930052010	福岡町大滝949号橋	9	福岡町大滝	11.2	4.8	不明	2020	II
1008	920053010	福岡町大滝950号橋	1	福岡町大滝	2.6	11.6	不明	2021	I
1009	910054010	福岡町本領951号橋	1	福岡町本領	7.6	7.0	不明	2024	I
1010	930055010	福岡町木舟952号橋	9	福岡町木舟	7.3	6.7	1980	2019	III
1011	930056030	第二黒石橋	7	福岡町本領	17.8	6.8	1976	2023	II
1012	930056020	第四黒石橋	5	福岡町荒屋敷	17.2	3.4	1950	2023	III
1013	930056010	福岡町荒屋敷953号橋	1	福岡町荒屋敷	2.1	3.9	不明	2021	III
1014	930056040	福岡町本領954号橋	1	福岡町本領	2.8	7.2	不明	2021	II
1015	930056050	福岡町本領955号橋	1	福岡町本領	3.8	6.9	不明	2024	II
1016	920057010	福岡町本領956号橋	1	福岡町本領	2.4	10.8	不明	2021	III
1017	920057020	福岡町本領1156号橋	1	福岡町本領	2.0	5.7	不明	2024	I
1018	920057030	福岡町本領1157号橋	6	福岡町本領	10.4	5.0	不明	2019	I
1019	930058030	福岡町木舟1130号橋	1	福岡町木舟	2.5	21.1	不明	2020	I
1020	930058010	福岡町大滝957号橋	2	福岡町大滝	3.9	15.8	不明	2024	I
1021	930058020	福岡町木舟958号橋	1	福岡町木舟	4.8	10.0	不明	2024	I
1022	930062010	福岡町大滝959号橋	1	福岡町大滝	2.3	10.1	不明	2021	I
1023	930063040	第三黒石橋	5	福岡町本領	15.0	3.3	1950	2023	II
1024	930063010	福岡町本領960号橋	1	福岡町本領	3.7	9.8	不明	2020	I
1025	930063020	福岡町本領961号橋	1	福岡町本領	2.6	7.5	不明	2021	I
1026	930063030	福岡町本領962号橋	1	福岡町本領	3.0	9.5	不明	2021	II
1027	930066010	福岡町矢部963号橋	2	福岡町矢部	2.2	11.2	不明	2020	I
1028	930066020	福岡町開ほつ964号橋	6	福岡町開ほつ	13.4	12.2	2007	2020	I
1029	930066030	福岡町木舟965号橋	1	福岡町木舟	4.1	5.8	不明	2020	I
1030	930067010	福岡町開ほつ966号橋	2	福岡町開ほつ	3.4	13.5	不明	2020	I
1031	930068010	福岡町大滝967号橋	6	福岡町大滝	11.5	5.5	不明	2020	I
1032	930070010	福岡町下妻新968号橋	2	福岡町下妻新	3.5	4.8	不明	2020	I
1033	930074010	かんで橋	6	福岡町下老子	16.5	6.2	2001	2021	I
1034	930074020	福岡町下老子969号橋	2	福岡町下老子	4.0	6.1	不明	2020	I
1035	930074030	福岡町下老子970号橋	1	福岡町下老子	2.4	10.5	不明	2021	II
1036	930078010	中之島橋	7	福岡町大野	17.9	5.2	1986	2021	I
1037	930085010	堀川橋	6	福岡町福岡新	15.4	2.8	1987	2023	I
1038	910087050	西野橋	7	福岡町開ほつ	16.1	10.2	1988	2021	I
1039	910087060	福岡町矢部1131号橋	2	福岡町矢部	2.3	10.0	不明	2020	I
1040	910087070	福岡町矢部1132号橋	2	福岡町矢部	2.3	15.0	不明	2020	I
1041	910087080	福岡町矢部1133号橋	2	福岡町矢部	2.3	11.0	不明	2020	I
1042	910087090	福岡町矢部1134号橋	2	福岡町矢部	3.9	10.0	不明	2020	I
1043	910087110	赤板橋	6	福岡町小伊勢領	14.0	10.3	1997	2019	I
1044	910087010	福岡町本領971号橋	6	福岡町本領	10.4	7.7	1968	2019	II
1045	910087030	福岡町大滝972号橋	1	福岡町大滝	3.6	6.5	1968	2021	II
1046	910087040	福岡町大滝973号橋	2	福岡町大滝	3.4	10.0	不明	2021	I
1047	910087100	福岡町矢部978号橋	2	福岡町矢部	3.2	9.8	不明	2021	II
1048	910087020	福岡町本領980号橋	1	福岡町本領	2.1	21.4	不明	2021	II
1049	910087130	福岡町一步二歩981号橋	7	福岡町一步二歩	10.0	7.1	1971	2021	II
1050	920088010	福岡町本領982号橋	1	福岡町本領	2.8	5.9	不明	2021	I
1051	910089010	聖人橋	7	福岡町上野	176.2	5.3	1959	2020	III
1052	930090010	福岡町上向田983号橋	2	福岡町上向田	4.9	5.2	不明	2024	I
1053	930091010	福岡町上向田984号橋	2	福岡町上向田	4.8	13.7	不明	2024	I
1054	930092010	福岡町土屋985号橋	1	福岡町土屋	2.7	4.9	不明	2021	I
1055	930093010	福岡町上向田987号橋	6	福岡町上向田	10.4	5.5	不明	2020	I
1056	930095010	福岡町下向田988号橋	2	福岡町下向田	4.2	6.5	不明	2024	I
1057	930105010	福岡町加茂989号橋	2	福岡町加茂	4.2	14.5	不明	2024	I
1058	930106010	福岡町三日市990号橋	1	福岡町三日市	5.0	4.9	不明	2024	I
1059	930108010	福岡町三日市991号橋	1	福岡町三日市	4.9	4.4	不明	2024	I
1060	930114010	福岡町赤丸992号橋	2	福岡町赤丸	4.3	12.9	不明	2020	I
1061	930118010	山割大橋	4	福岡町赤丸	9.5	5.3	不明	2019	II
1062	930119010	福岡町赤丸994号橋	2	福岡町赤丸	2.5	13.0	不明	2021	I
1063	930124010	福岡町舞谷995号橋	2	福岡町舞谷	3.5	7.2	不明	2024	I
1064	930124020	福岡町舞谷996号橋	1	福岡町舞谷	2.6	6.7	不明	2021	II

No.	橋梁コード	新橋梁名	グループ番号	所在地	橋長	幅員	架設年次	最新点検年度	健全性
1065	930125010	福岡町舞谷997号橋	1	福岡町舞谷	4.3	6.4	不明	2024	I
1066	930126010	福岡町赤丸998号橋	4	福岡町赤丸	11.1	4.4	不明	2021	III
1067	930127010	福岡町赤丸999号橋	4	福岡町赤丸	11.9	3.6	不明	2021	II
1068	930130010	福岡町加茂1000号橋	2	福岡町加茂	4.2	11.2	不明	2020	I
1069	930131010	福岡町赤丸1001号橋	1	福岡町赤丸	6.5	11.8	不明	2024	I
1070	930132010	福岡町上向田1002号橋	1	福岡町上向田	7.4	5.6	不明	2024	I
1071	930133010	福岡町赤丸1003号橋	2	福岡町赤丸	4.9	12.9	不明	2024	I
1072	930134010	福岡町赤丸1004号橋	4	福岡町赤丸	5.6	3.5	不明	2019	II
1073	930135010	福岡町三日市1005号橋	1	福岡町三日市	5.9	6.6	不明	2024	I
1074	930136010	福岡町上向田1006号橋	2	福岡町上向田	4.9	21.9	不明	2024	I
1075	930136020	向田橋	4	福岡町上向田	5.9	6.0	1932	2019	II
1076	930136030	福岡町下向田1008号橋	2	福岡町下向田	3.7	7.1	不明	2024	I
1077	920137010	福岡町舞谷1009号橋	2	福岡町舞谷	3.8	8.0	不明	2024	I
1078	930138010	福岡町下向田1010号橋	2	福岡町下向田	4.1	10.8	不明	2024	I
1079	930139010	福岡町下向田1011号橋	4	福岡町下向田	10.7	3.0	不明	2021	III
1080	910143010	福岡町土屋1012号橋	2	福岡町土屋	2.7	12.4	不明	2021	I
1081	910143020	福岡町馬場1013号橋	1	福岡町馬場	5.3	12.4	不明	2024	I
1082	930144010	福岡町上野1014号橋	1	福岡町上野	2.8	5.0	不明	2021	II
1083	930144020	福岡町上野1015号橋	1	福岡町上野	3.0	7.3	不明	2024	I
1084	930145010	石堤1016号橋	9	石堤	13.6	4.8	不明	2021	III
1085	930145020	大尾橋	6	福岡町赤丸	8.3	5.8	1983	2019	I
1086	910150010	福岡町小野1018号橋	1	福岡町小野	9.7	4.6	不明	2024	I
1087	910155010	福岡町土屋1019号橋	2	福岡町土屋	4.2	7.8	不明	2020	I
1088	930156010	福岡町西明寺1020号橋	1	福岡町西明寺	10.5	9.0	不明	2024	I
1089	930159010	福岡町五位1021号橋	1	福岡町五位	3.0	4.6	不明	2021	I
1090	920163010	村中橋	6	福岡町大滝	12.7	8.7	1978	2021	I
1091	930166010	福岡町福岡新1023号橋	2	福岡町福岡新	2.4	9.7	1982	2021	II
1092	930170010	福岡町下老子1024号橋	1	福岡町下老子	2.3	8.8	不明	2021	I
1093	930171010	福岡町下老子1025号橋	1	福岡町下老子	3.0	7.9	不明	2021	I
1094	930171020	福岡町下老子1026号橋	1	福岡町下老子	2.3	10.7	不明	2021	II
1095	930173010	新亀川橋	6	福岡町一步二步	8.7	7.0	1998	2019	I
1096	930174010	福岡町西川原島1028号橋	4	福岡町西川原島	9.4	4.5	不明	2019	II
1097	930174020	福岡町西川原島1029号橋	1	福岡町西川原島	4.0	4.4	不明	2024	I
1098	930175010	福岡町上養1030号橋	6	福岡町上養	9.1	8.0	1968	2019	I
1099	930176010	福岡町矢部1031号橋	2	福岡町矢部	2.1	9.0	不明	2021	I
1100	930176020	亀川橋	6	福岡町矢部	8.0	7.0	1993	2019	I
1101	930177010	福岡町矢部1033号橋	2	福岡町矢部	2.3	9.0	不明	2021	I
1102	930177020	福岡町矢部1034号橋	1	福岡町矢部	2.9	4.6	不明	2021	I
1103	930181010	福岡町大滝1035号橋	1	福岡町大滝	2.3	3.1	不明	2021	I
1104	930182010	福岡町木舟1036号橋	1	福岡町木舟	4.3	8.0	不明	2024	I
1105	930182020	福岡町木舟1037号橋	1	福岡町木舟	6.0	7.3	不明	2024	I
1106	930189010	福岡町赤丸1038号橋	2	福岡町赤丸	2.5	11.0	不明	2021	II
1107	930194010	えぐり橋	1	福岡町上養	3.2	7.1	不明	2021	II
1108	930194020	福岡町上養1040号橋	1	福岡町上養	5.4	5.7	不明	2024	II
1109	930194030	福岡町下養新1041号橋	2	福岡町下養新	5.8	16.0	2015	2024	I
1110	930196010	福岡町木舟1042号橋	1	福岡町木舟	5.1	4.9	不明	2024	I
1111	930200010	福岡町下老子1043号橋	1	福岡町下老子	2.5	4.4	不明	2021	I
1112	930202010	福岡町一步二步1044号橋	1	福岡町一步二步	2.6	5.1	不明	2021	I
1113	930206010	福岡町本領1045号橋	1	福岡町本領	4.3	4.3	不明	2024	I
1114	930206020	福岡町木舟1046号橋	1	福岡町木舟	6.0	4.5	不明	2024	I
1115	930209010	福岡町本領1047号橋	6	福岡町本領	10.3	7.2	不明	2019	II
1116	930211020	荒屋敷橋	5	福岡町荒屋敷	17.8	2.7	1950	2023	III
1117	930211030	江代橋	6	福岡町荒屋敷	18.0	5.4	1993	2022	I
1118	930211010	福岡町荒屋敷1048号橋	1	福岡町荒屋敷	2.1	3.0	不明	2021	II
1119	930221010	福岡町三日市1050号橋	1	福岡町三日市	5.7	7.0	不明	2024	I
1120	930222010	福岡町下向田1143号橋	6	福岡町下向田	18.0	17.7	1934	2023	I
1121	930222020	福岡町赤丸1051号橋	1	福岡町赤丸	7.0	8.5	不明	2024	I
1122	930222050	福岡町赤丸1052号橋	4	福岡町赤丸	8.6	3.5	不明	2019	III
1123	930222040	福岡町赤丸1053号橋	1	福岡町赤丸	3.0	12.2	不明	2020	I
1124	930222030	福岡町赤丸1054号橋	1	福岡町赤丸	6.0	14.5	不明	2024	I
1125	930238010	宝来町1055号橋	1	宝来町	3.6	6.4	不明	2021	I
1126	930247010	福岡町一步二步1056号橋	5	福岡町一步二步	14.0	2.4	不明	2021	III
1127	930248010	福岡町上養1057号橋	9	福岡町上養	11.0	3.1	不明	2020	I
1128	930251010	福岡町上養1058号橋	1	福岡町上養	6.1	7.8	不明	2024	I
1129	930264010	中野口橋	9	福岡町五位	82.7	5.2	1985	2022	I
1130	930266020	向川原橋	7	福岡町下老子	16.2	2.9	1983	2023	III
1131	930266010	福岡町下老子1059号橋	1	福岡町下老子	3.2	6.5	不明	2020	I
1132	930271010	福岡町三日市1060号橋	1	福岡町三日市	4.4	4.9	不明	2024	I
1133	930277010	福岡町赤丸1061号橋	1	福岡町赤丸	6.0	8.0	不明	2024	I
1134	930285010	福岡町矢部1062号橋	1	福岡町矢部	2.0	3.1	不明	2021	I
1135	930285020	福岡町矢部1063号橋	1	福岡町矢部	3.3	3.1	不明	2020	I

No.	橋梁コード	新橋梁名	グループ番号	所在地	橋長	幅員	架設年次	最新点検年度	健全性
1136	930289010	福岡町下老子1064号橋	1	福岡町下老子	2.5	5.4	不明	2021	I
1137	930289020	福岡町福岡新1065号橋	1	福岡町福岡新	2.5	3.5	不明	2021	I
1138	930289010	福岡町一步二歩1066号橋	1	福岡町一步二歩	2.5	4.8	不明	2021	II
1139	930291010	荒又川橋	7	福岡町大野	24.1	4.2	1993	2022	I
1140	930295010	福岡町土屋1067号橋	1	福岡町土屋	2.9	7.8	不明	2021	I
1141	930295020	福岡町土屋1068号橋	1	福岡町土屋	2.4	7.4	不明	2021	II
1142	930303010	福岡町赤丸1071号橋	1	福岡町赤丸	6.6	6.6	不明	2024	I
1143	930304010	福岡町赤丸1072号橋	2	福岡町赤丸	2.8	13.3	不明	2020	I
1144	930305010	福岡町木舟1073号橋	1	福岡町木舟	6.0	14.0	不明	2024	I
1145	930306010	福岡町木舟1074号橋	1	福岡町木舟	6.0	41.4	不明	2024	I
1146	930306020	福岡町木舟1075号橋	2	福岡町木舟	2.3	10.5	不明	2021	I
1147	930309010	福岡町開ほつ1076号橋	2	福岡町開ほつ	2.3	8.0	不明	2021	I
1148	930315010	福岡町西明寺1077号橋	6	福岡町西明寺	11.7	4.8	不明	2019	I
1149	930316010	福岡町西明寺1078号橋	1	福岡町西明寺	5.5	7.0	不明	2024	I
1150	930317010	福岡町西明寺1079号橋	1	福岡町西明寺	8.7	4.8	不明	2024	I
1151	930325010	福岡町舞谷1080号橋	2	福岡町舞谷	2.3	7.5	不明	2020	I
1152	930339010	田代橋	4	福岡町小伊勢領	4.6	3.9	不明	2019	II
1153	930347010	岸渡川側道橋(1)	6	福岡町大滝	24.8	6.2	1997	2022	I
1154	930352030	岸渡川側道橋(2)	5	福岡町大滝	27.1	6.2	1997	2022	II
1155	930348010	江尻側道橋(1)	6	福岡町江尻	7.5	7.6	1996	2019	II
1156	930352020	江尻側道橋(2)	6	福岡町養島	6.6	7.5	1996	2019	I
1157	930348020	江尻函橋(1)	2	福岡町江尻	4.0	8.2	1996	2024	I
1158	930352010	江尻函橋(2)	2	福岡町江尻	4.0	8.2	1996	2024	I
1159	930349010	亀川側道橋(1)	6	福岡町江尻	8.8	6.2	1996	2019	I
1160	930351020	亀川側道橋(2)	6	福岡町江尻	8.8	6.2	1996	2019	I
1161	930351010	荒又川側道橋	6	福岡町一步二歩	24.5	6.2	1997	2022	I
1162	930353010	浦田橋	1	福岡町上養	4.8	8.2	不明	2024	I
1163	930353030	養島4号橋	1	福岡町大滝	2.6	7.6	不明	2023	II
1164	930353020	養島橋	6	福岡町養島	13.7	12.0	1996	2021	I
1165	930353040	福岡町大滝1091号橋	1	福岡町大滝	2.0	7.6	不明	2023	I
1166	930361020	福岡町一步二歩1093号橋	1	福岡町一步二歩	2.1	3.7	不明	2021	II
1167	930363010	福岡町矢部1094号橋	8	福岡町矢部	5.5	8.5	不明	2019	I
1168	930365010	福岡町下向田1095号橋	2	福岡町下向田	3.7	7.2	不明	2024	I
1169	930368010	福岡町赤丸1096号橋	1	福岡町赤丸	4.9	4.4	不明	2024	I
1170	930373010	福岡町加茂1097号橋	2	福岡町加茂	4.2	5.6	不明	2020	I
1171			1						
1172	930375010	福岡町上向田1098号橋	2	福岡町上向田	4.9	14.0	不明	2024	I
1173	930388010	福岡町養島1099号橋	1	福岡町養島	3.3	2.6	不明	2021	I
1174	930389010	福岡町矢部1100号橋	2	福岡町矢部	2.2	5.5	不明	2021	I
1175	930389020	福岡町矢部1101号橋	1	福岡町矢部	2.9	7.0	不明	2021	I
1176	930390020	福岡町本領1144号橋	5	福岡町本領	16.7	3.3	不明	2023	II
1177	930390010	福岡町本領1102号橋	1	福岡町本領	2.2	7.0	不明	2023	II
1178	930391010	福岡町大滝1103号橋	1	福岡町大滝	2.3	6.5	不明	2021	I
1179	930392010	福岡町大滝1104号橋	6	福岡町大滝	11.3	4.8	不明	2020	I
1180	930396010	福岡町馬場1105号橋	2	福岡町馬場	3.8	7.1	不明	2024	I
1181	930396020	福岡町馬場1106号橋	1	福岡町馬場	3.9	4.7	不明	2021	I
1182	930397010	福岡町加茂1107号橋	2	福岡町加茂	4.2	5.2	不明	2020	I
1183	930399010	福岡町三日市1108号橋	1	福岡町三日市	3.6	3.4	不明	2020	II
1184	930399020	福岡町三日市1109号橋	2	福岡町三日市	4.0	11.0	不明	2024	I
1185	930400010	福岡町本領1110号橋	1	福岡町本領	2.4	3.3	不明	2021	I
1186	930409010	福岡町木舟1111号橋	1	福岡町木舟	4.4	3.7	不明	2024	I
1187	930414010	福岡町下養新1163号橋	2	福岡町下養新	6.3	6.2	2017	2021	I
1188	930414020	福岡町下養新1164号橋	2	福岡町下養新	6.5	7.2	2018	2021	I
1189	930415010	福岡町下養1165号橋	2	福岡町下養	6.6	10.7	2018	2021	I
1190	136100030	羽広高架橋第1側道橋	6	羽広	12.0	5.5	2014	2023	I
1191	136100040	羽広高架橋第2側道橋	6	木津	12.0	5.5	2014	2023	I
1192	930414010	北島1170号橋	1	北島	4.0	14.2	2017	未	未
1193	930414020	野村1171号橋	1	野村	3.5	11.3	2018	未	未
1194	930415010	横田1172号橋	1	横田	2.1	12.7	2018	未	未
1195	136100030	永楽町1173号橋	1	永楽町	7.6	11.6	2014	未	未
1196	136100040	下黒田架道橋	2	下黒田	32.9	24.1	2014	未	未

13.2 画像取得方法

カメラ等による画像取得方法は、用途に合わせて取得できる技術を選定する。

【解説】

点検時のカメラの画像取得方法として、カメラ本体を手持ちで撮影する方法、ポールカメラまたは三脚にカメラを固定し撮影を行う方法がある。また、撮影位置や重要変状を確実に把握するためには、適切な明るさ調整をする必要があり、照度がない箇所は照明器具を設置する。

(1) 360° カメラ

1) 360° カメラの活用

点検結果の記録概要は、360° カメラを使用する。360° カメラは多種多様であり、形状やレンズの数など基本的な構造が大きく異なるが、現在主流なのは「表と裏に2枚のレンズ」を有するものである。このレンズは180°以上の画角（撮影範囲）を持つため、表裏の2枚のレンズで全方位を切れ目なく撮影することができる²⁷⁾。

360° カメラの製品の例を以下に示す。



写真 13.1 RICOH THETA Z1^{※1}



写真 13.2 Go Pro MAX^{※2}

2) 360° カメラの仕組み

360° カメラ (RICOH THETA) は、180° 以上映る広角レンズが表と裏に搭載され、シャッターを押すとそれぞれのレンズで同時に撮影する。それぞれのレンズが捉えた画像の境界線をスティッチというつなぎ合わせる処理を行い360°の写真、映像を生成する。光学技術および画像処理技術により、高精度なつなぎ処理が高速に行われる。

360° カメラでは撮影した球体を平面に変換し全天球イメージとして保存する必要があり、エクイレクタングラー (equirectangular) という形式が主に利用されている²⁸⁾。

※1 リコージャパン(株)、「360度カメラ RICOH THETA」, <https://theta360.com/ja/>, 2023. 8. 31

※2 Go Pro, Inc. 「GoPro MAX 360度アクションカメラ (防水性とブレ補正)」, <https://gopro.com/ja/jp/shop/cameras/max/CHDHZ-202-master.html>, 2023. 8. 31

²⁷⁾ 国土交通省 九州地方整備局, 「360° カメラの土木分野への活用について」

[http://www.qsr.mlit.go.jp/useful/n-shiryo/kikaku/kenkyu/r1/04/4_13\(62\).pdf](http://www.qsr.mlit.go.jp/useful/n-shiryo/kikaku/kenkyu/r1/04/4_13(62).pdf), 2023. 8. 31

²⁸⁾ リコージャパン(株)、「RICOH360 Blog」, <https://blog.ricoh360.com/ja/8212>, 2023. 8. 31

(2) 汎用カメラ

1) 汎用カメラの活用

重要変状の状態把握は、画素数の大きい汎用デジタルカメラを使用する。デジタルカメラには主に以下の撮影モードがあり、撮影時の環境に合わせて露出補正を行う必要がある。

表 13.3 デジタルカメラの撮影モード²⁹⁾

AUTO モード	・すべての設定をカメラが自動設定
P モード	・シャッタースピードと絞り値(F 値)をカメラが自動設定 ・ISO 感度を上げたくない場合、フラッシュを OFF にしたまま撮影したい場合に有効
A モード (絞り優先モード)	・撮影者が手動で設定した F 値に応じ、カメラがシャッタースピードを自動設定 ・風景撮影やポートレート撮影に有効
S モード (シャッタースピード優先モード)	・撮影者が手動で設定したシャッタースピードに応じ、カメラが F 値を自動設定 ・スポーツや動物などの撮影に有効
M モード (マニュアルモード)	・F 値・シャッタースピード・ISO 感度などをすべて撮影者自身で設定 ・夜景撮影や星景撮影に有効

汎用カメラの製品の例を以下に示す。



写真 13.3 デジタル一眼レフカメラ^{※3}



写真 13.4 コンパクトデジタルカメラ^{※4}

※3 キヤノン(株), 「キヤノン : EOS 5D MarkIV」, <https://cweb.canon.jp/eos/lineup/5dmk4/>, 2023. 8. 31

※4 オリンパス(株), 「Tough TG-6 防水デジタルカメラ T(Tough)シリーズ オリンパス」, <https://jp.omsystem.com/product/compact/tg6/index.html>, 2023. 8. 31

²⁹⁾ 露出補正とは | 基礎知識や具体的な活用方法、うまく調整するコツ
<https://goopass.jp/magazine/exposure-compensation/>, 2023. 9. 21

2) 汎用カメラの仕組み³⁰⁾

デジタルカメラはレンズから入ってきた光を、受光素子※（CCD など）で受け、デジタルに変換した後、画像データとして保存している。図 13.1 にデジタルカメラの画像取得方法を示す。

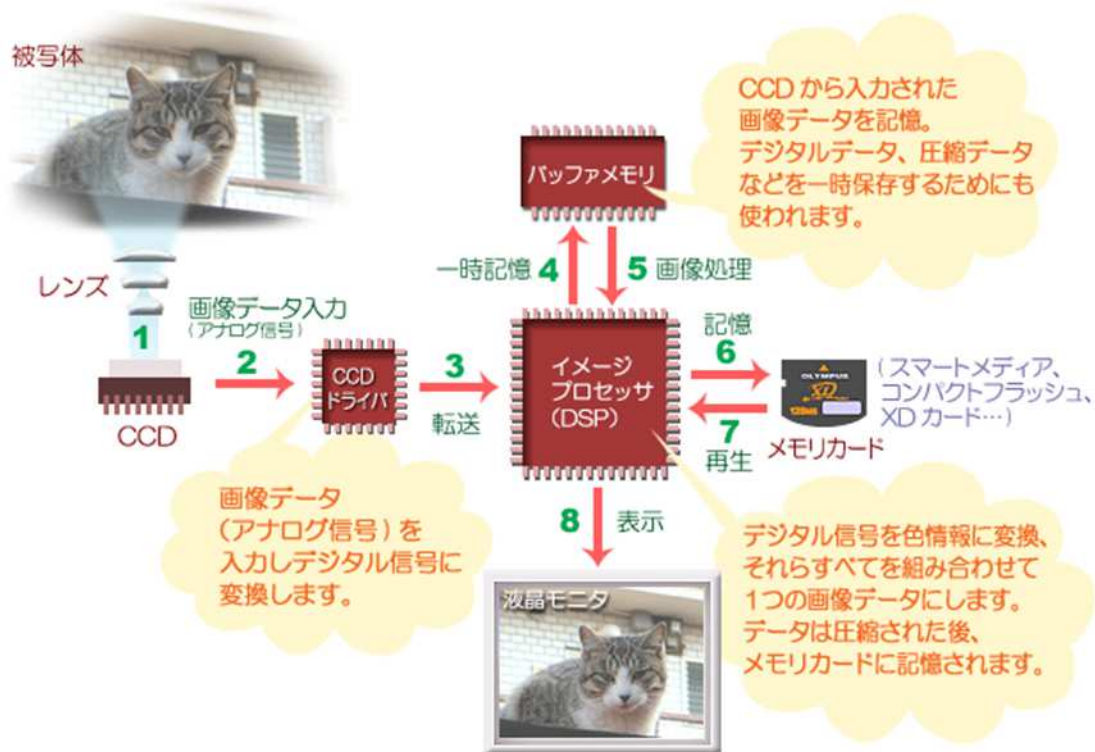


図 13.1 デジタルカメラの画像取得方法

※受光素子：受光素子にはいくつかの種類があるが、多くの機種で採用されているのが CCD（光センサの種類の一つであるフォトダイオードの集合体）である。1000 万画素のデジタルカメラの CCD では、1000 万個のフォトダイオードが格子状に並べられている。フォトダイオードから入った光情報を電子に変換し、それをまとめて一つの画像ができる。

³⁰⁾ デジタルカメラの基礎知識 | OM デジタルソリューションズ

https://support.jp.omsystem.com/jp/support/cs/DI/QandA/Basic/s0003_1.html, 2023.9.21

(3) 明るさ調整について

カメラの露出補正で明るさを調整できない場合は、LED等の照明器具を併用する。
以下に照明器具の例を示す。



写真 13.5 RICOH THETA用ライトセットTYPE IV^{※5}



写真 13.6 管診鏡 MC^{※6}

※5 LED4灯で360°明るく撮影できる「リコーTHETA用ライトセット TYPE IV」

<https://getnavi.jp/capa/news/332982/>, 2023.9.21

※6 一般社団法人 管路診断コンサルタント協会, <https://kanshinkyou.nextshop.jp/>, 2023.9.21

13.3 適合例

(1) 点検概要記録

① 撮影位置：路面

記録項目：幅員構成、橋長



写真 13.7 路面撮影例



写真 13.8 路面撮影例 (360° カメラ)

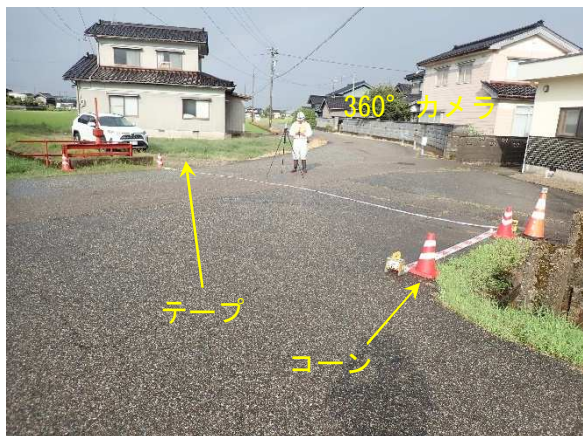


写真 13.9 路面撮影例



写真 13.10 路面撮影例 (360° カメラ)

② 撮影位置：側面

記録項目：交差物状況、桁下高、
上部工形状概要、占用物件



写真 13.11 側面撮影例



写真 13.12 側面撮影例 (360° カメラ)

③ 撮影位置：桁下

記録項目：上下部工形状概要

画像から以下の概要が判読可能である。

- ・橋台、水路の形状
- ・桁下高、水位
- ・重要変状位置



写真 13.13 桁下撮影例



写真 13.14 桁下撮影例 (360° カメラ)



写真 13.15 桁下撮影例(狭隘部)



写真 13.16 桁下撮影例(狭隘部・360° カメラ)



写真 13.17 桁下撮影例(狭隘部)



写真 13.18 桁下撮影例(狭隘部・360° カメラ)

(2) 重要変状の状態把握

- ・重要変状は汎用カメラにて撮影する。
- ・近接目視が困難な狭隘部は、スケールやスタッフとあわせてポールカメラにて撮影する。

画像から以下の概要が判読可能である。

- ・重要変状の位置、種類
- ・重要変状の幅、長さ、深さ等

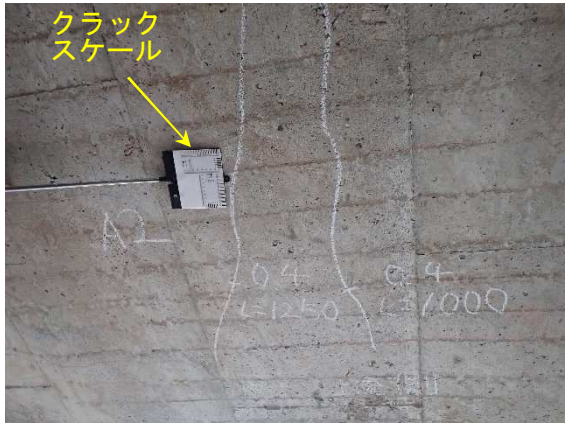


写真 13.19 重要変状の状態把握例（ひびわれ撮影例 ※損傷マーキングはイメージ）



写真 13.20 重要変状の状態把握例（狭隘部 減肉を伴う局部的でない鉄筋露出撮影例）

(3) 近接困難な場所で使用する用具例

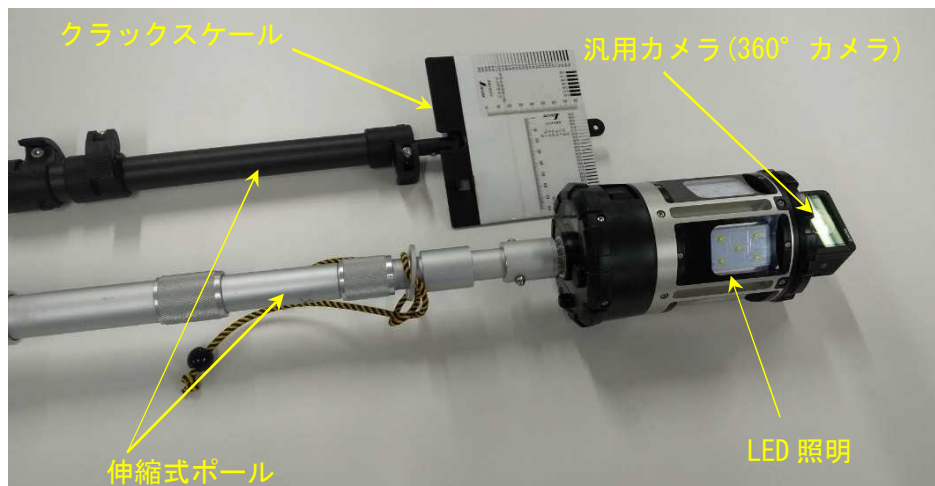


写真 13.21 近接困難な場所で使用する用具例

